

Canofax L1000



ご使用前に必ず本書をお読みください。 いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール

スタートアップガイド

操作ガイド (本体編)

(本書)

- ●本製品の操作方法
- メンテナンス
- 仕様
- ネットワーク環境に接続しなくても使用できる機能
- 製品の設定方法
- ソフトウェアのインストール
- ●本製品の操作方法
- メンテナンス
- 仕様
- ドライバ、ネットワークを含むすべての機能

操作ガイド(総合編)



i

🞰 このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に含まれている HTML マニュアルです。

- ●本書は、改良のため画面等は予告なく変更されることがあります。正確な仕様が必要な場合はキヤノンまでお問い合わせください。
- 本書に万一ご不審な点や誤り、または記載漏れなどお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。
- 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。



送受信機能









→ オンラインヘルプ

PC ファクス機能

コンピュータからファクスを送信する

PC ファクス*

*オプションのネットワークプリンタキットを装着して いる場合に使用できます。 → オンラインヘルブ



リモート U 機能

コンピュータから本製品を管理する

リモート UI*

.

*オプションのネットワークプリンタキットを装着して いる場合に使用できます。 → 操作ガイド(総合編)

システム管理機能

部門 ID で本製品の使用者を管理する

部門別 ID 管理

→ 操作ガイド(総合編)





目次

こんなことができます コピー機能 洋受信機能	ii
コピー機能 洋受信機能	
送受 信 機 能	ii
些义问饭形	iii
プリンタ機能	V
PC ファクス機能	vi
リモート UI 機能	vi
システム管理機能	vi
目次	vii
はじめに	xiv
安全にお使いいただくために	viv
取り扱いと保守/点検について	xiv
設置について	xvi
電源について	xvii
資源再利用について	xvii
カスタマーサポート	xvii
イラストについて	xviii
本書の読みかた	xix
マークについて	xix
略称について	xix
規制について	XX
本体製品名称について	xx
電波障害規制について	XX
高調波の抑制について	XX
国際エネルギースタープログラムについて	XX
IPv6 Ready Logo について	XX
物質エミッションの放散に関する認定基準について	xxi
原稿なとを読み込む際の注意事項	XXI
問信について	IXX
名作権について	xxii xxii
1 お使いになる前に	
各部の名称とはたらき	1-1
操作パネル	1-3
操作パネル右部分	1-3

ディスプ	゚レイ(待受画面)	
	ファクス/送信モード	
	ID 管理モード	
		I-6
ハンドセ	マット (オフション)	I-7
	ハンドセット取扱上の注意	
部門別/	ユーザ ID 管理を設定している場合	
	ご使用の前に必要な作業	
	ご () C ()	
トナーカ		
	トナーカートリッシの取り扱い	-
タイマー	- れれ田のと購入旧設芯口	1_12
7 4 4	フリープエードを記字する	
	スリーノモートを設定するオートクリアタイムを設定する	1-12
	タイムゾーンを設定する	
2 原稿と用紙の取	又り扱い	2-1
使用可能	な原稿	2-1
読み取り	範囲	
原稿をセ	ットする	
	ADF にセットする	
使用可能	な用紙	
プリント	範囲	
用紙をセ	ットする	
	手差しトレイにセットする(例:封筒)	
用紙のサ	イズと種類を設定する	
3 コピーする		3-1
コピーの	設定をする	
	画質を調節する	
	濃度を調節する	
自動倍率		
ソートコ	ピー	
両面コピ	`—	
	片面から両面にコピーする	

viii

 両面から片面にコピーする	両面から両面にコピーで	する3-10
予約コピー 3-14 コピージョブの中止 3-15 ジョブの確認と削除 3-16 コピー状況を確認/削除する 3-16 コピー状況を確認/削除する 3-16 4 送信する 4-1 読み込み設定 4-3 画質を調節する (マクス送信) 4.3 温度を調節する 温度を調節する 4-5 画像/原稿の設定を調節する 4-5 一部の少気のジェクマイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/ 1ファクス/ファイルサーバ送信) クシタッチダイヤルを受録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グルーブダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-34 ウンタッチダイヤルを使用する 4-34 ワンタッチダイヤルを使用する 4-34 ウンクジェチダイヤルを使用する 4-34 ウンクジェチダイヤルを使用する 4-34 ウンクジェチダボタンを使用する 4-34 市面原稿を送信する 4-44 同報送信する 4-44 同報送信する 4-44 同報送信する 4-44 同報送信する 4-44 同報送信する 4-44 同報送信 4-52 済みスタンブ機能を設定する 4-54	両面から片面にコピーす	する3-12
コピージョブの中止 3-15 ジョブの確認と削除 3-16 コピー状況を確認/削除する 3-16 4 送信する 4-1 読み込み設定 4-3 画質を調節する (マクスノンマクス送信) ・ 4-5 画像/原稿の設定を調節する (電子メール/ 「ファクスノファイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グルーフダイヤルを使用する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-32 グルーフダイヤルを使用する 4-34 宛先を指定する 4-35 グルーフダイヤルを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-44 両報送信する 4-44 両報送信する 4-44 「報報の完たを指定する 4-44 「報報会のの完たを指定する 4-44 「報報会のの完たを指定する 4-44 「報報会のの完たを指定する 4-44 「報報会のの完たを指定する 4-45 ジイマー送信 4-56 リダイマー送信 4-5	予約コピー	
ジョブの確認と削除 3-16 コピー状況を確認/削除する 3-16 4 送信する 4-1 読み込み設定 4-3 画質を調節する(ファクス送信) 4-3 濃度を調節する(マァクス送信) 4-5 画像/原稿の設定を調節する(電子メール/ 1ファクス/ファイルサーバ送信) トロ 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-21 がたを登録/編集/削除する 4-24 宛先を登録/編集/削除する 4-24 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-34 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-34 宛先を指定する 4-34 ワンタッチダイヤルを使用する 4-34 宛先をを置する 4-35 定型業務ボタンを使用する 4-34 宛然の完を指定する 4-34 ワンクレフダスズ信 4-44 同報送信する 4-44 同報送信 1フール機能 マンキーで複数のの定を指定する 4-44 「報数の完全指定する 4-55 ブムマキーで複数ののアクス番号を指定する 4-54 済みスタンブ機能を設えた使用する 4-54 済みスタンブ機能を設る設定	コピージョブの中止	
コピー状況を確認/削除する	ジョブの確認と削除	
 4 送信する	コピー状況を確認/削り	余する3-16
読み込み設定 4-3 画質を調節する 4-3 濃度を調節する 4-5 画像/原稿の設定を調節する(電子メール/ 1ファクス/ファイルサーバ送信) トファクス/ファイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グループダイヤルを登録/編集する 4-30 短先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-30 短端ダイヤルを使用する 4-34 宛先を指定する 4-34 宛先を信する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-44 両観送信 4-42 ダイレクト送信する 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-46 なりの宛先を指定する 4-46 なりの宛先を指定する 4-46 タイマー送信 4-50 </td <td>4 送信する</td> <td>4-1</td>	4 送信する	4-1
はいといとにとしておく、 画質を調節する (ファクス送信) 4-3 濃度を調節する 4-5 画像/原稿の設定を調節する (電子メール/ Iファクス/ファイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-21 グループダイヤルを登録/編集する 4-24 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-30 短端ダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-33 軍動で送信する (ファクス送信) 4-40 両面原稿を送信する (ファクス送信) 4-40 両面原稿を送信する 4-44 同報送信 4-42 ダイレクト送信する 4-44 同報送信 4-42 ダイマー送信 4-45 ジカスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ) 4-56 炭(定く書アーカイブを使用する前に 4-56)	読み込み設定	
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	画質を調節する(ファ	カス送信) <u>4-3</u>
 画像/原稿の設定を調節する(電子メール/ ファクス/ファイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する。 4-21 グループダイヤルを登録する 4-21 グループダイヤルを登録/編集する 4-24 宛先を指定する 730 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-38 手動で送信する(ファクス送信) 4-40 両面原稿を送信する 第30 マクスと指定する 4-44 同報送信 マンキーで複数のファクス番号を指定する 4-46 タイマー送信 マンキーで複数のファクス番号を指定する 4-52 済みスタンプ機能を設定する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書アーカイブ 送信文書アーカイブ (送信文書アーカイブを使用する前に 	濃度を調節する	4-5
トファクス/ファイルサーバ送信) 4-6 宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グルーブダイヤルを登録/編集する 4-24 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-31 変先を指定する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-34 宛先表を使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 空型業務ボタンを使用する 4-36 デ型 第動で送信する 4-44 向極原稿を送信する 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-46 テンキーで複数の宛先を指定する 4-46 テンキーで複数のファクス番号を指定する 4-46 マンマー送信 4-50 リダイヤル機能/コール機能 4-52 済みスタンブ機能を設定する 4-54 済みスタンブ機能を設定する 4-54 済みスタンブ機能を設定する 4-56 送信マ書アーカイブ) 4-56 送信マ書アーカイブ 4-56	画像/原稿の設定を調算	ñする(電子メール/
宛先を登録/編集/削除する 4-9 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グルーフダイヤルを登録/編集する 4-24 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-32 グルーフダイヤルを使用する 4-33 短縮ダイヤルを使用する 4-34 宛先表を使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-40 両面原稿を送信する 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-46 テンキーで複数のファクス番号を指定する 4-46 テンキーで複数のファクス番号を指定する 4-51 済みスタンプ機能を設定・使用する 4-52 済みスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく 4-56 送信文書アーカイブ) 4-56 送信文書アーカイブ 4-56	ファクス/ファイルサ	·一バ送信)4-6
ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する 4-10 定型業務ボタンを登録する 4-21 グルーブダイヤルを登録/編集する 4-24 宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-34 宛先表を使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-40 両面原稿を送信する 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-46 タイマー送信 4-46 タイマー送信 4-50 リダイヤル機能/コール機能 4-52 済みスタンプ機能を設定する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ) 4-56 送信文書アーカイブを使用する前に 4-56	宛先を登録/編集/削除する	
 定型業務ボタンを登録する	ワンタッチダイヤル/知	豆縮ダイヤルを登録/編集する4-10
クルーノダイヤルを登録/編集する	定型業務ボタンを登録す	する
宛先を指定する 4-30 ワンタッチダイヤルを使用する 4-30 短縮ダイヤルを使用する 4-32 グループダイヤルを使用する 4-34 宛先表を使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-36 定型業務ボタンを使用する 4-40 両面原稿を送信する 4-42 ダイレクト送信する 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-44 同報送信 4-46 友切の宛先を指定する 4-46 テンキーで複数のファクス番号を指定する 4-48 タイマー送信 4-50 リダイヤル機能/コール機能 4-52 済みスタンプ機能を設定・使用する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ) (送信文書アーカイブを使用する前に 4-56	クループダイヤルを登録	家/編集する4-24
ワンタッチダイヤルを使用する	宛先を指定する	
 短縮ダイヤルを使用する	ワンタッチダイヤルを使った。	使用する4-30
 ウルーフタイヤルを使用する	短額ダイヤルを使用する グループダイヤルを使用する	54-32 カオス 4 24
 定型業務ボタンを使用する	の失志を使用する	4-36
手動で送信する(ファクス送信)	定型業務ボタンを使用す	する
両面原稿を送信する	手動で送信する(ファクス送信)	
ダイレクト送信する	両面原稿を送信する	
□ 「日報送信	ダイレクト送信する	4-44
複数の宛先を指定する	同報送信	4-46
マンキーで複数のファクス番号を指定する	複数の宛先を指定する	4-46
タイマー送信	マンキーで複数のファク	
リダイヤル機能/コール機能 4-52 済みスタンプ機能を設定・使用する 4-54 済みスタンプを設定する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ) 4-56 送信文書アーカイブを使用する前に 4-56	タイマー送信	
済みスタンプ機能を設定・使用する	リダイヤル機能/コール機能	
済みスタンプを設定する	済みスタンプ機能を設定・使用する	3
済みスタンプ機能を設定する4-55 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ)4-56 送信文書アーカイブを使用する前に	済みスタンプを設定する	34-54
送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく (送信文書アーカイブ)	済みスタンプ機能を設定	定する4-55
送信文書アーカイブを使用する前に	送信文書を別の宛先にも送る設定は (送信文書アーカイブ)	こしておく 4-56
	送信文書アーカイブを住	更用する前に4-56

送信文書アーカイブを使用する	.4-57
自動リダイヤルを設定する(ファクス送信)	4-58
一時的にトーン発信へ切り替える	4-60
ダイヤル時回線確認	4-61
海外にファクスを送る(ポーズの挿入)	4-62
送信ジョブを中止する	4-64
メモリ内の送信ジョブを確認/操作する	4-65
送信履歴を確認する	.4-65
送信中または送信待機中のジョブを確認/削除する	.4-66
5 西信する	5_1
ファクス/ IEL 詳細設定	5-3
手動で受信する	5-5
代行受信	5-6
メモリ受信	5-7
メモリ受信した文書をプリントする	.5-11
DM 制限	5-12
受信した文書を転送する	5-13
転送条件に一致しない場合の転送先を登録する	.5-13
メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する	.5-16
転送に失敗した文書を円送信する	.5-17
リモート受信	5-19
リモート受信 ID を登録する	5-19
ファクスをリモート受信する	.5-21
特殊なファクス出力	5-22
両面印刷	.5-22
受信画像の縮小	.5-23
受信ジョブを中止する	5-25
メモリ内の受信ジョブを確認/操作する	5-26
受信履歴を確認する	.5-26
受信中のジョブを確認/削除する	.5-27
6 コンピュータからプリントする	6-1
ジョブの確認と削除	
プリント状況を確認/削除する	

7 コンピュータか	らファクス送信する	7-1
8 リモート UI		8-1
9 システム管理設	定	9-1
システム	管理者情報を設定する	9-1
本製品の	名前と設置場所を登録する	
部門別 IC) 管理を設定する	
	部門 ID /暗証番号/制限面数を登録する 暗証番号と制限面数を変更する 部門を消去する カウント情報を確認する	9-6 9-8 9-10 9-11
	カウント情報を消去するカウント情報をプリントする(部門別管理リスト). ID 不定のプリントジョブを受け付けるかどうか 設定する	9-12 9-13
ユーザル	○ (注)	
転送時の	 文書の取り扱いを設定する	
宛先操作	/送信機能を制限する	
送受信履	宛先表に暗証番号を設定する 指定できる宛先を制限する コンピュータからのファクス送信を制限する 送信前にファクス番号を再度確認する リダイヤル機能/コール機能を制限する 同報送信を制限する 歴の表示設定をする	9-18 9-20 9-21 9-22 9-23 9-24 9-25
10 日常のメンテ	ナンス	10-1
日常のお	手入れ	
	本体のお手入れ 内部のお手入れ 定着器のお手入れ 読み取りエリアのお手入れ ADF を自動的にクリーニングする 転写ローラ	
トナーカ	ートリッジの交換	10-10
	トナーを均一にならす トナーカートリッジを交換する	10-10 10-13
スタンプ	カートリッジを交換する	10-16

	本製品を移動するとき	10-18
11困	ったときには	11-1
	用紙がつまったときには	11-1
	ADF につまった原稿を取り除く	
	本体内部につまった用紙を取り除く	11-3
	ディスプレイの表示	11-5
	エラーコード	11-11
	<正しい用紙をセット>と表示された場合	11-16
	用紙をセットしなおす	11-16
	用紙サイズ設定を変更する	11-17
	一般的なトラブル	11-18
	給紙のトラブル	11-20
	送受信のトラブル	11-21
	送信時のトラブル	
	受信時のトラフル	
	コビーのトラフル	
	電話のトラフル	
	電力供給が止まったら	
	トラブルが解決しない場合	11-39
12 各種	重機能の登録/設定	
	各種機能を登録/設定する	
	ユーザデータリストをプリントする	
	設定メニューを使う	
	メニューの設定内容	12-4
	レポート/リストの概要	
	レポートを自動でプリントする	
	送信結果レポート/マルチ通信結果レポート	
	受信結果レポート	
	通信官理レハート	
	レハート/ リストを手動 じノリント9 る	10 47
	迪信官理レハートをノリント9る ワンタッチ宛先リスト1 /短縮宛先リスト1 /	12-47
	グループ宛先リストをプリントする	
	ワンタッチ宛先リスト2/短縮宛先リスト2を	
	プリントする	

	ジョブの確	認と削除	
		レポート状況を確認/削除する	
	メモリ残量	を確認する	
13 付録			
	主な仕様…		
		全体的な仕様	
		ファクスの仕様	
		電話の仕様	
		送信の仕様 ^{*1}	
		コピーの仕様	
		プリンタの仕様	
	索引		

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品をお 使いになる前に、安全のために以下の注意事項をよくお読みください。

安全にお使いいただくために

▲ 警告

本書で指示された部位を除き、本製品をご自分で分解したり、修理したりしないでください。感電などの原因になる ことがあります。本製品の修理については、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡く ださい。

取り扱いと保守/点検について

- ・ 本製品に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。
- ・ 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を移動または清掃するときは電源コードを抜いてください。
- ・本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリント などのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- ・紙づまりを防ぐために、プリント中は電源の入切、操作パネル部や後ろカバーの開閉、用紙の出し入れをしないでください。
- ・本製品を移動する場合は、トナーカートリッジを必ず本体から取り外してください。
- トナーカートリッジは、光にさらさないように、購入時に収められていた保護袋に入れるか、 厚手の布でくるんでください。
- ・ 排紙直後の用紙は高温になっている場合があります。用紙を取り出す際、取り出した用紙を 揃える際に火傷の原因になることがあります。
- 持ち運ぶときは、本製品の左右にある取っ手をしっかりと持ってください。用紙カセットや 金具部分は、絶対に持たないでください。
- ・ 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検すると きは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- ・本製品の内部に異物を入れないでください。異物が製品内部の電気部品などに接触すると、 火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 製品内部にピンやクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。
- ・ 水などの液体をこぼさないように、本製品の近くでは飲食しないでください。
- 定期的に本製品を清掃してください。ほこりなどがたまると正しく動作しないことがあります。
- ・以下のような場合は本製品の主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
 - ・ 電源コードやプラグが傷んだり、断線しているとき
 - ・ 本製品の中に水などの液体がこぼれたとき
 - ・ 本製品が雨や水に濡れたとき

- ・同梱の取扱説明書の手順どおりに操作しても本製品が正常に動作しないとき
 手順にない不正な調整をしてしまうと、故障の原因となったり、正常な動作に戻すまでに
 特殊な修理が必要となったりしますのでご注意ください。
- ・ 本製品を落としたり、傷つけたりしたとき
- ・本製品の動作に明らかに異常がみられるとき、エラーランプが点滅し続けるとき
- ・本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、本製品製造打ち切り後7年間です。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレー ザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合には レーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りくだ さい。
- ・ 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- ・ この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1レーザ製品であることを確認しています。
- ・ 以下のラベルが本製品内部のレーザースキャナユニットに貼られています。

	DANGER - Invisible laser radiation when open. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
	CAUTION - CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	 RAYONNEMENT LASER INVISIBLE DE CLASSE 3B EN CAS D'OUVERTURE. ÉVITEZ L'EXPOSITION AU FAISCEAU.
VORSICHT	 UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
PRECAUCIÓN	 RADIACIÓN LÁSER INVISIBLE DE CLASE 3B PRESENTE AL ABRIR. EVITE LA EXPOSICIÓN AL HAZ.
VARNING	 KLASS 3B OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VAROITUS	 LUOKAN 3B NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASER-SÄTEILYÄ AVATTUNA. VÄLTÄ ALTISTUMISTA SÄTEELLE.
注意	 打开时,存在不可见的3B类激光辐射,请避免接触该激光束
注意	■ 打開機器蓋板時有3B級不可視雷射光釋出,應避免曝射
주 의	 열리면 등급 3B 비가시 레이저 방사선이 방출됩니다. 광선에 노출을 피하십시오.
注意	 ここを開くとクラス3B不可視レーザ放射が出ます。 ビームに身をさらさないこと。 FS7-8335

🛕 注意

本書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。

設置について

- ・平らで、ぐらつきや振動がなく、本製品をしっかりと支えられる場所に設置してください。
- ・ 涼しくて湿気やほこりがなく、風通しの良い場所に設置してください。
- ・ ちりやほこりがない環境でお使いください。
- ・ 高温多湿にならない環境でお使いください。
- ・ 直射日光の当たる場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。窓の近 くに設置する場合は、厚手のカーテンまたは日よけを窓に取り付けてください。
- 水気のある場所では使用しないでください。湿気を含んだ物を本製品に近づけないようにしてください。
- ・ 屋外での使用や設置は避けてください。
- ・ スピーカーなど磁気を含んだ機器や、磁界を生じる機器の近くに設置しないでください。
- ・本製品の通気口を壁や物でふさがないように設置してください。また、ベッドやソファー、
 毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口がふさがれると製品内部に
 熱がこもり、火災の原因になることがあります。通気口は壁や他の機器などから 10cm 以
 上離して設置してください。



- ・ 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、接地接続を外す場合 は、必ず電源プラグを電源から切り離して行って下さい。
- いつでも電源コードが抜けるように、電源コードの周りには物を置かないでください。異常な音や煙、熱、変なにおいなどが発生した場合は、直ちに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。
- ・電源コードの上に物を置かないでください。また、電源コードを踏んだり、束ねたり、結ん だりしないでください。
- ・使用中の製品からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。
 ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

こんなことができます

電源について

- ・ 雷が鳴ったら、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードを抜いてください。(突然停電が 起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内容やス ピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約3時間 保存されます。)
- ・電源コードを抜いたときは差しなおすまでに5分以上間隔をおいてください。
- ・ 電源コードを無停電電源に接続しないでください。

▲ 警告

本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本製品から離れてくださ い。そして直ちに、医師にご相談ください。

資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。 回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお 願いします。

● 使用済み複写機の受け入れ場所について

使用済みとなった複写機につきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先 に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み 複写機のリサイクルを推進しています。 使用済みの複写機の回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談セ ンターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分して ください。

● 使用済みカートリッジなどの廃棄について

使用済みとなったカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問 い合わせ先に注意してご連絡願います。



カスタマーサポート

本製品は、メンテナンスフリーで安心してお使いいただけるように作られています。操作上問 題が発生したときは、「第 11 章 困ったときには」を参照してください。それでも解決しない 場合や点検が必要と考えられる場合には、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談 センター(巻末参照)にご連絡ください。

イラストについて

本書に使われているイラストは、特にお断りがない限り、オプション機器を装着していない場 合のものです。



本書の読みかた

マークについて

本書では、本製品を使用する上で安全のためにお守りいただきたいことや、役に立つ情報に下 記のマークを付けています。

▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。

1注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれ ています。

🧭 🗡 🖉

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。

また本書では、操作するキー、ディスプレイに表示されるメッセージ、コンピュータ画面上の ボタンや項目を以下のように表記しています。

- ・ キー名称: [ストップ]
- ・ ディスプレイ:<用紙を補給して下さい>
- ・ コンピュータ画面上のボタンおよび選択項目: [詳細設定]

本書の操作説明で使用している操作パネル図中の番号は、操作手順の番号に対応しています。

略称について

本書では、日本郵政公社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の()内の名称で登録されている 場合があります。 Canofax L1000 (F189505)

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的として いますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き 起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。 なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドラ イン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エ ネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。 国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機

器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラム は、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の 促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任 意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリ ンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びに マーク(ロゴ)は、参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について



本製品は、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得しています。

xxi

物質エミッションの放散に関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレンの放散については、エコマーク No117「複写機 Version2.0」の物質エ ミッションの放散に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品用に推奨しております Canon Cartridge 304 を使用し、白黒複写を行った場合について、試験方法: RAL-UZ62:2002 の付録3~5に基づき試験を実施しました。)

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製したり、加工したりすると、法律により罰せられ る場合がありますのでご注意ください。

● 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる 限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真など を複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

● 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを 作成することは法律により罰せられます。

- ・ 紙幣、貨幣、銀行券(外国のものを含む) 株券、社債券
- ・ 国債証券、地方債証券
- ・ 郵便為替証書
- ・ 郵便切手、印紙

 ・ 定期券、回数券、乗車券 その他の有価証券

・手形、小切手

● 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- ・ 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名
- [関係法律] ・刑法
 - 著作権法
 - 通貨及証券模造取締法
 - ・ 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券
 ・ 印紙等模造取締法
 - ・ 証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- ・郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法

商標について

Canon、Canon ロゴ、および Canofax はキヤノン株式会社の商標です。

Microsoft、Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国 およびその他の国における登録商標です。

Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。 その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

著作権について

Copyright CANON INC. 2013

キヤノン株式会社の事前の書面による承諾を得ることなしに、いかなる形式または手段(電子 的、機械的、磁気的、光学的、化学的、手動、またはその他の形式/手段を含む)をもっても、 本書の全部または一部を、複製、転用、複写、検索システムへの記録、任意の言語やコンピュー 夕言語への変換などをすることはできません。

第三者のソフトウェアについて

A. お客様がご購入のキヤノン製品(以下、「本製品」)には、第三者のソフトウェア・モジュー ル(その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」)が含まれており、かかる「第三 者ソフトウェア」には、以下1~8の条件が適用されます。

- 1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場 合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
- 第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
- お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
- お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許 諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
- 5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡 することができます。
 - ・お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
 - ・お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
- お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コン パイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
- お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェ ア」を複製してはなりません。
- 8.「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾 されません。

免責事項

本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

こんなことができます

お使いになる前に

お使いになる前に

各部の名称とはたらき



- A ADF(自動原稿給紙装置)
 セットされた原稿を自動的に読み込み位置に送り ます。
- B 原稿ガイド 原稿の幅に合わせて調節します。
- C 原稿給紙トレイ 原稿をセットします。
- D 原稿排紙トレイ原稿が排出されます。
- E 排紙トレイ コピー、プリント、ファクスなどの出力紙を排出 します。
- F 排紙ストッパー 排紙トレイから出力紙が落ちるのを防ぎます。 A4 サイズの用紙で出力する場合に、ストッパーを 開いて使用します。
- G 操作パネル本製品を操作します。
- H 用紙カセット 用紙をセットします。
- A スタックサポート 排紙トレイでの用紙のカール防止に役立ちます。 カールしやすい用紙をお使いの場合、できるだけ 開いた状態で使用してください。





- J 左カバー トナーカートリッジの交換や、つまった用紙を取 り除くときに開きます。
- K ADF 読み取りエリア ADF にセットされた原稿を読み取ります。
- L 手差しトレイ 標準サイズ以外の用紙や、厚いまたは薄い用紙を まとめてセットできます。
- M 手差しトレイ用紙ガイド 用紙の幅に合わせて調節します。
- N 補助トレイ引き出して用紙をセットします。
- O USB ポート USB ケーブルを接続します。
- P イーサーネットポート ネットワークケーブルを接続します。
- Q 電話回線端子電話線コードを接続します。
- R 外付け電話機用端子 外付け電話機を接続します。
- S ハンドセット端子 オプションのハンドセットケーブルを接続しま す。
- T 電源ソケット/アース端子
 電源コードおよびアース線を接続します。
- U 主電源スイッチ電源を入れたり、切ったりします。

操作パネル

操作パネル右部分



F

- A [初期設定/登録] キー 各種の登録や機能の設定をするときに押します。
- B [用紙選択] キー 給紙元(カセットまたは手差しトレイ)を選択す るときに使います。
- C [濃度] キー コピーや送信原稿の濃度を調整するときに使いま す。
- D [両面] キー 両面コピーまたは両面ファクスを設定するときに 使います。
- E 濃度ランプ コピー/ファクスモードで設定された濃度が点灯 します。

- 画質ランプ コピー/ファクスモードで設定された画質が点灯 します。
- G [設定確認] キー コピーの設定を確認するときに使います。
- H [シリアル No.] キー シリアル番号を確認するときに使います。
- 【認証】キー
 ID 管理モードが有効な状態のときに使います。本 製品を使用するときや管理モードに切り替えると きに押します。
- J [コピー] キー コピーモードに切り替えます。

- L [クリア] キー 入力した文字や数字を削除するときに使います。
- M [節電] キー 手動で節電状態に設定したり解除したりするとき に使います。節電状態のときはグリーンに点灯し ます。
- N [ストップ] キー 操作をキャンセルするときに使います。
- C エラーランプ
 エラーが起きたときに点滅または点灯します。
- P [スタート] キー コピー、スキャン、ファクス送信などを開始する ときに使います。
- Q 実行/メモリランプ 本製品が動作中に点滅します。待機中のジョブが あるときは点灯します。
- R [記号] キー 記号を入力するときに使います。
- S テンキー 文字や数字を入力するときに使います。
- T [トーン] キー プッシュ回線とダイヤル回線を切り替えるときに 使います。
- U [リセット] キー 待受画面に戻ります。

- V [ファクス/送信]キー ファクス/送信モードに切り替えます。
- W カラーランプ カラー送信を選んだときに点灯します。
- X [画質] キー コピーやファクスの画質を設定するときに使いま す。
- Y [+▶] キー 設定する数値を上げるときに使います。また、次 のメニュー項目を表示するときにも使います。
- Z [OK] キー 設定、登録した内容を確定するときに使います。
- a [◀━] キー 設定する数値を下げるときに使います。また、前 のメニュー項目を表示するときにも使います。
- b [戻る] キー 前の画面に戻るときに押します。
- C ディスプレイ メッセージや動作状況を表示します。設定操作中 は選択項目、テキスト、数字などを表示します。
- d [システムモニタ] キー ファクス、プリント、コピー、レポート印刷など の状況を確認するときに使います。

操作パネル左部分



- A [ワンタッチ]キー ワンタッチダイヤルに登録した番号にダイヤルす るときに使います。 キー 01-04 は定型業務ボタンとして使用します。
- B ワンタッチキーパネル ワンタッチキーO1 ~ 20を使うときは閉じておき ます。21 ~ 40を使うときは1枚開きます。41 ~60を使うときは2枚開きます。61~80を使 うときは3枚開きます。
- C [宛先表] キー ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録した宛 先を相手先の名前またはファクス番号/メールア ドレス/Iファクスアドレス/ホスト名から検索す るときに使います。
- D [スタンプ] キー スタンプ機能を設定するときに使います。
- E [タイマー送信]キー あらかじめ宛先の指定や原稿の読み込みをしてお き、指定した時刻に送信するときに使います。
- F [ダイレクト送信]キー ダイレクト送信を設定するときに使います。

- G [フック] キー オプションのハンドセットや外付け電話機の受話 器を置いたままダイヤルするときに使います。
- H [ポーズ] キー ファクス番号にポーズを挿入するときに使いま す。
- I [リダイヤル] キー 待機中のとき、送信した相手先に設定とともに、も う一度かけなおすときに押します。 オプションのセンドキットを装着している場合 は、コール機能として使用します。
- K [短縮ダイヤル] キー 短縮ダイヤルに登録した宛先を指定するときに使 います。

ディスプレイ(待受画面)

ファクス/送信モード

コピーモード

ファクス



🧭 🗡 🖉

- ・主電源スイッチを入れると、ディスプレイに<ウォー ミングアップ中…/お待ちください>と表示したの ち、待受画面に切り替わります。
- 宛先の登録件数によっては、主電源スイッチを入れた あと、待ち受け画面が表示されても操作パネルでの キー操作が受け付けられない場合があります。その場 合はキー操作が受け付けられるまでお待ちください。
- オートクリアが有効になっている場合、ディスプレイ が待受画面に戻ります。
- ・部門別/ユーザ ID 管理モードは、部門別/ユーザ ID 管理機能を設定している場合に表示されます。操作方 法については、「部門別/ユーザ ID 管理を設定してい る場合」(→ P.1-8)を参照してください。

ID 管理モード

● 部門別 ID 管理の場合

部門 I D 入力

● ユーザ ID 管理の場合

1-ザェ Dを入力

: A

ハンドセット (オプション)

本機を電話機としても使う場合と手動でファクス文書を受信したい場合は、オプションのハン ドセットを取り付けください。ハンドセットの購入については担当サービスにご連絡くださ い。



ボールペンなど先のとがったものでハンドセットの着信音量を選択してください。

🥖 🗶

ハンドセットの取り付けについてはスタートアップガイド「ハンドセット(オプション)をセットする」を参照して ください。

ハンドセット取扱上の注意

- ハンドセットは直射日光の当たる場所に置かないでください。
- ハンドセットは高温または高湿の場所に取り付けないでください。
- ハンドセットにエアゾールの光沢剤を吹きかけないでください。故障の原因になります。
- 水を含ませて固く絞った布でハンドセットを掃除してください。



<システム管理設定>にある部門別ID管理またはユーザID管理を<ON>に設定している場合は、登録済みのIDと暗証番号を入力した場合のみ本製品が使えるように設定することができます。詳細については、操作ガイド(総合編)> セキュリティ > 部門別 ID 管理を設定する または ユーザ ID 管理を設定する を参照してください。

ご使用の前に必要な作業



1 テンキーを使って部門 ID またはユーザ ID を入力し、[OK] または [認証] を押します。

2 暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って暗証番号を入力し、[OK] または [認証]を押します。

待受画面が表示されます。

ご使用後に必要な作業



1 [認証]を押します。

トナーカートリッジ

本製品に付属のキヤノン純正スタータートナーカートリッジ(同梱用)の寿命は、約 2,000 ページです。また、交換用のキヤノン純正トナーカートリッジの寿命は、約 4,500 ページで す。このページ数は印字率 5%^{*} で A4 サイズの用紙に印刷した場合の値です。トナー消費量 は、印刷する書類の内容によって異なります。図、表、グラフなどを多用した、空白部分が少 ない書類はトナー消費量が多くなるので、トナーカートリッジの寿命が短くなります。トナー カートリッジ交換の際は、必ず本製品専用のトナーカートリッジを使用してください。

*「印字率5%」とは、用紙全体に対してトナーでカバーされる面積が5%であることをいいます。

トナーカートリッジ名: Canon FX12 Cartridge



機種名	同梱品/交換品	対応するキヤノン純正カートリッジ	印字枚数
Canofax L1000	同梱品	Canon FX12 S-Cartridge	A4 サイズで約 2,000 枚
	交換品	Canon FX12 Cartridge	A4 サイズで約 4,500 枚

トナーカートリッジの取り扱い

- ●トナーカートリッジをコンピュータ画面やディスクドライブ、フロッピーディスクなどに近づけないでください。トナーカートリッジ内部のマグネットによって破損する恐れがあります。
- ●トナーカートリッジは、高温多湿や急激に温度が変化するような場所および火気のある場所 に保管しないでください。
- トナーカートリッジを、直射日光や電灯の光に5分以上さらさないでください。
- ●トナーカートリッジは保護袋に入れて保管し、本製品に取り付けるまで保護袋から取り出さないでください。
- ●トナーカートリッジの保護袋は保管しておいてください。本製品を移動するときなどに必要になります。
- ●トナーカートリッジを、塩分を含んだ空気や、エアゾールスプレーなどから出る腐食性ガスが充満している場所に保管しないでください。
- 必要なとき以外は、トナーカートリッジを取り外さないでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッターを開けないでください。ドラム表面を光にさら したり、傷つけたりすると、プリント品質が低下する恐れがあります。
- ●トナーカートリッジを取り扱う際は、ドラム保護シャッターに触れないように必ず取っ手を 持ってください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、逆さにしたりしないでください。トナーカートリッジ内部でトナーが固まってしまい、振っても元に戻らなくなることがあります。
- 使用済みトナーカートリッジを廃棄する場合は、トナー容器を保護袋に入れてトナーが飛び 散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。
- カートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。
- カートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- ●トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- カートリッジは分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがありま す。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1注意

トナーが発火してやけどの原因になることがあるので、トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。

消耗品のご購入相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。ご不明な場合は 巻末のキヤノンお客様相談センター(巻末参照)までお問い合わせください。
タイマー設定

スリープモードを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、自動的に節電状態に移行します(スリープモー ド)。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 [**◀**—] または [**+**▶] を押して<タイマー設定>を選択し、[OK] を押します。 3 [<---]または[+--]を押して<オートスリープタイム>を選択し、[OK]を押します。 4 [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 5 [<--]または [+ ▶]を押して時間を選択し、[OK]を押します。 時間は3分~30分の間で設定できます(1分刻み)。

テンキーを使って数値を入力することもできます。

🧭 🗶

初期値は5分に設定されています。

お使いになる前に



6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

🖉 🖉

- ・スリープモードに移行すると、[節電]キーがグリーンに点灯します。
- ・ スリープモードから復帰するには、[節電]を押してください。
- ・手動でスリープモードにするには、[節電]を押してください。
- ・以下の状態の場合は、スリープモードになりません。
- ・本製品が操作中の場合
 ・実行/メモリランプが点灯または点滅している場合
 ・エラーメッセージがディスプレイに表示され、エラーランプが点滅している場合
 ・手差しトレイに用紙がセットされている場合
 ・本体内で紙づまりが発生している場合
 ・オプションのハンドセットまたは外付け電話の受話器が外れている場合
 ・以下の状態の場合は、スリープモードが解除されます。
 ・[節電]が押された場合
 - ・ファクスを受信した場合
 - ・オプションのハンドセットまたは外付け電話の受話器が外れている場合
- ・コンピュータからプリントジョブが送信され、プリントが開始された場合
- ・スリープモードの状態で主電源を切ったあとは、10秒以上たってから主電源を入れなおしてください。

オートクリアタイムを設定する

本製品はある一定時間何も操作をしないと、ディスプレイが待受画面に戻ります(オートクリ ア機能)。



 [初期設定/登録]を押します。
 [<--]または [+ト]を押して<タイマー設定>を選択し、[OK]を押します。
 [<--]または [+ト]を押して<オートクリアタイム>を選択し、[OK]を押します。
 [<--]または [+ト]を押して<ON>を選択し、[OK]を押します。
 [<--]または [+ト]を押して時間を選択し、[OK]を押します。
 病間は1分~9分の間で設定できます(1分刻み)。 テンキーを使って数値を入力することもできます。

6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

タイムゾーンを設定する

世界の地域別標準時間帯は、GMT(±0時)からの時差(±12時間以内)を使用して各国の標準時間帯としています。この時差を使用している地域をタイムゾーンといいます。日本の標準時はこれより9時間先行しているため、<GMT+09:00>を設定します。

🖉 🗶

イギリスのグリニッジ天文台の時刻(グリニッジ標準時)を GMT(Greenwich Mean Time)と呼びます。



1	[初期設定/登録]を押します。					
2	【 ◀ ― 】または【 + ▶】を押して<タイマー設定>を選択し、【OK】を押します。					
3	【 ◀ ― 】または【 + ▶ 】を押して<タイムゾーン>を選択し、[OK】を押します。					
4	【 ◀ —】または【 + ▶】を押して希望のタイムゾーンを選択し、[OK]を押します。					
5	[ストップ] を押して待受画面に戻ります。					

🦉 🗡 E

・設定内容は本製品を再起動すると有効になります。

・再起動を行う場合は、一度電源を切り、10秒後に電源を入れなおしてください。

お使いになる前に



原稿と用紙の取り扱い

使用可能な原稿

ADF

原稿の種類	普通紙(同じサイズ、厚さ、重量の複数枚の原稿、または 1 枚の原稿)
サイズ (幅 x 長さ)	最大 297mm × 432mm(最長 630mm) 最小 148mm × 148mm
重量	片面読込の場合 : 50 ~ 128 g/m ² 両面読込の場合 : 50 ~ 105 g/m ²
枚数	最大 50 枚(A4・A4R・A5・A5R・B5・B5R サイズの場合) ^{*1} 最大 20 枚(A3・B4 サイズの場合) ^{*1}

*1 80g/m²の用紙

- のり、インク、修正液が完全に乾いてから、原稿をセットしてください。
- ADF 内で原稿がつまるのを防ぐために、以下のものは使用しないでください。
 - ・ しわや折り目のある原稿
 - ・ カーボン紙やカーボンバック紙
 - カールした、または巻いた紙
 - ・ コート紙
 - ・ 破れた原稿
 - ・ 薄質半透明紙や薄紙
 - ・ ホッチキスの針またはクリップが付いた紙
 - ・ 熱転写プリンタでプリントされた紙
 - ・ OHP フィルム

読み取り範囲

原稿の文字や画像が、以下の図の淡色部分に収まっていることを確認してください。下記の余 白は目安であり、実際とは異なる場合があります。





ADF にセットする

1 原

2





読み取る面を上にして、ADF に原稿をセットします。



原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。



原稿を読み込む準備ができました。

🖉 🖉

- ・ 読み込み中に原稿を追加したり、抜いたりしないでください。
- ・ すべての原稿が読み込まれたら、紙づまりを防ぐために原稿排紙トレイから原稿を取り出してください。
- 30回以上 ADF で同じ原稿を読み込まないでください。繰り返し読み込まれた原稿は、折りたたまれたり 破れたりして、紙づまりを起こすことがあります。
- ・ 鉛筆で書かれた原稿を読み込んで給紙ローラが汚れた場合は、清掃してください。 (→日常のお手入れ: P.10-1)

使用可能な用紙

		カセット	手差しトレイ
サイズ(幅 x 長さ)		A4	76 x 127 ~ 216 x 356 mm
坪量		$64 \sim 90 \text{ g/m}^2$	$56 \sim 128 \text{ g/m}^2$
枚数		最大 500 枚 * ¹	最大 100 枚 ^{*1}
用紙の種類	普通紙 * ²	0	0
	色紙 * ²	0	0
	再生紙 ^{*2 *7}	0	0
	厚紙 1* ³	0	0
	厚紙 2 ^{*4}	×	0
	厚紙 3 ^{*5}	×	0
	OHP フィルム ^{*6}	×	0
	ラベル紙	×	0
	はがき	×	0
	4 面はがき	×	0
	封筒	×	0

(〇:使用可能 ×:使用不可)

*¹80 g/m² の用紙 *²64 ~ 80 g/m² *³81 ~ 90 g/m² *⁴91 ~ 105 g/m² *⁵106 ~ 128 g/m² *⁶ 本製品専用の A4 サイズの OHP フィルムをお使いください。 *⁷ 再生紙は、古紙配合率 100%の再生紙も使用できます。

🥭 🗡

用紙サイズの初期値は A4 です。別の用紙サイズを使用する場合は、用紙サイズの設定を変更してください。 (→用紙のサイズと種類を設定する:P.2-11)

- ・ しわや折り目のある紙
- ・カールした、または巻いた紙
- ・ コート紙
- ・ 破れた紙
- ・ 湿った紙
- 非常に薄い紙
- ・ 熱転写プリンタでプリントされた紙(裏面にコピーしないでください。)
- 以下の用紙ではプリントが不鮮明になります。
 - 目の粗い紙
 - ・ つるつるした紙
 - 光沢紙
- 用紙にほこり、糸くず、油のしみが付かないようにしてください。
- 用紙を大量に購入する際は、事前に用紙を試してください。
- 用紙は包装紙で包み、平らな場所で保管してください。開封した用紙は元の包装紙で包みなおし、涼しい乾燥した場所で保管してください。
- 用紙は室温 18 ℃~ 24 ℃、相対湿度 40%~ 60%の場所で保管してください。
- OHPフィルムは、レーザプリンタ用のものを使用してください。キヤノン機専用のOHPフィ ルムをお使いになるようお勧めします。

プリント範囲

淡色部分は、A4 サイズ用紙のプリント範囲の目安です。下記の余白は目安であり、実際とは 異なる場合があります。



用紙をセットする

カセットに用紙をセットする方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」 を参照してください。

手差しトレイにセットする(例:封筒)

OHP フィルム、ラベル、規格外の用紙、封筒などにプリントする場合は、手差しトレイを使用してください。

- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒を使用してください。
- 紙づまりを防ぐため、以下のものは使用しないでください。
 - ・窓付き、穴あき、ミシン目付き、切り込みがある、フタが二重になっている封筒
 - ・ 特殊なコート紙の封筒や深い浮き出しのある封筒
 - ・ 剥離紙のついた封筒
 - ・ 中身の入った封筒
- プリンタドライバで正しい封筒サイズを設定してください。(オンラインヘルプを参照して ください。)

1 手差しトレイを開きます。



補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。



🖉 🗶

必ず補助トレイを使って用紙をセットしてください。

3 宛先を印刷する面を下向きにし、フタを図のようにしてセットします。一番奥まで封筒 を差し込みます。

封筒をセットする場合は、平らな場所で封筒をそろえてから、4 辺を押してそろえます。 封筒の短いほうの辺にフタがついている場合は、必ずフタのついている側から手差しトレイに差し込みます。 この向きに入れないと、紙づまりの原因になります。







🧭 🗶

- ・ 用紙が、枚数制限ガイドを越えないようにしてください。
- 用紙の種類によっては、手差しトレイにうまく給紙されないことがあります。より鮮明にコピーをするには、キヤノン推奨の用紙や OHP フィルムをお使いください。
- ・ 小型サイズの用紙、厚紙などにコピーする場合は、コピー速度が通常より若干遅くなることがあります。

用紙のサイズと種類を設定する

初期値は、<普通紙>と< A4 >です。別の種類の用紙をセットする場合は、以下の手順に 従って設定を変更してください。

手順3で用紙カセットまたは手差しトレイを選択するのを除いて、用紙カセットと手差しトレ イとで手順は同じです。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<用紙設定>を選択し、[OK] を押します。
- 3 [◄-]または [+►]を押して<カセット1>または<手差しトレイ>を選択し、 [OK]を押します。
 - 🖉 🗶

オプションのカセットを装着している場合は、<カセット2>を選択することもできます。

4 [◀━] または [+▶] を押して<用紙サイズ>を選択し、[OK] を押します。

[**◀−**]または [**+▶**]を押して用紙のサイズを選択し、[OK]を押します。

以下の用紙サイズを選択できます。 カセット: < A4 > 、 < LGL > 、 < LTR > 手差しトレイ:< A4 > 、 < B5 > 、 < A5R > 、 < LGL > 、 < LTR > 、 < EXEC > 、 < OFICIO > 、 < BRAZIL-OFICIO > 、 < MEXICO-OFICIO > 、 < FOLIO > 、 < G-LTR > 、 < G-LGL > 、 < FLSP > 、 <洋形 2 号> 、 <洋形 4 号> 、 <ハガキ> 、 <往復ハガキ> 、 < 4 面ハガキ> 、 < ユーザ設定(カスタム) > *¹

*¹ 定形外用 このサイズを選択した場合は、<高さ>に縦の大きさを入力し、[OK] を押します。 <幅>に横の大きさを入力し、[OK] を押します。



6 [◀–] または [+▶] を押して<用紙種類の登録>を選択し、[OK] を押します。

🖉 🗡

手順5で、<洋形4号>、<洋形2号>、<ハガキ>、<往復ハガキ>、<4面ハガキ>を選択した場合は、<用紙種類の登録>は選択できませんので、手順8に進んでください。

7 [◀━]または [+▶] を押して用紙の種類を選択し、[OK] を押します。

以下の紙種を選択することができます。 カセット:<普通紙>、<色紙>、<再生紙>、<厚紙 1 > 手差しトレイ:<普通紙>、<色紙>、<再生紙>、<厚紙 1 >、<厚紙 2 >、<厚紙 3 >、 < OHP フィルム>、<ラベル用紙>、<ハガキ>、<4 面ハガキ>、<封筒>

8 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。



以下の手順に従ってコピーします。





コピーの設定をする

[スタート]を押してコピーを開始する前に、読み込む原稿の種類に合わせて設定を調整する ことができます。オートクリアが有効になっている場合、または[ストップ]を押した場合は、 調整した設定は初期値に戻ります。

画質を調節する



- 1 [コピー] を押します。
- 2 [画質]を繰り返し押して、原稿の種類を選択します。

<写真>:細かい文字または写真のある原稿に適しています。 <文字 / 写真>:文字と写真のある原稿に適しています。 <文字>:文字原稿に適しています。

濃度を調節する

原稿に最適な濃度に調整できます。



1 [コピー]を押します。

2 [濃度]を繰り返し押して、濃度を選択します。

[濃く]:薄い原稿を濃くコピーします。 [標準]:通常の原稿のコピーに適しています。 [薄く]:濃い原稿を薄くコピーします。

🥖 🗡 🖉

- ・すべての設定を取り消すには、[リセット]を押します。
- ・[ファクス/送信]などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、[初期設定/登録]→<コピー仕様設定>→<標準モードの変更>→<濃度>で設定登録を行ってください。(→メニューの設定内容: P.12-4)

自動倍率

指定した用紙サイズに合わせて、原稿を自動的に拡大/縮小してコピーする設定にしておくことができます。倍率は 1:1.45、1:1.41、1:0.70、1:0.50 の範囲で設定されます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<コピー仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<自動変倍>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- 5 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

ソートコピー

コピーをページ順にそろえることができます。この機能は、「両面コピー」(→ P.3-7)の機能 と一緒に使うことができます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<コピー仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◄-] または [+▶] を押して<ソート>を選択し、[OK] を押します。

ソートコピー機能を「両面コピー」(→ P.3-7)と一緒に使いたい場合は、片面から両面にコピーする、両面から両面にコピーする、両面から片面にコピーする、の手順3に進んでください。

4 [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

両面コピー

両面コピー機能を使って、片面の原稿から両面コピーをすることができます。この機能は、 「ソートコピー」(→P.3-6)の機能と一緒に使うことができます。

🖉 🗶

- 両面コピーには以下の用紙を使用してください。
- ・用紙サイズ:A4、LGL および LTR
- ・用紙の重さ:64~90g/m²

片面から両面にコピーする

片面の原稿から両面にコピーします。

片面から両面へのコピー





 \Box

コピー





1 原稿をセットします。

- 2 [コピー] を押します。
- **3** [両面]を繰り返し押して<片面 > 両面>を選択し、[OK]を押します。



4

[◀━] または [┿▶] を押して<左右開き>または<上下開き>を選択し、[OK] を 押します。



図のように原稿の画像の向きを縦にセットした場合、出力結果は開きかたの選択により、以下のとおりにな ります。

<左右開き>:コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。

<上下開き>:コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

🥒 🗶

A3 の縦原稿の場合など画像の向きを横にセットしたときは、<左右開き>を選択するとコピーの表面と裏面の上下が逆向きになります。また、<上下開き>を選択するとコピーの表面と裏面の上下が同じ向きになります。

5 テンキーを使ってコピー部数(1~99)を入力します。

[スタート]を押します。

🧭 🗶

- ・すべての設定を取り消すには、[ストップ]を押します。
- ・[ファクス/送信] などを押し、モードを切り替えた場合も、設定が取り消されます。初期値として登録したい場合は、「メニューの設定内容」(→ P.12-4) を参照してください。
- ・ 手順4の代わりに、[OK]を押すだけで手順5に進めます。この場合は、<左右開き>でコピーされます。

両面から両面にコピーする

両面の原稿から両面コピーします。

両面から両面へのコピー





- **1** 原稿をセットします。
- 2 [コピー] を押します。
- **3** [両面]を繰り返し押して<両面 > 両面>を選択し、[OK]を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して(原稿の) <左右開き>または<上下開き>を選択し、 [OK] を押します。

<左右開き>:原稿の表と裏の面の上下を同じ向きにします。 <上下開き>:原稿の表と裏の面の上下を逆向きにします。

5 [◀—] または [+▶] を押して (コピーの) <左右開き>または<上下開き>を選択し、[OK] を押します。

<左右開き>:コピーの表と裏の面の上下を同じ向きにします。 <上下開き>:コピーの表と裏の面の上下を逆向きにします。

6 テンキーを使ってコピー部数(1~99)を入力します。

[スタート] を押します。

すべての設定を取り消すには、[ストップ]を押します。

両面から片面にコピーする

両面の原稿から片面コピーします。

両面から片面へのコピー





- 1 原稿をセットします。
- 2 [コピー]を押します。
- 3 [両面]を繰り返し押して<両面 > 片面>を選択し、[OK]を押します。
- 4 [◀—] または [+▶] を押して (原稿の) <左右開き>または <上下開き>を選択し、 [OK] を押します。



図のように、原稿の画像の向きを縦にセットした場合、以下のように開きかたを選択してください。 <左右開き>:原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に選択します。 く上下開き>:原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に選択します。

🖉 🗶

A3の縦原稿の場合など画像の向きを横にしたときは、原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合にく左右開 き>を選択します。また、原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に<上下開き>を選択します。

5 テンキーを使ってコピー部数(1~99)を入力します。

6 [スタート]を押します。

すべての設定を取り消すには、[ストップ]を押します。



本製品がプリント中でも、コピー設定と原稿の読み込みができます。作業中のジョブが完了し てから、読み込み済みのコピージョブが開始されます。



1 原稿をセットします。

2 [コピー]を押します。

3 テンキーを使ってコピー部数(1 ~ 99)を入力し、[スタート]を押します。 異なる設定のコピージョブを最大5件まで予約できます。



以下の手順で、原稿の読み込み操作や印刷操作を中止します。



1 [ストップ]を押します。

2 <ストップが押されました>と表示されたら、[OK] を押します。

ス ト ッ フ゜が 押 され ま し た ○ ĸ キ ー を 押 し て く だ さ い

<ジョブを中止しますか?>と表示されたら、[◀—]を押して<はい>を選択します。



ジョブの確認と削除

[システムモニタ]を押して、コピー中またはコピー待機中のジョブの状態を確認できます。

コピー状況を確認/削除する







以下の手順に従って原稿を送信してください。読み込んだ原稿はファクス送信の他、電子メー ルや I ファクスの添付ファイルやネットワーク上のコンピュータ(ファイルサーバ)にファイ ルとして送信できます。

電子メール、| ファクス、ファイルサーバ送信など、本製品をネットワーク環境で使用する場 合は、スタートアップガイド「ネットワーク設定」を参照してください。また、応用機能につ いては、操作ガイド(総合編)> 送受信する を参照してください。





読み込み設定

送信原稿の種類に合わせて、画質(ファクス送信)と濃度を調整できます。高い画質に設定す ると、出力画像は鮮明になりますが、通信速度は遅くなります。

また、電子メール、| ファクス、ファイルサーバに原稿を送信する場合、用途に合わせて以下 の詳細設定もできます。設定操作は宛先指定後に詳細設定メニューで行います。(→画像/原 稿の設定を調節する(電子メール/|ファクス/ファイルサーバ送信):P.4-6)

- ・ 画像のファイル形式
- ・ 画像の分割送信(複数枚の原稿送信時)
- 原稿の種類

🖉 🗶

電子メール/Iファクス/ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。

画質を調節する(ファクス送信)



1 [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。


2 [画質]を繰り返し押して希望の画質を選択し、[OK]を押します。

<ウルトラファイン>:<スーパーファイン>よりもさらにきめ細かく調整されます(解像度は<標準>の8 倍)。(400 × 400dpi)

<スーパーファイン>:細かい文字と画像を含む原稿に適しています(解像度は<標準>の4倍)。 (200 × 400dpi)

<写真>:写真を含む原稿に適しています(解像度は<標準>の2倍)。(200 × 200dpi) <ファイン>:文字の細かい原稿に適しています(解像度は<標準>の2倍)。(200 × 200dpi) <標準>:文字のみの原稿に適しています。(200 × 100dpi)



1 [ファクス∕送信]を繰り返し押して送信方法を選択し、[OK]を押します。

2 [濃度]を繰り返し押して、濃度を選択します。

[濃く]:薄い原稿を濃くコピーします。 [標準]:通常の原稿のコピーに適しています。 [薄く]:濃い原稿を薄くコピーします。

🖉 🖉

読み込みが終了すると、設定値が初期値に戻ります。基本設定として登録したい場合は、[初期設定/登録]→ <送信/受信仕様設定>→<共通設定>→<送信機能設定>→<標準モードの変更>→<読取濃度>で設定 登録を行ってください。(→メニューの設定内容:P.12-4) 画像/原稿の設定を調節する(電子メール/|ファクス/ファイルサー バ送信)



2 [ファクス/送信]を繰り返し押して送信方法を選択し、[OK]を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目 からいずれかを選択し、[OK]を押してください。

🖉 🗶

- ・電子メール/ファイルサーバ送信でカラー画像を送信する場合は、<電子メール:カラー>を選択してください。
- カラー画像を送信する場合は、宛先を指定する前に必ず送信方法を指定してください。

3 宛先を指定します。

詳細については、「宛先を指定する」(→ P.4-30)を参照してください。

🖉 🗡 🖉

ファイルサーバ送信の場合は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルから宛先を指定してください。テン キーを使って宛先を指定することはできません。

4 [OK] を繰り返し押して<ファイル形式>を表示させます。



5 [◀—] または [+▶] を押して送信する画像のファイル形式を選択し、[OK] を押します。

電子メール(白黒)/ファイルサーバ(白黒)送信:< PDF >、< TIFF(白黒)> 電子メール(カラー)/ファイルサーバ(カラー)送信:< JPEG >、< PDF(高圧縮)>

6 [◄-]または [+►]を押して<ページごとに分割>を<しない>または<する>に選択し、[OK]を押します。

<しない>:複数の画像をページごとに分割しないで、1つのファイルとして送信します。

🖉 🗶

手順5でくJPEG>に設定すると、この手順は表示されません。

7 [◀–] または [+▶] を押して送信する画像の解像度を選択し、[OK] を押します。

電子メール(白黒)/ファイルサーバ(白黒)送信:< 200 × 200dpi >、< 300 × 300dpi >、 < 400 × 400dpi >、< 600 × 600dpi >、< 150 × 150dpi >、< 200 × 100dpi > 電子メール(カラー)/ファイルサーバ(カラー)送信:< 200 × 200dpi >、< 300 × 300dpi >、< 100 × 100dpi >、< 150 × 150dpi > |ファクス:< 200 × 200dpi >、< 200 × 100dpi >

🥢 🗡 🖉

手順5でファイル形式を< PDF(高圧縮)>に設定した場合は、自動的に< 300 × 300dpi >に設定されます。



8 [◀–] または [+▶] を押して原稿の種類を選択し、[OK] を押します。

<写真>:細かい文字や写真のある原稿に適しています。 <文字/写真>:文字と写真のある原稿に適しています。 <文字>:文字原稿に適しています。

🖉 🗶

手順 5 でファイル形式を< PDF(高圧縮)>に設定した場合、原稿の種類は自動的に<文字/写真>に設定 されます。手順 9 に進んでください。

9 [スタート] を押します。

🖉 🗶

- く送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON > に設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操 作が開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができ ます。
- ・電子メール/-Iファクス/ファイルサーバ送信の場合は、必要に応じて送信文書名や本文の他、電子メール に使用する件名、送信先アドレス、重要度をあらかじめ設定しておくことができます。
 詳細については、操作ガイド(総合編)>送受信するを参照してください。

宛先を登録/編集/削除する

原稿の送信先はテンキー入力の他、宛先登録機能を使って指定できます。テンキーでは宛先を 1 字ずつ入力するのに対し、宛先登録機能ではよく利用する宛先(ファクス/電子メール/ I ファクス/ファイルサーバの送信先)をあらかじめ登録しておくことで原稿送信時に宛先を入 力する手間を省くことができます。このように宛先をあらかじめ登録しておくことのできる機 能を宛先表と呼び、宛先表を使って素早く簡単に宛先を指定する方法をスピードダイヤルと呼 びます。スピードダイヤルを使った宛先の指定方法は以下の種類があります。

- ワンタッチダイヤル (P.4-10)
 - ・ 登録済みの宛先を1回のキー操作で呼び出す機能です。最大80件まで宛先を登録できます。
 - ・ 原稿送信時は、登録先のワンタッチダイヤルキー(01 ~ 80)を押すだけで宛先を指定 できます。
- 短縮ダイヤル(P.4-10)
 - ・ 登録済みの宛先を短縮番号を使って呼ぶ出す機能です。最大 420 件まで宛先を登録できます。
 - ・ 原稿送信時は、[短縮ダイヤル]を押したあと、3桁の登録先番号(000~419)を入力 するだけで宛先を指定できます。
- グループダイヤル (P.4-24)
 - ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルとして登録済みの各宛先を1 つのグループにまとめて登録する機能です。複数の宛先を1つの宛先として登録するため、1度に送信する相手先が多い場合でも宛先指定操作が簡単に行えます。
 - グループダイヤルの登録先は未登録のワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルのため、1つの
 グループダイヤルには最大 499 件まで宛先を登録できます。
 - ・ 原稿送信時の宛先指定操作はワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルと同様になります。
- 宛先表キーによる指定(P.4-30)
 - ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤル/グループダイヤルとして登録済みの宛先を相手先の名前またはファクス番号/メールアドレス/ホスト名から検索して指定できます。登録先を忘れてしまった場合などに便利な機能です。
 - ・ 原稿送信時は、[宛先表]を押したあと、相手先の名前またはファクス番号/メールアド レス/ホスト名から検索して指定できます。
- 定型業務ボタンを使用する(P.4-21)
 - オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先や送信設定の組み合わせを定型業務ボタンに登録できます。ワンタッチキー01~04は定型業務ボタンとして登録できます。

🖉 🗶

- ・ 宛先の登録件数によっては、主電源スイッチを入れたあと、待ち受け画面が表示されても操作パネルでのキー操作 が受け付けられない場合があります。その場合はキー操作が受け付けられるまでお待ちください。
- ・電子メール/1ファクス/ファイルサーバの宛先登録機能を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。
- ・ 宛先表に暗証番号が設定されている場合は、<宛先表仕様設定>メニューに入るときに暗証番号入力画面が表示されます。テンキーを使って暗証番号を入力したあと[OK]を押します。

- ファイルサーバ送信の場合は、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに宛先を登録してください。テンキーを使って 宛先を指定できません。
- スピードダイヤルに登録した宛先は、お使いのコンピュータにファイルとして保存したり、保存したファイルを本 製品に取り込むことができます。詳細については、操作ガイド(総合編)> パソコンからの設定/管理 > 宛先表 やデバイスの設定情報をファイルに保存する/ファイルから読み込む を参照してください。
- ・登録済みの宛先については、宛先一覧表を出力して参照できます。(→レポート出力:P.12-22)

ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する

● ファクス番号を登録する



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [**◄**-] または [**+►**] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◄—] または [+▶] を押して<ワンタッチ ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して登録するワンタッチダイヤル (01 ~ 80) または短縮 ダイヤル (000 ~ 419) を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。 ワンタッチダイヤル:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤル:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って3桁の番号(000~419)を入力します。

5 [◀−] または [+▶] を押して<ファクス>を選択し、[OK] を押します。



- 6 [◄-]または [+▶]を押して<電話番号>を選択し、[OK]を押します。
- 7 テンキーを使って登録するファクス番号 (スペースとポーズを含め最大 120 桁)を入力し、[OK]を押します。



- **8** [◀━]または [┿▶] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。
- 9 テンキーを使って相手先の名前(スペースを含め最大16文字)を入力し、[OK]を押します。

以下の通信機能も設定する場合は、次の手順に進んでください。設定しない場合は、[ストップ] を押して登 録操作を完了します。

< ECM 通信>:ECM 方式で原稿を送信します。ECM 方式とは通信画像のエラーを自動的に補正して通信 する機能で、相手機もこの方式に対応している必要があります。

<送信スピード>:通信エラーがよく発生する場合に送信速度を変更します。 <国内/国際送信>:海外送信で通信エラーがよく発生する場合に設定します。

例)	
名 前 キ ヤ <u>/</u>	: 7

10 [◄-] または [+▶] を押して<詳細設定>を選択し、[OK] を押します。
11 [◄-] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。



- **12** [◀–] または [+▶] を押して< ECM 通信>を選択し、[OK] を押します。
- **13** [◀━] または [┿▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **14** [◀━] または [┿▶] を押して<送信スピード>を選択し、[OK] を押します。
- **15** [◄–] または [+►] を押して送信速度 (33600bps、14400bps、9600bps、 または 4800bps) を選択し、[OK] を押します。

🖉 🖉

< 33600bps >で通信エラーがよく発生する場合は、< 14400bps >、< 9600bps >、< 4800bps > の順に設定を変更してください。

- **16** [◀━] または [┿▶] を押して<国内/国際送信>を選択し、[OK] を押します。
- **17** [◀━]または [+▶]を押して設定項目を選択し、[OK]を押します。

通常は<国内送信>に設定します。 海外送信で通信エラーがよく発生する場合は、<国際送信 1 >に設定してください。エラーが解消されない 場合は、<国際送信 2 >、<国際送信 3 >の順に設定を変更してください。

18 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

● 電子メールアドレス/|ファクスアドレスを登録する



1 [初期設定/登録]を押します。

- **2** [◀–] または [+▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀—] または [+▶] を押して<ワンタッチ ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して登録するワンタッチダイヤル (01 ~ 80) または短縮 ダイヤル (000 ~ 419) を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。 ワンタッチダイヤル:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤル:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って3桁の番号(000~419)を入力します。

5 [◀—] または [+▶] を押して<電子メール>または< IFAX >を選択し、[OK] を 押します。



- 6 [◀–]または[+▶]を押して<電子メールアドレス>または<|ファクスアドレス> を選択し、[OK]を押します。
- 7 テンキーを使って登録する電子メールアドレスまたはIファクスアドレス(最大120桁) を入力し、[OK]を押します。

例)



- **8** [◀−] または [+▶] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。
- 9 テンキーを使って相手先の名前(スペースを含め最大16文字)を入力し、[OK]を押します。



10 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

● ファイルサーバ送信先を登録する



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀—] または [+▶] を押して<ワンタッチ ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して登録するワンタッチダイヤル (01 ~ 80) または短縮 ダイヤル (000 ~ 419) を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。 ワンタッチダイヤル:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤル:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って3桁の番号(000~419)を入力します。

5 [◀−]または[+▶]を押して< FTP >または< SMB >を選択し、[OK]を押します。



- **6** [◀–] または [+▶] を押して<ホスト名>を選択し、[OK] を押します。
- 7 テンキーを使ってファイルサーバのホスト名 (最大 120 文字)を入力し、[OK]を押します。

例) ホスト名 : 1 canon01

- **8** [◀—] または [+▶] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。
- 9 テンキーを使って相手先の名前(最大16文字)を入力し、[OK]を押します。
- **10** [◀━] または [+▶] を押して<フォルダへのパス>を選択し、[OK] を押します。
- **11** テンキーを使って送信先のフォルダ名(最大120文字)を入力し、[OK]を押します。



- **12** [◀━] または [+▶] を押して<ユーザ名>を選択し、[OK] を押します。
- **13** テンキーを使ってユーザ名(最大 24 文字)を入力し、[OK]を押します。
- **14** [◀━] または [**+**▶] を押して<暗証番号>を選択し、[OK] を押します。
- 15 テンキーを使ってパスワード(FTPの場合は最大24文字、SMBの場合は最大14文字) を入力し、[OK]を押します。
- 16 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを編集する



送信する

- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◄—] または [+▶] を押して<ワンタッチ ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して編集するワンタッチダイヤル (01 ~ 80) または短縮 ダイヤル (000 ~ 419) を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。 ワンタッチダイヤル:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤル:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って3桁の番号(000~419)を入力します。

5 [◄—] または [+▶] を押して<電話番号>、<電子メールアドレス>、<Iファクス アドレス>または<ホスト名>を選択し、[OK] を押します。

ファイルサーバ送信の場合は、<ホスト名>、<名前>、<フォルダへのパス>、<ユーザ名>、<暗証番 号>を編集することができます。



6 ファクス番号を変更する場合は、[◄—]を押してカーソルを移動します。変更する内容がファクス番号以外の場合は、[◄—]を押して変更する番号または文字にカーソルを移動し、[クリア]を押します。

入力内容をすべて消去する場合は、[クリア]を長押しします。

- **7** テンキーを使って新しい番号またはアドレスを入力し、[OK]を押します。
- **8** [◄-]または [+▶] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。
- 9 [◄—]を押して変更する文字にカーソルを移動し、[クリア]を押します。 入力内容をすべて消去する場合は、[クリア]を長押しします。
- 10 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK]を押します。 登録されている宛先がファクス番号の場合は、通信機能の設定も変更できます。(→ファクス番号を登録する: P.4-10)
- 11 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

● ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを削除する



1 [初期設定/登録]を押します。

- **2** [◀–] または [+▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◄—] または [+▶] を押して<ワンタッチ ダイヤル>または<短縮ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄–] または [+►] を押して削除するワンタッチダイヤル (01 ~ 80) または短縮 ダイヤル (000 ~ 419) を選択し、[OK] を押します。

操作パネル上の以下のキーを使って選択することもできます。 ワンタッチダイヤル:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤル:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って3桁の番号(000~419)を入力します。

- **5** [◄—] または [+▶] を押して<電話番号>、<電子メールアドレス>、<Iファクス アドレス>または<ホスト名>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [クリア] を長押しして番号、アドレス、またはホスト名を削除し、[OK] を押します。

🥭 🖉

番号、アドレス、またはホスト名を消去した場合は、相手先の名前など他の登録内容も自動的にすべて消去 されます。

7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

定型業務ボタンを登録する

オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先や送信設定の組み合わせを定型業務ボ タンに登録できます。ワンタッチキー 01 ~ 04 は定型業務ボタンとして登録できます。

● ファクス番号を登録する



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◄—] または [+▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。 宛先表に暗証番号が設定されている場合はテンキーで暗証番号を入力して、[OK] を押します。
- **3** [◀—] または [+▶] を押して<定型業務ボタン>を選択し、[OK] を押します。
- 4 [◄ –]または[+►]を押して定型業務ボタン(01 ~ 04)を選択し、[OK]を押します。 選択した定型業務にワンタッチ宛先が既に登録されている場合は、他のキーを選択するか、あらかじめ登録 されている宛先を消去してください。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して<ファクス>を選択し、[OK] を押します。
- **6** <電話番号>が表示されていることを確認して、[OK]を押します。
- 7 テンキーを使って宛先のファクス番号を(120文字以内で)入力して、[OK]を押します。



- **8** <名前>が表示されていることを確認して、[OK]を押します。
- 9 テンキーを使って宛先の名前を(半角16文字以内で)入力し、[OK]を押します。
- **10** <画質>が表示されていることを確認して、[OK] を押します。
- **11** [◀—] または [+▶] を押して画質(<ファイン>、<写真>、<スーパーファイン>、<ウルトラファイン>、または<標準>)を選択し、[OK] を押します。
- **12** <詳細設定>が表示されていることを確認して、[OK] を押します。
- **13** [◄—] または [+▶] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。 詳細設定を指定しない場合は< OFF >を選択、手順 18 に進みます。 詳細設定を指定する場合は< ON >を選択します。



- **14** < ECM 通信>が表示されていることを確認して、[OK] を押します。
- **15** [◀−] または [+▶] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。
- **16** <送信スピード>が表示されていることを確認して、[OK] を押します。
- **17** [◀–] または [+▶] を押して送信速度(33600bps、14400bps、9600bps、または 4800bps)を選択し、[OK] を押します。
- **18** <国際送信>が表示されていることを確認して、[OK] を押します。
- **19** [◄–] または [+▶] を押して通信オプション(<国内送信>、<国際送信1>、<国 際送信2>、または<国際送信3>)を選択し、[OK] を押します。

🧭 🗶

国際ファクスを送信するときにエラーが発生する場合は<国際送信1>から<国際送信3>までを設定して ください。

20 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

グループダイヤルを登録/編集する

🧭 🗡 🖉

グループダイヤルを登録する際は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに宛先を登録しておいてください。

● グループダイヤルを登録する



4	
1	[初期設定/登録]を押します。
2	[◀ ━] または [╋━] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
3	【 ◀ ― 】または [+ ▶ 】を押して<グループ ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
4	グループダイヤルの登録先を指定し、[OK] を押します。
	未登録のワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを登録先として指定します。 ワンタッチダイヤルに登録する場合:[◀━] または [+▶] を押して登録先を選択します。また、ワンタッ チダイヤルキー(01 ~ 80)を押して選択することもできます。 短縮ダイヤルに登録する場合:[短縮ダイヤル] を押したあと、3 桁の番号(000 ~ 419)を入力します。
5	[◀ —] または [+ ▶] を押して<登録済み宛先選択>を選択し、[OK] を押します。

送信する



6 グループダイヤルに登録する宛先を指定し、[OK] を押します。

登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルを宛先として指定します。 ワンタッチダイヤルを指定する場合:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤルを指定する場合:[短縮ダイヤル]を押したあと、3桁の番号(000~419)を入力します。複 数指定する場合は、1つの宛先を指定するごとに[短縮ダイヤル]を押します。

7 [◀–] または [+▶] を押して<名前>を選択し、[OK] を押します。

8 テンキーを使ってグループの名前 (スペースを含め最大 16 文字)を入力し、[OK] を 押します。



[ストップ]を押して待受画面に戻ります。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 [<-] または [+ ▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。 3 [<-] または [+ ▶] を押して<グループ ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。 4 宛先を追加するグループダイヤルを指定し、[OK]を押します。 指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」(→ P.4-24)を参照してください。 5 [<-] または [+ ▶] を押して<登録済み宛先選択>を選択し、[OK] を押します。 6 グループダイヤルに追加する宛先を指定し、[OK]を押します。 指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」(→ P.4-24)を参照してください。 7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。



1	[初期設定/登録]を押します。
2	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK]を押します。
3	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<グループ ダイヤル>を選択し、[OK]を押します。
4	宛先を消去するグループダイヤルを指定し、[OK]を押します。 指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」(→ P.4-24)を参照してください。
5	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<登録済み宛先選択>を選択し、[OK]を押します。
6	【 ◀ ―】または[+ ▶]を押して消去する宛先を選択し、[クリア]を押します。 続けて別の宛先を消去する場合は、本手順を繰り返します。
7	[OK] を押します。
8	[ストップ] を押して待受画面に戻ります。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 [<-] または [+ ▶] を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK] を押します。 3 [<-] または [+ ▶] を押して<グループ ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。 4 グループ名を変更するグループダイヤルを指定し、[OK]を押します。 指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」(→ P.4-24)を参照してください。 5 [<--] または [+ -] を押して<名前>を選択し、[ON] を押します。 6 [◀—]を押して消去する文字にカーソルを移動し、[クリア]を押します。 名前全体を消去する場合は、[クリア]を長押しします。 7 テンキーを使って新しい名前を入力し、[OK]を押します。 8 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

● グループダイヤルを消去する



1	[初期設定/登録] を押します。
2	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<宛先表仕様設定>を選択し、[OK]を押します。
3	【 ◀ —】または [+ ▶]を押して<グループ ダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
4	宛先を消去するグループダイヤルを指定し、[OK]を押します。 指定操作方法については、「グループダイヤルを登録する」(→ P.4-24)を参照してください。
5	【 ◀ ―]または【 + ▶]を押して<登録済み宛先選択>を選択し、[OK] を押します。
6	[クリア]押して登録済みの宛先を]件ずつすべて消去し、[OK]を押します。 宛先をすべて消去すると、グループ名は自動的に消去されます。
7	[ストップ]を押して待受画面に戻ります。

宛先を指定する

スピードダイヤルを使って原稿を送信します。

🧭 🗶

- ・電子メール/1ファクス/ファイルサーバ送信を使用するには、オプションのセンドキットを装着する必要があります。
- ファイルサーバ送信の場合は、テンキーを使って宛先を指定できません。ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから 宛先を指定してください。

ワンタッチダイヤルを使用する

🥭 🗶

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録/編集/削除する:P.4-9)



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を繰り返し押して送信方法を選択し、[OK]を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目 からいずれかを選択し、[OK]を押してください。

送信する



3 登録先のワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。

間違ったキーを押した場合は、[クリア]を押したあと、手順2から操作をやりなおしてください。 必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。

例)

T E L = 0 1 2 3 X X X X X X X [0 5] **‡ † / γ**

4 [スタート] を押します。

🥢 🗡

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルで最大 420 個の宛先を指定できます。

🧭 🗶

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録/編集/削除する:P.4-9)



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を繰り返し押して送信方法を選択し、[OK]を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目 からいずれかを選択し、[OK]を押してください。

3 [短縮ダイヤル]を押します。

4 テンキーを使って3桁の登録先番号(000~419)を入力します。

 ØI)

 T E L = 0 1 2 3 X X X X X X

 [*001] **‡ † / ソ**

間違ったキーを押した場合は、[クリア]を押したあと、手順2から操作をやりなおしてください。 必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。 送信する





5

[スタート] を押します。

🧭 🗶

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

グループダイヤルを使用する

🖉 🗶

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録/編集/削除する:P.4-9)



1 原稿をセットします。

3

2 [ファクス/送信]を押します。

グループダイヤルを指定します。

グループダイヤルをワンタッチダイヤルに登録した場合:登録先のワンタッチダイヤルキー (01 ~ 80)を 押します。

グループダイヤルを短縮ダイヤルに登録した場合:[短縮ダイヤル]を押したあと、テンキーを使って登録先 番号(000 ~ 419)を入力します。

間違ったキーを押した場合は、[クリア] を押したあと、操作をやりなおしてください。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。



4

[スタート] を押します。

🧭 🗶

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

宛先表を使用する

[宛先表] 検索で本体に登録されている宛先を検索できます。指定したい宛先がどのワンタッ チダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているか覚えていないときに便利です。

🧭 🗶

お使いになる場合は、宛先をあらかじめ登録しておいてください。(→宛先を登録/編集/削除する:P.4-9)



- 1 原稿をセットします。
- 2 [ファクス/送信]を押します。
- **3** [宛先表]を繰り返し押して<名称検索>または<アドレス/番号検索>を選択し、 [OK]を押します。

<名称検索>:登録済みの宛先を名前から検索します。 <アドレス/番号検索>:登録済みの宛先をファクス番号/メールアドレス/Iファクスアドレス/ホスト名 から検索します。

4 テンキーを使って検索する相手先の名称またはファクス番号/メールアドレス/Iファ クスアドレス/ホスト名の頭文字を入力します。

たとえば、「C」で始まる相手先の名称を検索する場合は、[2](ABC)を押します。この場合、「C」を含め 「A」や「B」で始まる相手先の名称が登録されていると、該当する名称が表示されます。 入力モードを切り替える場合は、[*]を押してください。ディスプレイ右上に入力モードを示す<ア>(カ タカナ入力)、<A>(アルファベット入力)または<1>(数字入力)が表示されます。

例)



送信する



例) アト[・]レス / 番号検索 : A canon@XXX.XXX

5 [◀−]または [+▶]を押して宛先を検索します。

宛先を確認し、[OK] を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。

[スタート] を押します。

🖉 🗡

6

7

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

定型業務ボタンを使用する

🧭 🗶

- ・この機能を使うには、あらかじめ宛先を定型業務ボタンに登録する必要があります。(→宛先を登録/編集/削除する:P.4-9)
- ・定型業務ボタンは、オプションのセンドキットを装着した場合のみ登録することができます。



- **1** 原稿をセットします。
- 2 [ファクス/送信]を押します。



3 目的の定型業務ボタンとして登録されているワンタッチキー(01~04)を押します。 キーを間違えたときは[クリア]を押して、選択し直してください。

4 必要に応じて、文書の設定を調整してください。 詳細については、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。

5 [スタート]を押します。

🧭 🗶

<ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>が<する>に設定されている場合 は、設定時間が過ぎると自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、 [スタート]を押すまでダイヤルされません。
手動で送信する(ファクス送信)

原稿を送信する前に相手と話をしたい場合、または相手先のファクス機が自動受信できない場 合は、手動で送信してください。

🧭 🗶

手動送信では、グループダイヤルは使用できません。



1 オプションのハンドセットを本製品に接続します。

オプションのハンドセットの接続方法については、スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「電話回 線を接続する」を参照してください。

3 [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。

必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。



4 [フック]を押すか、オプションのハンドセットを取ります。

5 相手先のファクス/電話番号をダイヤルします。

🖉 🗶

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認してください。発信音を確認する前に番号を入力すると、通じ なかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

6 受話器で相手と話します。

手順4で[フック]を押した場合は、相手先の声が聞こえたら受話器を取ります。 相手先の声ではなく「ピー」という音が聞こえた場合は、手順8に進んでください。

7 ファクスの受信準備をするよう相手先に依頼します。

8 「ピー」という音が聞こえたら【スタート】を押し、受話器を置きます。

両面原稿を送信する

ADF 内で原稿を自動的に裏返して、両面を読み込むように設定することができます。



原稿をセットします。

1

2

3

4

[ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。

[両面] を押します。

[◀━]または [┿▶]を押して<左右開き>または<上下開き>を選択し、[OK]を 押します。



図のように、原稿の画像の向きを縦にセットした場合、以下のように開きかたを選択してください。 <左右開き>:原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に選択します。 <上下開き>:原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に選択します。

🧭 🗶

A3 の縦原稿の場合など画像の向きを横にしたときは、原稿の表面と裏面の画像の上下が逆の場合に<左右開き>を選択します。また、原稿の裏面の画像の上下が表面と同じ場合に<上下開き>を選択します。



5

テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先 を入力します。

6 [スタート]を押します。

すべての設定を取り消して待受画面に戻るには、[リセット]を押します。

🖉 🖉

- <ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>がくする>に設定されている場合 は、設定時間が過ぎると自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使って相手先を入力した場合は、 [スタート]を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中(1時間以内)にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

ダイレクト送信する

ダイレクト送信は、メモリに保存せず、ADF 内の原稿を 1 ページずつ読み込んで送信します。 メモリに保存された原稿を送信する前に、原稿を送信できます。

🧭 🗶

- ・ダイレクト送信では、グループダイヤルは使用できません。
- ・ダイレクト送信では、1 ページずつをメモリに読み込み、直ちに送信します。<メモリがいっぱいです>が表示された場合は、ダイレクト送信を選択していても、1 ページ分を保存できるメモリが空くまで待つか、メモリ内の原稿を削除してから、やりなおしてください。(→メモリ内の送信ジョブを確認/操作する:P.4-65)
- ・電子メール、|ファクス、ファイルサーバ送信時にはダイレクト送信することはできません。



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。

3 [ダイレクト送信]を押します。

ダイレクト送信をキャンセルするには、もう一度[ダイレクト送信]を押してください。



4 必要に応じて、原稿の設定を調整します。

詳細については、「読み込み設定」(→P.4-3)を参照してください。

5 相手先のファクス/電話番号をダイヤルします。

タイマー送信または同報送信が選択されている場合は、メモリ送信が自動的に選択されます。

6 [スタート]を押します。

読み込まれた各ページが、直ちに送信されます。

🖉 🗶

通信中に、<通信中です>と相手先のファクス番号または電話番号が交互にディスプレイに表示されます。

同報送信

複数の宛先を指定する

1回の操作で複数の宛先(最大510件)に同じ原稿を送信できます。

🧭 🗶

- 1度に指定できる宛先数は最大510件です。グループダイヤルを使用する場合、宛先件数はグループ単位ではなく、 グループに登録されている宛先数単位で計算されます。たとえば、1つのグループに10件の宛先が登録されている 場合、宛先件数は1件ではなく10件と計算されます。
- 複数の宛先に送信する機会が頻繁にある場合は、グループダイヤルとして宛先を登録しておくと便利です。
- ・ くシステム管理設定>のく送信機能の制限>でく同報送信の制限>がく同報送信不可>に設定されている場合、同 報送信できません。(→同報送信を制限する: P.9-24)
- ・カラー画像を送信する場合、1度に複数の宛先を指定できません。1件ずつ送信するか、画像を白黒設定にして送信してください。(→画像/原稿の設定を調節する(電子メール/Iファクス/ファイルサーバ送信): P.4-6)



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を押して送信方法を選択し、[OK]を押します。

ファイルサーバ送信の場合、送信方法については所定の選択項目はありません。表示される送信方法の項目 からいずれかを選択し、[OK]を押してください。

送信する



3 テンキーまたはスピードダイヤルを使って複数の宛先(最大 510 件)を指定します。

テンキーを使う場合:テンキーを使って宛先を入力したあと、[OK]を押します。 ワンタッチダイヤルを使う場合:ワンタッチダイヤルキー(01~80)を押します。 短縮ダイヤルを使う場合:[短縮ダイヤル]を押したあと、3桁の番号(000~419)を入力します。複数指 定する場合は、1つの宛先を指定するごとに[短縮ダイヤル]を押します。 必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。

🧭 🗶

- ・テンキーで指定できる電子メール/ I ファクス/ファイルサーバの宛先は最大1件、ファクスの宛先は最大10件です。(→テンキーで複数のファクス番号を指定する: P.4-48)
- ・[◄-]または[+▶]を押すと指定した宛先を確認できます。

4 [スタート]を押します。

🖉 🗶

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

テンキーで複数のファクス番号を指定する

新規宛先にファクス送信する場合、1回の操作で複数の宛先(最大 10 件)に同じ原稿を送信 できます。



1 原稿をセットします。

2 [ファクス / 送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。



3 テンキーを使って複数の宛先(最大10件)を指定します。

[◄-]を押すと番号が1字ずつ消去されます。

宛先を入力したあとに [OK] を押すと、次の宛先を入力できます。

宛先入力時に[戻る]、[クリア]を押すか、または宛先が1字も入力されていない状態で[◀━]を押すと、前の画面に戻ります。

複数の宛先を入力して [OK] を押した状態で、[◀━] または [+►] を押すと、すでに入力してある宛先を 確認することができます。また、宛先確認時は以下の操作を行うことができます。 新規宛先の追加:

[OK] またはテンキーを押すと、新規宛先を追加することができます。

宛先の削除:

[戻る] または [クリア] を押すと、<宛先を消去しますか?>のメッセージが表示されます。削除する場合は [◀━] を押して<はい>選択します。削除を中止する場合は、[+▶] を押して<いいえ>を選択します。 必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」を参照してください。

4 [スタート] を押します。

タイマー送信

タイマー送信を使って、指定した時刻に送信を開始できます。

🖉 🗶

カラー画像をタイマー送信する場合に < メモリがいっぱいです > と表示されたら、いったんジョブを取り消して(→ 送信中または送信待機中のジョブを確認/削除する:P.4-66)、タイマー送信を使わずに送信してください。



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。 3

[タイマー送信]を押します。

テンキーを使って送信開始時刻を入力し、[OK]を押します。

- ・ 時刻は24時間制で入力します。
- ・ ゼロも含めたすべての番号を入力します。

(例) 送信時刻設守

4

ら	16		нд	汊リ	ā又	ᇨ			
<u>2</u> 0	: (0	0						



5

テンキー、ワンタッチダイヤルキー、短縮ダイヤル番号、または宛先表を使って相手先 を入力します。

最大で70件まで入力できます。

6 [スタート] を押します。

🖉 🗶

- <ファクス仕様設定>の<送信機能設定>で<ダイヤルタイムアウト>が<する>に設定されている場合 は、設定時間が過ぎると[スタート]を押さなくても自動的にダイヤルされます。ただし、テンキーを使っ て相手先を入力した場合は、[スタート]を押すまでダイヤルされません。
- 一時的な停電中(1時間以内)にタイマー送信の設定時刻になった場合、翌日の設定時刻にファクスが送信されます。

リダイヤル機能/コール機能

以前に指定した宛先を最大3件まで呼ぶ出すことができます。コール機能では、解像度などを 設定していた場合、設定内容もあわせて呼び出されます。

🥭 🗶

- ・オプションのセンドキットを装着している場合は、コール機能として使用します。
- ・ <リダイヤル/コールの制限>が< ON >に設定されている場合は、コール機能を使用できません。(→リダイヤル 機能/コール機能を制限する:P.9-23)



1 原稿をセットします。

5

- 2 [ファクス/送信]を押します。
- 3 [リダイヤル]を押します。
- 4 [◄–]または[+►]を押して<1つ前>、<2つ前>、または<3つ前>を選択し、 [OK]を押します。
 - 呼び出した宛先を確認します。

コール機能で解像度など原稿読み込み時の設定内容を変更する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3) を参照し てください。



6

[スタート] を押します。

🧭 🗶

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。

済みスタンプ機能を設定・使用する

スキャンしたページの表面の中央下部にスタンプを押すように設定できます。 オプションのセンドキットを装着している場合、この設定はファクス、| ファクス、電子メー ル、ファイルサーバ送信の際に有効になります。

済みスタンプを設定する

あらかじめ済みスタンプを押す/押さないの設定をしておくことができます。以下の手順に従 い、済みスタンプの設定をします。

🥢 🗶

済みスタンプを押す設定にすると、宛先を指定したあとにスタンプランプが点灯します。



1 [初期設定/登録]を押します。

- **2** [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [**⊲**−] または [**+**▶] を押して<送信機能設定>を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して<済スタンプ>を選択し、[OK] を押します。
- 6 [◄-]または [+▶]を押して<読込終了時>または<通信終了時>を選択し、[OK]を押します。
- 7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

済みスタンプ機能を設定する

[スタンプ]を押すと送信・スキャンした原稿に済みスタンプを押せます。原稿は設定したスタンプ条件に従ってスタンプされます。(→済みスタンプを設定する:P.4-54)



- **1** 原稿をセットします。
- **2** [ファクス/送信]を押して送信方法を選択し、[OK]を押します。
- **3** テンキー、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはスピードダイヤルを使って宛先 を指定します。
- 4 [スタンプ] を押します。
- 5 [スタート]を押します。

送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく(送信文書アーカイブ)

送信文書アーカイブは本体から送信した画像を保管用に別の宛先 (ファクス番号、電子メール・ | ファクスのアドレス、またはファイルサーバ) へ転送します。

この機能を使うとタイマー送信が正しく行われたかどうか、または自宅や出張先にいるときに 本体から送信したファクスを通知することができます。

送信文書アーカイブの宛先は<システム管理設定>の<条件なし転送設定>で設定できます。

🖉 🗡

- オプションのセンドキットを装着している場合は、宛先としてファクス番号、電子メール・Iファクスのアドレス、 またはファイルサーバを指定できます。
- ・ 送信文書アーカイブの宛先に I-FAX が設定されているときは、元送信の解像度設定が 150 x 150 dpi の場合に、元 送信の解像度は 200 x 200 dpi に変更されます。

送信文書アーカイブを使用する前に

送信文書アーカイブをご使用になる前に以下の点をご注意ください。

- ・送信文書アーカイブの対象となる元送信は、ファクスとIファクスです(元送信となる I-FAX 送信がファクス送信に対応していない解像度(150 x 150 dpi, 300 x 300 dpi, 600 x 600 dpi)のときは、送信文書アーカイブの宛先にファクスが設定されている場合に、元送信の解 像度が 200 x 200 dpi に変更されます)。
- ・ <システム管理設定>の<条件なし転送設定>で設定した宛先の送信方法、送信速度、および ECM の設定は送信文書アーカイブを使用する際にも適用されます。
- ・ 送信文書アーカイブはメモリ送信(同報送信を含む)、モノクロ送信のときに有効です。
- ・ 元送信がダイレクト送信、転送送信の場合は送信文書アーカイブの対象とはなりません。
- ・送信文書アーカイブを有効にすると、ダイレクト送信ランプは消灯し、ダイレクト送信を使用できません。ダイレクト送信をする場合は、文書を手動で送信する必要があります。
- 本体側で送信文書アーカイブ機能を< ON >に設定している場合は、コンピュータからの ファクス送信はできません。

🖉 🗡

送信できなかったジョブは、40 通信ごとにプリントされる通信管理レポートに記録されます (送信文書アーカイブ を < ON >にすると、40 通信ごとに通信管理レポートが自動プリントされる設定になります)。

送信する

送信文書アーカイブを使用する

以下の手順に従って送信文書アーカイブを ON にします。

🖉 🗡 🖉

- ・送信文書アーカイブを行うためには、以下の設定のほかに、<システム管理設定>の<条件なし転送設定>でファ クス/Iファクス受信時の転送を有効にしておく必要があります。(→転送条件に一致しない場合の転送先を登録す る:P.5-13)
- ・送信文書アーカイブは送信した文書ごとに一回行われます。リダイヤルについては本体の設定に従います。
- ・同報送信を使用するとき、すべての送信(ダイヤルやリダイヤルを含む)が完了したあと、少なくても一つの宛先
 に送信が成功した場合に送信文書アーカイブは一回行われます。
- ・通信管理レポートでは、Mode(取引モード)欄に「TRANSFER」を、NO.(取引番号)欄に原稿送信先の番号を プリントします。
- ・送信文書アーカイブの送信者情報で、DATE に送信日を、TIME に送信時間をプリントします。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して < システム管理設定 > を選択し、 [OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して <通信管理設定 > を選択し、 [OK] を押します。
- **4** [◀—] または [+▶] を押して < ファクス設定 > を選択し、 [OK] を押します。
- **5** [◀−]または[+▶]を押して <送信文書アーカイブ > を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀–] または [+▶] を押して <ON> を選択し、 [OK] を押します。
- 7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

自動リダイヤルを設定する(ファクス送信)

自動リダイヤルとは、ファクス送信時に相手先が話し中などで送信できない場合や送信エラー が発生したときに、自動的に再送信する機能です。

自動リダイヤルを設定した場合は、リダイヤルする回数や間隔などを設定できます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [**⊲**−] または [**+**▶] を押して<送信機能設定>を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して<自動リダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **7** [◀–] または [+▶] を押して<リダイヤル回数>を選択し、[OK] を押します。
- 8 [◄–]、[+►]、またはテンキーを使ってリダイヤルする回数 (1 ~ 10 回) を入力し、
 [OK] を押します。
- **9** [◀—] または [+▶] を押して<リダイヤル間隔>を選択し、[OK] を押します。

送信する



- 10 [◀–]、[+▶]、またはテンキーを使ってリダイヤルする間隔(1分間隔で2~99分) を入力し、[OK]を押します。
- 11 [◄-] または [+▶] を押して<送信エラー時リダイヤル>を選択し、[OK] を押します。
- 12 [◄–] または [+▶] を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK] を押します。
 < ON > : 送信エラー時に自動リダイヤルして送信文書の全ページが再送されます。
 < OFF > : 送信エラー時は自動リダイヤルしません。
- 13 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

-時的にトーン発信へ切り替える

銀行や航空会社、ホテルなどが提供するプッシュホンサービスの中には、プッシュ回線での利 用を前提とするものがあります。本製品がダイヤル回線に接続されている場合は、以下の手順 で一時的にトーン信号を送出することができます。

🥟 🗶

通話するには、オプションのハンドセットを装着するか外付け電話機を本製品に接続する必要があります。



- **1** [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。
- 2 [フック] を押します。

ファクス番号を入力する前に、発信音を確認します。発信音を確認する前に番号を入力した場合、通じなかったり、間違った番号にかかったりすることがあります。

- **3** テンキーを使って、情報サービスにダイヤルします。
- **4** 情報サービスの録音メッセージが応答したら、[トーン]を押してトーン発信に切り替えます。
- 5 テンキーを使って、情報サービスに必要な番号を入力します。
- **6** ファクスを受信する場合は、[スタート]を押します。 終了すると通信を自動的に切断し、回線は元の設定に戻ります。

送信する

ダイヤル時回線確認

この機能を使うと、ダイヤル時に回線がつながっているかどうか確認することができます。



[初期設定/登録]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<ファクス設定>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<送信機能設定>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<ダイヤル時回線確認>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して< ON >を選択し、[OK]を押します。
 [¬]または [+▶]を押して< ON >を選択し、[OK]を押します。

海外にファクスを送る(ポーズの挿入)

海外へのファクス送信時、ファクス番号にポーズの挿入が必要な場合があります。



1 原稿をセットします。

2 [ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押します。 必要に応じて原稿の設定を調整する場合は、「読み込み設定」(→ P.4-3)を参照してください。

3 テンキーを使って国際アクセス番号を入力します。

国際アクセス番号の詳細については、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

4 必要に応じて [ポーズ] を押し、ポーズを入力します。

例)



- ポーズを意味するが番号の途中に表示されます。
- ・ ポーズを連続して入れる場合は、もう一度 [ポーズ] を押してください。
- ・ 番号の途中に入れるポーズ時間の長さは<ポーズ時間セット>メニューで調節できます。初期値は2秒になります。(→メニューの設定内容: P.12-4)



5

テンキーを使って相手先の国番号、エリア番号、ファクス/電話番号を入力します。

6 必要に応じてファクス/電話番号の末尾に、[ポーズ]を押してポーズを入力します。

- ・ ポーズを意味する<P>が番号の末尾に表示されます。
- ・ 番号の末尾にポーズを入れた場合、ポーズ時間は10秒(固定)になります。

7 [スタート]を押します。

🥒 🗶

<送信/受信仕様設定>の<ファクス設定>で<送信機能設定>の<ダイヤルタイムアウト>が< ON >に 設定されている場合、スピードダイヤルを使って宛先を指定すると一定時間経過後に原稿の読み込み操作が 開始されます。このため、[スタート]を押さなくとも読み込み操作を自動的に開始させることができます。 原稿の読み込み操作や送信操作を中止します。



1 [ストップ]を押します。

2 <ストップが押されました>と表示されたら、[OK] を押します。

ス ト ッ フ゜が 押 さ れ ま し た ○ к ŧ − を 押 し て く だ さ い

<ジョブを中止しますか?>と表示されたら、[◀—]を押して<はい>を選択します。

୬ं∃	ブを中止	しますか?
<	はい	いいえ 〉

🖉 🖉

ADF に原稿が残っている場合は、取り除いてください。

メモリ内の送信ジョブを確認/操作する

[システムモニタ]を押して、送信履歴を確認したり送信中または送信待機中のジョブを確認 /削除できます。

送信履歴を確認する



1 [システムモニタ]を繰り返し押して<通信履歴>を選択し、[OK]を押します。

🧭 🗶

<システム管理設定>の<ジョブ履歴表示>が< OFF >に設定されている場合、<通信履歴>は表示されません。

- 2 [◀−] または [+▶] を押して送信履歴を表示します。
- **3** [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

送信中または送信待機中のジョブを確認/削除する



1	[システムモニタ]を繰り返し押して<通信状況>を選択し、[OK]を押します。
2	【 ◀ ―】または【+ ▶】を押してメモリ内にある送信ジョブを確認します。 ジョブを削除する場合は、手順3に進んでください。削除しない場合は、[ストップ] を押して待受画面に戻 ります。
3	[◀ -]または[+ ▶]を押して削除するジョブを選択し、[OK]を押します。
4	【 ◀ ━】または【 + ▶】を押して<キャンセル>を選択し、[OK] を押します。
5	[◀ ―]を押してくはい>を選択します。 削除操作を中止する場合は、[+ ►]を押してくいいえ>を選択します。
6	[ストップ] を押して待受画面に戻ります。



以下の手順に従って、ファクスの受信を設定します。 応用機能については、操作ガイド(総合編)> 送受信する を参照してください。





ファクス/ TEL 詳細設定

着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本製品がファクスかどうかを検出する時間<呼出開始 時間>、呼び出し音を鳴らす時間<呼出時間>、呼び出し終了後の本製品の動作<呼出後の動 作>を設定します。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [**⊲**−] または [**+**▶] を押して<受信機能設定>を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀—] または [+▶] を押して<ファクス/ TEL 詳細設定>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀−] または [+▶] を押して<呼出開始時間>を選択し、[OK] を押します。
- 7 [◄–]、[+►]、またはテンキーを使って着信してから呼び出し音を鳴らす前に、本 製品がファクスかどうかを検出する時間(0秒~30秒)を選択し、[OK]を押します。 本体はファクスを受信すると、着信音は鳴らず、自動的に受信モードに切り替えます。



- **8** [◀–] または [+▶] を押して<呼出時間>を選択し、[OK] を押します。
- 9 [◄–]、[+►]、またはテンキーを使って呼び出し音を鳴らす時間(15秒~300秒) を選択し、[OK]を押します。
- **10** [◀━] または [+▶] を押して<呼出後の動作>を選択し、[OK] を押します。
- 11 [◄--] または [+►] を押して、呼び出し終了後の本製品の動作を選択し、[OK] を 押します。

<受信>:ファクスを受信します。 <終了>:通信を切断します。

12 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

手動で受信する

<受信モード>で<手動>を選択した場合は、以下の手順でファクスを受信します。



受信する

1 着信音が鳴ったら、オプションのハンドセットまたは外付け電話機の受話器を取ります。

2 ビープ音が聞こえたら [スタート] を押します。

🥟 🗶

手順 1 で外付け電話機の受話器を取った場合は、外付け電話機のテンキーで 2 桁のリモート受信 ID を入力 し、ファクスを受信してください。(→リモート受信: P.5-19)

3 受話器を置きます。

代行受信

トナー切れや用紙切れなどでプリントができない場合、本製品は受信した文書をいったんメモ リに蓄積します。問題が解決すると、メモリに蓄積された文書が自動的にプリントされます。

🥭 🗶

・本体のメモリは、最大で 90 ジョブまたは約 1,500 ページ分*のデータを蓄積できます。*

* 相手側のファクスが Canofax L1000 で、ITU-T チャート No.1 を標準モードで送信した場合のページ数です。メ モリに蓄積できる最大のページ数は、送信側のファクスによって異なります。

- ・ 蓄積されたページはプリントされるとメモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に残りのページを再送信してくれるよう連絡してください。

メモリ受信

受信した文書をプリントせずにメモリに保存するように設定しておくことができます。この機 能をメモリ受信と呼びます。メモリに保存された文書は、相手先などを確認したあと、別の宛 先に再送信することができます。(→メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する:P.5-16)メ モリ受信機能を解除すると、保存された文書はプリントされます。(→メモリ受信した文書を プリントする:P.5-11)



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<通信管理設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◄—] または [+▶] を押して<メモリ受信設定>を選択し、[OK] を押します。 メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

メモリに保存されている文書がある場合、< OFF >を選択すると保存されている文書がプリントされます。



6 [◀—] または [+▶] を押して<暗証番号>を選択し、[OK] を押します。

7 テンキーを使ってメモリ受信の暗証番号(最大7桁)を入力し、[OK]を押します。

例)	
暗証番号	
1234567_	

9

- 8 [◀–] または [+▶] を押して<レポートプリント>を選択し、[OK] を押します。
 - [<--]または[+--]を押して< OFF >または< ON >を選択し、[OK]を押します。

< OFF >:文書を受信したときに受信結果レポートをプリントしません。< ON >:文書を受信したときに受信結果レポートをプリントします。

受信結果レポートをプリントする場合は、<受信結果レポート>も< ON >に設定してください。 詳細については、「受信結果レポート」(→ P.12-41)を参照してください。



10 [◄-] または [+▶] を押して<メモリ受信時刻設定>を選択し、[OK] を押します。 メモリ受信の開始時刻と終了時刻を指定できます。開始時刻になると自動的にメモリ受信に切り替わり、終 了時刻になると解除されます。

11 [**¬**] または [**+▶**] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 ^{時刻を指定しない場合は、< OFF >を選択し手順 16 に進んでください。}

12 [◄–] または [+▶] を押して<メモリ受信開始時刻>を選択し、[OK] を押します。
 13 テンキーを使って開始時刻(24時間制)を入力し、[OK] を押します。

例) **開始時刻** <u>0</u>0:00


14 [◄-] または [+▶] を押して<メモリ受信終了時刻>を選択し、[OK] を押します。
15 テンキーを使って終了時刻 (24 時間制) を入力し、[OK] を押します。
16 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書をプリントする



1

[初期設定/登録] を押します。

- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [**◄**-] または [**+▶**] を押して<通信管理設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** 【**→−**】または【**+▶**】を押して<メモリ受信設定>を選択し、[OK]を押します。 メモリ受信の暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って番号を入力したあと、[OK]を押します。
- **5** [◄-] または [+▶] を押して < OFF >を選択し、[OK] を押します。 メモリに保存されている文書がプリントされます。
- 6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

DM 制限

ユーザ電話番号の登録をしていないファクスからの受信を制限することができます。



受信する

- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀━]または [+▶]を押して<ファクス設定>を選択し、[OK]を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して<受信機能設定>を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+►] を押して< DM 制限>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀−] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

受信した文書を転送する

転送とは、受信した文書を他の機器やファイルサーバに送信する(中継)機能です。本製品で は設定した条件を満たした受信文書を指定した宛先に転送することができます。転送設定はリ モート UI 機能を使って行います。(→操作ガイド(総合編)> パソコンからの設定/管理)

転送条件に一致しない場合の転送先を登録する

転送先が登録されていない場合、または設定したすべての転送条件に一致しなかった場合の転 送先を、操作パネルで指定することができます。

🥭 🗡

「送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく(送信文書アーカイブ)」(→ P.4-56)は、ここで登録した転送先に送 信されます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<条件なし転送設定>を選択し、[OK] を押します。



- **4** [◀━] または [+▶] を押して<ファクス>または< IFAX >を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀−] または [+▶] を押して<転送>を選択し、[OK] を押します。
- 7 スピードダイヤルを使って転送先を指定し、[OK]を押します。



- 8 [◄-]または[+▶]を押して<ファイル形式>を選択し、[OK]を押します。
 9 [◄-]または[+▶]を押して<TIFF>または<PDF>を選択し、[OK]を押します。
 10 [◄-]または[+▶]を押して<ページごとに分割>を選択し、[OK]を押します。
 11 [◄-]または[+▶]を押して<しない>または<する>を選択し、[OK]を押します。
 <u colspan="2"><しない>:複数の画像をページごとに分割しないで、1つのファイルとして送信します。
 <u colspan="2"><10
- 12 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する



- **1** [システムモニタ]を繰り返し押して<通信状況>を選択し、[OK]を押します。

<待機中>と表示されているジョブを転送できます。

- **3** [◀–] または [+▶] を押して<転送>を選択し、[OK] を押します。
- **4** スピードダイヤルを使って転送先を指定し、[OK]を押します。 送信操作が開始されます。

🖉 🗶

テンキーを使って転送先を指定することはできません。

転送に失敗した文書を再送信する

🧭 🗶

この機能を使用するには、<システム管理設定>の<転送時 保存 / プリント>で<エラー時に画像を保存>を< ON >に設定しておく必要があります。



- **1** [システムモニタ]を繰り返し押して<転送エラー ジョブ状況>を選択し、[OK] を 押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して再送信するジョブを選択し、[OK] を押します。
 - 【**◀−**】または【**+ト**】を押して<転送>を選択し、[OK]を押します。
- **4** スピードダイヤルを使って再送信先を指定し、[OK]を押します。 送信操作が開始されます。

🖉 🗶

- テンキーを使って転送先を指定することはできません。
- 再送信するとメモリに保存されていた文書は消去されます。

3

転送に失敗した文書をプリント/削除する



- **1** [システムモニタ]を繰り返し押して<転送エラー ジョブ状況>を選択し、[OK] を 押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押してプリントまたは削除するジョブを選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀━] または [+▶] を押して<プリント>または<キャンセル>を選択し、[OK] を押します。

🥒 🗶

<システム管理設定>の<通信管理設定>にある<メモリ受信設定>が< ON >に設定されている場合、 文書はプリントされません。

- 4 [◀–]を押して<はい>を選択します。
- 5 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

リモート受信

リモート受信機能を使うと、本製品に接続された外付け電話機からファクスを手動で受信する ことができます。本製品が離れた場所にある場合、または本製品が使用中の場合に便利です。

🖉 🗶

この機能は、<共通仕様設定>の<スリープ時の消費電力>が<低>に設定されている場合は、使用できません。

リモート受信 ID を登録する

初期設定リモート受信 ID(初期値:25)を変更する場合は、以下の手順を実行します。



1 [初期設定/登録]を押します。

- **2** [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<ファクス設定>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [**⊲**−] または [**+**▶] を押して<受信機能設定>を選択し、[OK] を押します。



5 [◀–]または [+▶]を押して<リモート受信>を選択し、[OK]を押します。

6 [◀−] または [+▶] を押して < ON >を選択し、[OK] を押します。

7 [クリア]を2回押して初期値のリモート受信 ID (25)を消去します。

8 テンキーを使って新しいリモート受信 ID (00 ~ 99)を入力し、[OK] を押します。

9 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

ファクスをリモート受信する

外付け電話の回線設定がダイヤル回線になっている場合は、プッシュ回線に切り替えてください。



1

3

着信があったら、外付け電話機の受話器を取ります。

2 テンキーを使って、2桁のリモート受信 ID を入力し、受信を開始します。

受信が完了したら、受話器を置きます。

特殊なファクス出力

受信画像縮小、両面印刷機能があります。

両面印刷

受信した画像を用紙の両面にプリントできます。

🥟 🗶

両面印刷の対応用紙サイズは< A4 >、< LGL >、< LTR >です。< A4 >、< LGL >、< LTR >以外の用紙サ イズが設定されている場合、両面ではなく片面印刷となります。両面印刷をお使いになる場合は、<用紙サイズ>を < A4 >、< LGL >、< LTR >のいずれかに設定してください。(→用紙のサイズと種類を設定する:P.2-11)



1 [初期設定/登録]を押します。 2 [◀–] または [+▶] を押して<送信/受信仕様設定>を選択し、[OK] を押します。 3 [<-] または [+ ▶] を押して<共通設定>を選択し、[OK] を押します。 4 [◀—]または [+▶]を押して<受信機能設定>を選択し、[OK]を押します。 5 [<-] または [+ ▶] を押して<両面記録>を選択し、[OK] を押します。 6 [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

受信したファクスを縮小してプリントできます。







- 9 [◄-]または [+►]を押して縮小率 (90%、95%、97%、75%)を選択し、[OK] を押します。
- **10** [◀━] または [+▶] を押して<縮小方向>を選択し、[OK] を押します。
- **11** [◄—] または [+▶] を押して<縦のみ>または<縦横>を選択し、[OK] を押します。
 <縦のみ>: 縦方向にのみ縮小します。
 <縦横>: 縦横方向に縮小します。
- 12 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。



原稿の受信操作を中止します。



1 [ストップ]を押します。

2 <ジョブを中止しますか?>と表示されたら、[◀━]を押して<はい>を選択します。

シ゛ョフ	を中止し	ますか?
くは	い	いいえ 〉

メモリ内の受信ジョブを確認/操作する

[システムモニタ]を押して、受信履歴を確認したり受信のジョブを確認/削除できます。

受信履歴を確認する



1 [システムモニタ]を繰り返し押して<通信履歴>を選択し、[OK]を押します。

🥟 🗶

<システム管理設定>の<ジョブ履歴表示>が< OFF >に設定されている場合、<通信履歴>は表示されません。

- **2** [◀–] または [+▶] を押して受信履歴を表示します。
- **3** [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

受信中のジョブを確認/削除する



 [システムモニタ]を繰り返し押して<通信状況>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または[+►]を押してメモリ内にある受信中のジョブを確認します。 ジョブを削除する場合は、手順3に進んで<ださい。削除しない場合は、[ストップ]を押して待受画面に戻 ります。
 [◄-]または[+►]を押して削除するジョブを選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または[+►]を押して<キャンセル>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]を押して<はい>を選択します。 削除操作を中止する場合は、[+►]を押して<いいえ>を選択します。

6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

受信する

らく コンピュータからプリント する

以下の手順で、コンピュータからプリントします。

プリンタドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタート アップガイド「ソフトウェアのインストール」「インストールの確認をする」、操作ガイド(総 合編)> 困ったときには > ソフトウェアのアンインストール を参照してください。プリンタ ドライバの設定については、<u>オンラインヘルプ</u>を参照してください。

🥖 🗶

- ・ OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。
- ・ 本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。

1 印刷コマンドを選択する	2 使用するプリンタを選択する
 ● F+Z+と文書・txt = メモ帳 ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) ヘルブ(H) 新規(M) Ctrl+N ワーク接続にま 目間(Q) Ctrl+S 名前を付けて(保存(A) モワ酸定(U) ED刷(P) Ctrl+P メモ帳の終了(S) 	印刷 21 x フリンタ (g) Canon Printer フロ/(ライジ) 状態: (つ)(ライジ) (ワ)(ワイジ) 場所: (PT): (PT): コント: (PT): (PT): ロ場前飯面 (PT): (PT): 126.0 (PT): (PT): 136.0 (PT): (PT): 日期指定(P): (PT): (PT): 日期指定(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 日期指定(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 日期指定(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 日 (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT): 月秋(P): (PT): (PT):
アプリケーションで開いている文書から、 [ファイル] → [印刷] をクリックします。	本製品用のプリンタアイコン(Canon L1000 CARPS2)を選択したあと、[ペー ジ設定] または [プロパティ] をクリック して、画面を開きます。

3 詳細を設定する	4 プリントを開始する
◆ Cance 11000 CARR22 (日時記録) ×	印刷 2 1 2 フリンタ名(型) ③ Garon Printer ブロパライ(型) 対応第二 アイドリンク中 10/157(型) 技能: アイドリンク中 10/157(型) 技能: アイドリンク中 10/157(型) 支ント: アオイルへ出力(型) ロボボ油(型) アオイルへ出力(型) ロボボ油(型) ロボボ油(型) 136 のよどスページ毎期色指電してくただい。 ロボボ油(型) ロボボ油(型) ロボボ油(型) 136 のよどスページ毎期色指電してくただい。 ロボボ油(型) ロボボ油(型) マボボー(型) ロボボ油(型) マボボー(型) ロボボ油(型) マボボー(型) ロボボ油(型) ロボボー(型) ロボボ油(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボボー(型) ロボー(型) ロボボー(型) ロボー(型) ロボボー(型) ロボー(型) ロボー(型) ロボー(型)
設定が終了したら、[OK] をクリックしま す。	[印刷] または [OK] をクリックします。
	● プリントを中止するとき : 「プリント状況を確認/削除する」(→ P.6-3) を参照してください。

? ×

ジョブの確認と削除

[システムモニタ]を押して、処理中のプリントジョブの状態を確認できます。

🦉 🗶

実行/メモリランプが点灯していることを確認してください。実行/メモリランプが消灯している場合は、メモリに 保存されているプリントジョブは全て消えています。

プリント状況を確認/削除する



1 [システムモニタ]を繰り返し押して<プリント状況>を選択し、[OK]を押します。

- 2 [◄-] または [+▶] を押してメモリ内にあるプリント中のジョブを確認します。 ジョブを削除する場合は、手順3に進んでください。削除しない場合は、[ストップ]を押して待受画面に戻ります。
- **3** [◀−] または [+▶] を押して削除するジョブを選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀━] または [+▶] を押して<キャンセル>を選択し、[OK] を押します。

5 [◄-]を押して<はい>を選択します。

削除操作を中止する場合は、[+▶]を押してくいいえ>を選択します。

6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

コンピュータからプリントする

7 コンピュータからファクス 送信する

以下の手順で、コンピュータからファクスを送信します。 ファクスドライバがインストールされていることを確認してください。確認方法は、スタート アップガイド「ソフトウェアのインストール」「インストールの確認をする」、操作ガイド(総 合編)> 困ったときには > ソフトウェアのアンインストール を参照してください。 ファクスドライバの設定については、オンラインヘルプを参照してください。

🧭 🗶

- · OS やアプリケーションによっては、手順や画面に表示される項目が異なる場合があります。
- ・本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。
- 本体側で送信文書アーカイブ機能を< ON >に設定している場合は、コンピュータからのファクス送信はできません。
- ・送信できなかったジョブは、40通信ごとにプリントされる通信管理レポートに記録されます(送信文書アーカイブを < ON >にすると、40通信ごとに通信管理レポートが自動プリントされる設定になります)。

2 印刷コマンドを選択する	2 使用するファクスを選択する 2 使用するファクスを選択する 2 (************************************
アプリケーションで開いている文書から、 [ファイル] → [印刷] をクリックします。	ファクスアイコン (Canon L1000 (FAX)) を選択し、[印刷] または [OK] をクリック します。 こんなときは • ファクスのプロパティを変更するとき: [プロパティ] をクリックして、設定を変更し ます。

3 相手先を選択する	4 送信を開始する
送信和回答: アナス番号位: アナス番号位: アナス番号位: アナス番号位: アナス番号位: 第先名 ファクス番号 アドレス様(回) 月戸ス(D) 第先名 ファクス番号 第先名 ファクス番号 第先名 ファクス番号 第先名 ファクス番号 第日時間を推定する(D) (0) ※(日時引行): (0) (0) (0) (0) (0) (0) (0)	アメンダは社会で 区 送信の時定 [アドレス係の編集 カビーシート 対先名位:: 「アドレス第二協加位) アドレス第二協加位) (123455500) 第先名 ファウス番号 第先名 ファウス番号 第先名 ファウス番号 第先名 ファウス番号 第先名 ファウス番号 第先名 ファウス番号 第先名 リロンダクス番号 第先名 リロンダクス番号 第先名 リロンダクス番号 第た名 リロンダクス番号 第た名 リロンダクス番号 第た名 ロンジョンション 第た名 ロンジョン 第た名 ロンジョン 第参なの 日本 第参なの 日本 ジビー ロロン ジビー ロロン <tr< th=""></tr<>
[送信の設定]タブで相手先名とファクス番 号を指定し、[宛先一覧に追加] をクリック します。	[OK] をクリックします。 こんなときは
こんなときは	● ファクス送信を中止するとき: 操作ガイド(総合編)> 送受信する を参照 してください。



以下の手順で、リモート UI を使って本製品を管理します。 リモート UI ソフトウェアを使って、ウェブブラウザからネットワークに接続された本製品へ のアクセスと管理ができます。 ・ネットワーク上のパソコンから本製品の状況を確認できます

・ イットリーク上のハリコンから本製品の状況を確認でき

・ パソコンから本製品の設定や操作ができます

詳細については、操作ガイド(総合編)> パソコンからの設定/管理 > リモート UI を使う には を参照してください。

🧭 🗶

本機能を使用するには、オプションのネットワークプリンタキットを装着する必要があります。



リモートし

3 ログオンする	4 本製品を管理/操作する
Вала слада Слада Полование и слада Полование и слада	
Canon	
ユーザモードを選択し、[OK] をクリック します。	ウェブブラウザから本製品を管理/操作で きます。 詳細については、操作ガイド(総合編)> パソコンからの設定 /管理 > リモート UI を使うには を参照してください。

リモートリー

システム管理設定

システム管理者情報を設定する

本製品のシステム管理者情報を設定します。設定できる項目は以下のとおりです。

- ・ システム管理部門 ID(必須)
- ・ システム管理暗証番号(必須)
- ・ システム管理者名(任意)
- システム管理部門 ID や暗証番号を設定すると、ID と番号を入力した場合のみくシステム管 理設定>メニューを操作することができます。

🥖 🗶

- ・部門別 ID 管理を使用する場合は、操作パネルの<システム管理設定>の操作またはリモート UI の操作を制限する ため、システム管理部門 ID と暗証番号の両方を設定する必要があります。設定をしないと、すべてのユーザが管理 者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの<システム管理設定>とリモート UI を制限なしに使用できます。
- システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
 - 例: < 321 >と入力→< 0000321 >と設定されます。
- <0>で始まる数字を登録した場合は以下のようになります。
- 例: < 02 > や< 002 > など入力→< 0000002 > と設定されます。
- ・システム管理者名は最大 32 文字まで入力できます。
- ・入力内容を消去する場合は、[クリア]を長押してください。入力内容をすべて消去できます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–]または [+▶]を押して<システム管理者設定>を選択し、[OK]を押します。
- 4 [◀–]または [+▶]を押して<システム管理部門 ID >を選択し、[OK]を押します。
- 5 テンキーを使ってシステム管理部門 ID を入力し、[OK] を押します。



6 [◄-]または[+▶]を押して<システム管理暗証番号>を選択し、[OK]を押します。
 7 テンキーを使ってシステム管理暗証番号を入力し、[OK]を押します。
 8 [◄-]または [+▶]を押して<システム管理者名>を選択し、[OK]を押します。
 9 テンキーを使ってシステム管理者名を入力し、[OK]を押します。
 10 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。



本製品の名前と設置場所を登録します。



1	[初期設定/登録] を押します。
2	【 ◀ —】または【 + ▶】を押してくシステム管理設定>を選択し、【OK】を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、【OK】を押します。
3	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<デバイス情報設定>を選択し、[OK]を押します。
4	【 ◀ —】または【 + ▶】を押して<デバイス名>を選択し、【OK】を押します。
5	テンキーを使って本製品の名前(最大 32 文字)を入力したあと、[OK] を押します。
6	【 ◀ ━】または【 + ▶】を押して<設置場所>を選択し、【OK】を押します。
7	テンキーを使って本製品の設置場所(最大 32 文字)を入力したあと、[OK]を押します。
8	[ストップ] を押して待受画面に戻ります。

システム管理設定

部門別 ID 管理を設定する

部門ごとに部門 ID と暗証番号を登録することにより、ID と番号を入力した場合のみ本製品が 使えるように設定できます。この機能を部門別 ID 管理と呼びます。各部門内ではコピー/ス キャン/プリントのジョブごとに処理できる枚数の上限値(制限面数)を設定できます。また、 部門内で処理された各ジョブの枚数情報(カウント情報)を確認することもできます。 部門別 ID 管理で設定できる項目は以下のとおりです。

- ・ 部門別 ID 管理を使う/使わない
- ・部門 ID と暗証番号(暗証番号の設定は任意)
- ・ コピー/スキャン/プリントの制限面数
- ・ ID 不定のプリントジョブを許可する/許可しない

🧭 🗶

す。

- ・部門別 ID 管理を使用する場合は、操作パネルの<システム管理設定>の操作またはリモート UI の操作を制限する ため、システム管理部門 ID と暗証番号の両方を設定する必要があります。設定をしないと、すべてのユーザが管理 者ユーザとみなされ、どのユーザも操作パネルの<システム管理設定>とリモート UI を制限なしに使用できます。 (→システム管理者情報を設定する: P.9-1)
- ・登録できる部門数は最大100です(オプションのセンドキットを装着している場合は最大1000)。
- ・部門 ID や暗証番号は 7 桁まで登録できます。7 桁に満たない場合は以下のようになります。
- 例: < 321 >と入力→< 0000321 >と設定されます。
 <0 >で始まる数字を登録した場合は以下のようになります。
- $M: < 02 > \forall < 002 > x & Z \to 0 & Z$
- 入力内容を消去する場合は、[クリア]を押してください。入力内容をすべて消去できます。
- ・制限面数とは、プリント面に対しての数です。たとえば、1枚の用紙に両面プリントした場合、面数は2になります。
 ・制限面数の入力範囲は0~999999です。設定した数値を超えるとコピー/スキャン/プリントはできなくなりま
- ・受信したファクス/Iファクス文書の出力や自動的に出力されるレポートは、プリントの制限面数に算入されません。

部門 ID / 暗証番号/制限面数を登録する



1 [初期設定/登録]を押します。

- 2 [◀–] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀—] または [+▶] を押して<部門 ID 登録>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀–] または [+▶] を押して部門 ID の登録先番号を選択し、[OK] を押します。



- 7 テンキーを使って部門 ID を入力し、[OK] を押します。 暗証番号を設定しない場合は、部門 ID を入力するだけで本製品を使用することができます。
- **8** [◀–] または [+▶] を押して<暗証番号>を選択し、[OK] を押します。
- **9** テンキーを使って暗証番号を入力し、[OK]を押します。
- **10** [◀━] または [┿▶] を押して<制限の設定>を選択し、[OK] を押します。
- **11** [◀━] または [┿▶] を押して制限する項目を選択し、[OK] を押します。
 - 項目は以下のとおりです。
 - <トータルプリント制限>、<コピー制限>、<白黒スキャン制限>、<カラースキャン制限>、<プリン ト制限> <トータルプリント制限>は<コピー制限>と<プリント制限>の制限面数の合計です。
 - 🖉 🖉
 - <カラースキャン制限>はオプションのセンドキットを装着した場合に表示されます。
- **12** [◀–]または[+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。
 - < ON >:制限面数を設定します。
 - < OFF >:制限面数を設定しません。手順 14 に進んでください。
- **13** テンキーを使って制限面数を入力し、[OK] を押します。
 - 🥭 🖉
 - ページ数制限は0~999,999枚まで指定できます。ページ制限に達すると、コピー、スキャン、およびプリントはできなくなります。
 - ・ページ数制限の枚数は印刷面を数えます。したがって、両面プリントの場合は2枚として数えます。

14 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

暗証番号と制限面数を変更する

部門に登録済みの暗証番号と制限面数を変更します。

🥖 🗶

部門 ID の変更はできません。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀—] または [+▶] を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して<部門 ID 登録>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀–] または [+▶] を押して変更先の部門 ID を選択し、[OK] を 2 回押します。
- **7** [◀–] または [+▶] を押して<暗証番号>を選択し、[OK] を押します。
- 8 [クリア]を押して登録済みの暗証番号を消去します。

システム管理設定



- 9 テンキーを使って新しい暗証番号を入力し、[OK] を押します。
 10 [<-] または [+▶] を押して<制限の設定>を選択し、[OK] を押します。
 11 [<-] または [+▶] を押して変更先の項目を選択し、[OK] を押します。
 項目は以下のとおりです。
 <
 <h-タルプリント制限>、<コピー制限>、<白黒スキャン制限>、<カラースキャン制限>、<プリント制限>

 <h-タルプリント制限>は<コピー制限>と<プリント制限>の制限面数の合計です。
 - 🧭 🗡 🖉

<カラースキャン制限>はオプションのセンドキットを装着した場合に表示されます。

- 12 [◄-] または [+►] を押して < ON > または < OFF > を選択し、[OK] を押します。
 < ON > : 制限面数を設定します。
 < OFF > : 制限面数を設定しません。手順 15 に進んでください。
- 13 [クリア]を押して登録済みの制限面数を消去します。
- **14** テンキーを使って新しい制限面数を入力し、[OK]を押します。
- 15 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。
部門を消去する

登録されている部門を消去します。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 【
【
【
【
→
】を押して<システム管理設定>を選択し、「OK」を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。 3 【◀—】または【+▶】を押して<部門別 ID 管理>を選択し、「OK】を押します。 4 [<-] または [+ ▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 5 [<-] または [+ ▶] を押して<部門 ID 登録>を選択し、[OK] を押します。 6 [<<-] または [+ ▶] を押して削除する部門 ID を選択し、[OK] を 2 回押します。 7 [<-] または [+ ▶] を押して<消去>を選択し、[OK] を押します。 8 [◀—]を押してくはい>を選択します。 部門を消去しない場合は、[+▶]を押してくいいえ>を選択します。 9 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

カウント情報を確認する

部門ごとのカウント情報を確認します。



- [初期設定/登録]を押します。
- 【**◀** —】または【**+** ▶】を押して<システム管理設定>を選択し、[OK]を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK]を押します。
- [◀—] または [+▶] を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK] を押します。
- [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して<カウント管理>を選択し、[OK] を押します。
- **6** [◀–] または [+▶] を押して<カウント表示>を選択し、[OK] を押します。

<オールクリア>を選択すると、カウント情報は消去されます。

- 7 [◄-] または [+ト] を押して枚数確認するジョブを選択し、[OK] を押します。 項目は以下のとおりです。 <トータルプリント>、<コピー>、<白黒スキャン>、<カラースキャン>、<プリント> <トータルプリント>は<コピー>と<プリント>の制限面数の合計です。
- 8 [◀–] または [+▶] を押して枚数確認する部門 ID を選択します。
- 9 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

1

2

3

4

カウント情報を消去する

部門ごとのカウント情報をすべて消去します。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 【
【
【
【
→
】を押して<システム管理設定>を選択し、「OK」を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。 3 [<-] または [+ ▶] を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK] を押します。 4 [<-] または [+ ▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 5 [<-] または [+ ▶] を押して<カウント管理>を選択し、[OK] を押します。 6 【**◀**—】または【**+**▶】を押して<オールクリア>を選択し、[OK]を押します。 7 [◀—]を押して<はい>を選択します。 カウント情報を消去しない場合は、[+▶]を押してくいいえ>を選択します。 8 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

カウント情報をプリントする(部門別管理リスト)

部門ごとのカウント情報一覧をプリントします。



```
[初期設定/登録] を押します。
```

【◀—】または【+▶】を押して<システム管理設定>を選択し、[OK]を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK]を押します。

[<-] または [+ ▶]を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK]を押します。

[<-] または [+ ▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。

[**◄**-]または [+▶]を押して<カウント管理>を選択し、[OK]を押します。

【◀━】を押して<はい>を選択します。

プリントが開始され、画面は待受画面に戻ります。 カウント情報をプリントしない場合は、 [**+**▶] を押して<いいえ>を選択します。

1

2

3

4

5

6

7

ID 不定のプリントジョブを受け付けるかどうか設定する

部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントを許可するかどうか設定します。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 【
【
【
【
→
】を押して<システム管理設定>を選択し、「OK」を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。 3 [◀—]または [+▶]を押して<部門別 ID 管理>を選択し、[OK]を押します。 4 [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。 5 [<--]または[+-]を押してく ID 不定ジョブプリント>を選択し、[OK]を押します。 6 [◀━]または [+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。 < ON >:部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントを行います。 < OFF >:部門 ID に対応していないプリンタドライバからのプリントは行いません。 7 「ストップ」を押して待受画面に戻ります。

ユーザ ID 管理を設定する

ユーザごとにユーザ ID と暗証番号を登録することにより、ID と番号を入力した場合のみ本製 品が使えるように設定できます。この機能をユーザ ID 管理機能と呼びます。 ここでは、ユーザ ID 管理機能を有効にする設定手順を説明します。

🖉 🗡

- ・ユーザ管理を使用する場合は、操作パネルの<システム管理設定>の操作またはリモートUIの操作を制限するため、
 管理者ユーザの権限を与えたユーザを登録する必要があります。登録をしないと、すべてのユーザが管理者ユーザ
 とみなされ、どのユーザも操作パネルの<システム管理設定>とリモート UI を制限なしに使用できます。(→操作
 ガイド(総合編)>パソコンからの設定/管理> 部門別/ユーザ ID を管理する)
- ・登録できるユーザ数は最大 1000 です。
- ユーザ ID 管理機能を使用する場合は、必ずユーザ ID や暗証番号などのユーザ情報を入力してから管理機能を有効 にしてください。
- ・ユーザ情報はリモート UI 機能を使って設定します。本製品からは設定できません。詳細については、操作ガイド
 (総合編) >パソコンからの設定/管理>部門別/ユーザ ID を管理する を参照してください。



1 [初期設定/登録]を押します。

2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。

- **3** [◀–] または [+▶] を押して<ユーザ ID 管理>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- 5 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

転送時の文書の取り扱いを設定する

転送した文書の処理方法を設定します。

🧭 🗶

<受信画像をプリント>、<エラー時に画像プリント>、<エラー時に画像を保存>のすべてを< OFF >に設定する と、転送に失敗した文書はプリントされず、メモリにも残らず消去されます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–]または[+▶]を押して<転送時保存/プリント>を選択し、[OK]を押します。
- **4** [◀—]または [+▶]を押して<受信画像をプリント>を選択し、[OK]を押します。
- **5** [◀━]または [+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。

< ON >:転送する文書を、転送結果にかかわらず必ずプリントします。 < OFF >:転送する文書をプリントしません。

^{6 [◄-]}または [+►]を押して<エラー時に画像プリント>を選択し、[OK]を押します。



- 7 [→]または[+→]を押して<ON>または<OFF>を選択し、[OK]を押します。
 <ON>:転送エラー時にエラー文書をプリントします。
 <OFF>:転送エラー時にエラー文書をプリントしません。
 8 [→]または[+→]を押して<エラー時に画像を保存>を選択し、[OK]を押します。
 9 [→]または[+→]を押して<ON>または<OFF>を選択し、[OK]を押します。
 <ON>:転送エラー時にエラー文書をメモリに保存します。
 - < OFF >:転送エラー時にエラー文書をメモリに保存しません。

10 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

宛先操作/送信機能を制限する

宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。設定できる内容は以下のとおりです。

- ・ 宛先表に暗証番号を設定する
- ・ 指定できる宛先を制限する
- ・ コンピュータからのファクス送信を制限する
- ・ 送信前にファクス番号を再度確認する
- ・ リダイヤル機能/コール機能を制限する
- ・ 同報送信を制限する

宛先表に暗証番号を設定する

宛先表に暗証番号を設定します。暗証番号を設定すると、宛先を登録/編集/消去する際に設 定した暗証番号を入力する必要があります。

🥭 🗡

パスワード保護を解除する場合は手順5 でく OFF >を選択します。



1 [初期設定/登録]を押します。

- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀−] または [+▶] を押して<送信機能の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–] または [+▶] を押して<宛先表の暗証番号>を選択し、[OK] を押します。





指定できる宛先を制限する

指定できる宛先を登録済みのスピードダイヤルに限定します。制限機能を有効にすると以下の 操作はできなくなります。

- ・ テンキーを使って宛先を指定
- ・ ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに登録済みの宛先を変更
- ・ ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルに新しい宛先を登録



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀−] または [+▶] を押して<送信機能の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [**⊲−**] または [**+►**] を押して<新規宛先の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **5** [◀−] または [+▶] を押して< ON >を選択し、[OK] を押します。
- **6** [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

コンピュータからのファクス送信を制限する

ファクスドライバを使ったコンピュータからのファクス送信を許可するかどうかの設定をし ます。



1

2

[初期設定/登録] を押します。

- 【**◀−**】または【**+**▶】を押してくシステム管理設定>を選択し、[OK]を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀−] または [+▶] を押して<送信機能の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–]または[+▶]を押して< FAX ドライバ送信許可>を選択し、[OK]を押します。
- **5** [◀−]または [+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。
- **6** [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

送信前にファクス番号を再度確認する

ファクス送信の宛先指定時に、ファクス番号の再入力画面を表示させるかどうかの設定をしま す。ファクス番号を2度入力することで、指定した宛先に誤りがないことを再度確認してから 原稿を送信することができます。ファクス番号の再入力画面はテンキーを使って宛先を指定し た場合に表示されます。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀–] または [+▶] を押して<送信機能の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀–]または[+▶]を押して<ファクス番号確認入力>を選択し、[OK]を押します。
- 5 [◄-]または[+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。
 < ON > : ファクス番号の再入力画面が表示されます。
 < OFF > : ファクス番号の再入力画面は表示されません。
- 6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

リダイヤル機能/コール機能を制限する

リダイヤル機能/コール機能の使用を許可するかどうかの設定をします。制限機能を有効にす ると、以前に指定した宛先を [リダイヤル] を押して呼ぶ出すことができなくなります。 [リダイヤル] は、オプションのセンドキットを装着している場合は、コール機能(→リダイ ヤル機能/コール機能:P.4-52)として使用します。



[初期設定/登録] を押します。

- 2 [◀–] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀−] または [+▶] を押して<送信機能の制限>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀—] または [+▶] を押して<リダイヤルの制限>を選択し、[OK] を押します。 オプションのセンドキットを装着している場合は、<リダイヤル/コールの制限>が表示されます。
- **5** [◄-]または[+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。
- 6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

1

同報送信を許可するかどうかの設定をします。ファクスを含む複数の宛先に送信する場合の制 限を設定します。





送受信履歴の表示設定をする

ファクスなどの送受信履歴情報を表示するかどうかの設定をします。履歴情報を参照すること で処理されたジョブ内容などを確認できます。

🧭 🗶

<ジョブ履歴表示>を< OFF >に設定すると、通信管理レポートは自動的にはプリントされません。



- [初期設定/登録] を押します。
- 2 [◀—] または [+▶] を押して<システム管理設定>を選択し、[OK] を押します。 システム管理部門 ID やシステム管理暗証番号が設定されている場合は、テンキーを使って ID と番号を入力 したあと、[OK] を押します。
- **3** [◀━]または [+▶]を押して<ジョブ履歴表示>を選択し、[OK]を押します。
- **4** [◀–]または [+▶]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。
- 5 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

1

システム管理設定

日常のメンテナンス

日常のお手入れ

本製品のお手入れをする前に、以下を確認し てください。

- メモリにジョブが蓄積されていないことを 確認してから、主電源スイッチを切り、電 源コードを抜いてください。
- 本製品に傷が付かないよう、柔らかい布を お使いください。
- ティッシュペーパー、紙タオルなどは使わないでください。内部の部品に付着したり、 静電気発生の原因になったりすることがあります。

1注意

シンナーやベンジン、アセトンなどの溶剤、およびその 他の化学クリーナーは絶対に使わないでください。本体 内部の部品を損傷する恐れがあります。

🧭 🗶

メモリに蓄積されたジョブは、電源を切ったあと内蔵 バッテリにより約3時間保存されます。 メモリ内にあるジョブを確認するには、以下を参照して ください。

- ・ コピー状況を確認/削除する: P.3-16
- ・送信中または送信待機中のジョブを確認/削除する:
 P.4-66
- ・受信中のジョブを確認/削除する:P.5-27
- ・プリント状況を確認/削除する:P.6-3

本体のお手入れ

- 1 主電源スイッチを切り、電源コードを 抜きます。
- 2 水または薄めた中性洗剤を含ませてかたく絞った布で、本体の表面を拭きます。
- **3** 乾いてから電源コードを接続し、主電 源スイッチを入れます。

内部のお手入れ

プリントエリアを定期的に清掃し、トナーの 粉や紙ぼこりがたまらないようにしてくださ い。

- **1** 主電源スイッチを切り、電源コードを 抜きます。
- **2** _{左カバーを開きます。}



- 3
- トナーカートリッジの青色のタブ (A) を持ちます。



4 トナーカートリッジの取っ手が持てる ようになるまで、青色のタブを引き出 します。





トナーカートリッジを取り出します。



1注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず 取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保 護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター を開けないでください。ドラムの表面に光が 当たったり傷が付いたりすると、印字の質が 低下することがあります。



6

7

清潔で柔らかい、乾いた、糸くずの出 ない布で、内部からトナーの粉や紙ぼ こりを取り除きます。

1注意

- ・ 定着器(A)は使用中に熱くなります。触らな いように注意してください。
- ・本製品を損傷することがありますので、搬送 ローラ(B)に触らないでください。



 ・手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で 洗ってください。温水を使うとトナーが定着 し、落ちなくなります。

トナーカートリッジの取っ手を持ちま す。

矢印(A)を本体に向け、青色のタブを引き上げ てください。



トナーカートリッジが完全に本体に収 まるまで押し込みます。

8

トナーカートリッジの左側(A)と右側の突起 (BとC)を本体内部のガイドに合わせます。



9 トナーカートリッジを押して、正しく 取り付けられていることを確認しま す。



▲ 注意 定着器(A)は使用中に熱くなります。触らない ように注意してください。

10 _{左カバーを閉じます。}



1注意

- ・ 指がはさまれないよう注意してください。
- ・ 左カバーが途中で止まって閉まらないとき は、カバーを再度開け、カートリッジが奥ま で入っているか確認してください。
- **11** 電源コードを接続し、主電源スイッチ を入れます。

定着器のお手入れ

プリントされた用紙に黒いスジが現れる場合 は、定着器が汚れている可能性があります。 このような場合は、以下の手順で定着器をク リーニングしてください。トナーカートリッ ジを交換したときにもクリーニングしてくだ さい。A4 の白紙を手差しトレイにセットし、 クリーニングを開始します。

🥖 🗡 🧭

- ・ クリーニングには約 130 秒かかります。
- ジョブがメモリに保存されている場合、この機能は使用できません。

1 [初期設定/登録]を押します。

- 2 [◄–] または [+►] を押して<調整/クリーニング>を選択し、[OK] を押します。
- **3** 手差しトレイを開きます。



4 補助トレイを最後まで引き出してから、開きます。





6

7

A4 の白紙を 1 枚セットします。



- [◀—] または [+▶] を押して<定 着器のクリーニング>を選択し、[OK] を押します。
- 【**◀**—】を押して<はい>を選択しま **3** す。

クリーニングが開始されます。終了すると、ディ スプレイが待受画面に戻ります。 クリーニングをしない場合は、[**十**▶]を押して <いいえ>を選択します。

🦉 🗶

- クリーニング用の用紙は普通紙を使用してく ださい。
- ・ クリーニングに使用した用紙は、クリーニン グ終了後、廃棄してください。

読み取りエリアのお手入れ

コピーや送信ファクスの品質を保つため、読 み取りエリアを清掃してください。

• ADF

ADF を使ってコピーすると、黒いスジが出る 場合があります。これは、ADF の読み取り部 分に付着したのり、インク、修正液などが原 因です。柔らかく清潔な布で、読み取り部分 を拭いてください。

- 1 主電源スイッチを切り、電源コードを 抜きます。
- **2** レバーを上げ、ADFを開きます。



フィーダ前カバーを開きます。



水を含ませた布で、ADF 内部のローラ (A)を拭きます。次に、乾いた柔らか い布で拭きます。



🧭 🗶

4

5

水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れた り、本製品を損傷したりする可能性があります。 布はかたく絞ってください。

水を含ませた布で細長いガラス面(B) と対向した白色板(C)を拭きます。次 に、乾いた柔らかい布で拭きます。



🧭 🗶

- ・ 白色板は柔らかいので強く押しすぎないでく ださい。
- 水分を含ませすぎた布で拭くと、原稿が破れたり、本製品を損傷したりする可能性があります。布はかたく絞ってください。

原稿給紙トレイを持ち上げます。

6

8



7 水を含ませた布で、原稿給紙トレイの 下にあるローラ(D)を拭きます。次 に、乾いた柔らかい布で拭きます。



原稿給紙トレイを戻します。



注意
 指がはさまれないよう注意してください。



ADF を閉じます。



1注意

指がはさまれないよう注意してください。

10 電源コードを接続し、主電源スイッチ を入れます。

ADF を自動的にクリーニングする

ADF を使って読み込んだ原稿に黒いスジが入っていたり汚く見えたりする場合は、白紙を読 み込ませて ADF のローラを清掃してください。



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀−] または [+▶] を押して<調整/クリーニング>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀—] または [+▶] を押して<フィーダのクリーニング>を選択し、[OK] を押します。
- **4** ADF に白紙を 5 枚セットし、[OK] を押します。 ADF のクリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。
 - 🖉 ×т

A4 サイズの用紙を使ってください。

転写ローラ

プリントされた用紙の裏側が汚れている場合は、転写ローラが汚れている可能性があります。 このような場合は、以下の手順で転写ローラをクリーニングしてください。



1

[初期設定/登録] を押します。

【**◀**—】または 【**+**▶】を押して<調整/クリーニング>を選択し、[OK] を押します。

<転写ローラのクリーニング>が表示されていることを確認し、[OK] を押します。

クリーニングが開始されます。終了すると、ディスプレイが待受画面に戻ります。

トナーカートリッジの交換

ディスプレイにくトナー少(継続プリント可) /トナー準備して下さい>と表示された場 合、データを受信してもメモリに一時的に保 存し、プリントを行いません。この場合、ト ナーカートリッジ内のトナーを均一にならし てください。メッセージが引き続き表示され る場合は、トナーカートリッジを交換してく ださい。

トナーカートリッジの交換をしないで受信し たデータをプリントしたい場合は、<送信/ 受信仕様設定>の<共通設定>の中にある<受 信機能設定>で<印字継続>を<継続する>に 設定してください。(→メニューの設定内容: P.12-4)

1注意

- く印字継続>をく継続する>に設定した場合、途中で 印字が薄くなったり、かすれて読み取りができなかっ たりすることがあります。しかしメモリ内の受信デー タはプリントと同時に消えるため、再度、プリントす ることができません。
- 「注意高温」と表示がある部分とローラ部は高温になっています。内部を点検するときは、触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

トナーを均一にならす

1 左カバーを開きます。



2 トナーカートリッジの青色のタブ (A) を持ちます。





3 トナーカートリッジの取っ手が持てる ようになるまで、青色のタブを引き出 します。



トナーカートリッジを取り出します。



1 注意

4

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず 取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター を開けないでください。ドラムの表面に光が 当たったり傷が付いたりした場合、印字の質 が低下することがあります。

5 トナーカートリッジをゆっくりと 5、6 回振り、トナーを均一にならします。



6 トナーカートリッジの取っ手を持ちま

てください。

す。 矢印(A)を本体に向け、青色のタブを引き上げ



7 トナーカートリッジが完全に本体に収 9 まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左端(A)と右側の突起(BとC)を本体内部のガイドに合わせます。



8 トナーカートリッジを押して、正しく 取り付けられていることを確認します



1 注意

定着器(A)は使用中に熱くなります。触らない ように注意してください。 左カバーを閉じます。



1 注意

- ・ 指がはさまれないよう注意してください。
- ・ 左カバーが途中で止まって閉まらないとき は、カバーを再度開け、カートリッジが奥ま で入っているか確認してください。

トナーカートリッジを交換する

1 _{左カバーを開きます。}



2 トナーカートリッジの青色のタブ (A) を持ちます。



3 トナーカートリッジの取っ手が持てる ようになるまで、青色のタブを引き出 します。



4 カートリッジを取り出します。



1注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず 取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター を開けないでください。ドラムの表面に光が 当たったり傷が付いたりした場合、印字の質 が低下することがあります。

- **5** 保護袋から新しいトナーカートリッジ **7** テープ (2 か所)をはがします。 を取り出します。
- 6 トナーカートリッジをゆっくりと5、6 回振り、トナーを均一にならします。





8 青色のタブを引き上げます。



9 シーリングテープを完全に引き抜きます。



日常のメンテナンス



シーリングテープはまっすぐに引き抜いてくだ さい。



10 トナーカートリッジの取っ手を持ちます。

矢印(A)を本体に向けます。



11 トナーカートリッジが完全に本体に収まるまで押し込みます。

トナーカートリッジの左端(A)と右側の突起(BとC)を本体内部のガイドに合わせます。



12 トナーカートリッジを押して、正しく 取り付けられていることを確認しま す。





定着器(A)は使用中に熱くなります。触らない ように注意してください。

13 左カバーを閉じます。





- ・指がはさまれないよう注意してください。
- ・ 左カバーが途中で止まって閉まらないとき は、カバーを再度開け、カートリッジが奥ま で入っているか確認してください。

スタンプカートリッジを交換する

フィーダは、送信原稿に済スタンプ(マーク) をつけることができます。済スタンプがカス レてきたり、つかなくなったりしたときは、 スタンプカートリッジを交換してください。

1注意

スタンプカートリッジを交換するときは、インクで衣服 や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚 れた場合は、直ちに水で洗い流してください。





2 フィーダカバーを途中まで開いたまま リンクアームを押し、フィーダカバー を完全に開きます。



1注意

リンクアーム (A) がフック (B) に掛かる前にリ ンクアームを押してください。

🥖 🗶

フィーダは以下のように開き、スタンプ(C)の 交換が可能になります。正しく開いていないと きは、フィーダカバーを閉じる方向に戻して、も う一度リンクアームを押しながらフィーダカ バーを開いてください。





3 ピンセットを使って古いスタンプカー **5** フィーダカバーを閉じます。 トリッジを取り外します。



ピンセットを使って新しいスタンプ カートリッジをカチッと音がするまで 取り付けます。



1 注意

4

- スタンプカートリッジのスタンプ面が突き出 ないようにセットしてください。
- スタンプカートリッジを正規の位置にセット していないと紙づまりの原因になる可能性が あります。



1注意

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまな いように注意してください。

本製品を移動するとき

4

5

本製品を長距離移動する場合などは、振動に よる損傷を防ぐため、以下の手順に従ってく ださい。

1注意

必ず 2 人以上で運んでください。

- **1** 電源コード、およびすべてのケーブル を本製品の背面から外します。
- 2 左カバーを開きます。



- 3
- トナーカートリッジの青色のタブ (A) を持ちます。





定着器(B)は使用中に熱くなります。触らない ように注意してください。 トナーカートリッジの取っ手が持てる ようになるまで、青色のタブを引き出 します。



カートリッジを取り出します。



1注意

- トナーカートリッジを取り扱うときは、必ず 取っ手を持ってください。
- トナーカートリッジを光に当てないよう、保 護袋に入れるか厚手の布で包んでください。
- トナーカートリッジのドラム保護シャッター を開けないでください。ドラムの表面に光が 当たったり傷が付いたりした場合、印字の質 が低下することがあります。



8

左カバーを閉じます。



1注意

指がはさまれないよう注意してください。

7 手差しトレイと排紙ストッパーが元の 位置に戻っていることを確認します。

> 左右にある取っ手を使って、本製品を 持ち上げます。



1 注意

- ・ 必ず2人以上で運んでください。
- ・ 付属品を持って本製品を持ち上げないでく ださい。本製品を落とすと、けがをする恐れ があります。
- ・ 腰が悪い方は、持ち上げる前に本製品の重さ を確認してください。(→付録:P.13-1)
困ったときには

用紙がつまったときには

ここでは、紙づまりが起きた場合の対処について説明します。エラーメッセージが表示された場合については、「ディスプレイの表示」 (→P.11-5)を参照してください。それ以外のトラブルについては、操作ガイド(総合編) > 困ったときにはを参照してください。 ディスプレイにく原稿を点検して下さい>、 く原稿がつまりました/フィーダを点検>または<原稿が長すぎます>と表示された場合は、ADFか本体内部で紙づまりが起きています。つまった原稿や用紙を取り除いてください。 明紙カセットや手差しトレイにも用紙がつまっていたら、それも取り除いてください。

認してください。
 ・本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。

紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確

お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。

(→使用可能な用紙: P.2-5)

 ・ つまった用紙の切れ端が本体内部に残って いないか、確認してください。

1注意

- ・つまった原稿や用紙を取り除くときは、原稿や用紙の 端で手を切らないよう注意してください。
- ・ つまった用紙を取り除くときや、本体内部を点検する ときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属製品が 本体内部の部品と接触しないようにしてください。や けどや感電の恐れがあります。
- 用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、す べて取り除いてください。
- ・手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で洗ってく ださい。温水で洗うとトナーが定着し、落ちなくなり ます。

🥢 🗡 🖉

つまった原稿や用紙を本体から無理に取り除かないでく ださい。問題が解決できない場合は、お近くのキヤノン 販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡くだ さい。

ADF につまった原稿を取り除く

ディスプレイに<原稿を点検して下さい>ま たは<原稿が長すぎます>と表示された場合 は、ADF か原稿給紙口からつまった原稿を取 り除いてください。

1 レバーを上げ、ADF を開きます。



4

つまった原稿を取り除きます。



🖉 🗶

原稿を強く引っ張らないでください。原稿が破 れることがあります。

3 原稿排紙トレイを持ち上げます。



つまった原稿を取り除きます。



5 原稿給紙トレイを戻し、ADFを閉じます。



企 注意 指がはさまれないよう注意してください。

本体内部につまった用紙を取り除く

ディスプレイにく用紙がつまりました>と表示された場合は、本体内部からつまった用紙 を取り除いてください。用紙カセットにも用 紙がつまっていたら、それも取り除きます。 紙づまりが繰り返し起こる場合は、以下を確 認してください。

- ●本製品に用紙をセットする前に、平らな場所でそろえてください。
- ●お使いの用紙が本製品に適しているか、確認してください。(→使用可能な用紙: P.2-5)
- つまった用紙の切れ端が本体内部に残って いないか、確認してください。





2 くぼみにあるつまみ (A) を持って、ト 本体から、つまった用紙をゆっくりと 引き出します。



1 注意

- ・ 定着器(A)は使用中に熱くなります。触らな いように注意してください。
- ・用紙が破れた場合は、切れ端がつまらないように、すべて取り除いてください。
- ・手や衣類にトナーが付着した場合は、冷水で 洗ってください。温水で洗うとトナーが定着 し、落ちなくなります。
- 3 両面搬送外ガイド(A)を本体側に倒し、つまった用紙を取り除きます(両面コピー使用時のみ)。



4 転写フレーム (A) を持ち上げて支え、 つまった用紙を取り除きます(両面コ ピー使用時のみ)。



5

左カバーを閉じます。



1注意

指がはさまれないよう注意してください。

6

オプションのカセットをお使いの場合 は、カセットの左側のカバーを開けて つまった用紙を取り除きます。用紙を 取り除いたら、カバーを閉じます。



7 カセットを引き出し、用紙の角をツメ の下に押し込みます。



8 カチッというまで、カセットをゆっく りと本体に戻します。



注意 指がはさまれないよう注意してください。

ディスプレイの表示

ディスプレイに表示されるエラーメッセージについては、以下の表を参照してください。

メッセージ	原因	処置
相手先記録紙なし	相手先のファクス機に用紙が ない。	相手先に用紙を補給しても らってください。
ウォーミング アップ中 お待ち下さい	主電源スイッチを入れたとき、 またはプリント操作の準備がで きていない場合に表示される。	メッセージが消えるまでお待ち ください。
原稿がつまりました フィーダを点検	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿をADFから取り除 いてください。(→用紙がつまっ たときには:P.11-1)
原稿が長すぎます	 ADF を使って読み込まれた 原稿の長さが630mmを超え ている、または原稿が正しく セットされていない。 Eメール、Iファクス、ファイ ルサーバ送信の際、原稿の長 さが 432 mmを超えている。 	 原稿の長さを 630 mm 以下 にして、もう一度操作をやり なおしてみてください。 原稿の長さを 432 mm以下に して、もう一度操作をやりな おしてみてください。
原稿を点検して下さい	ADF 内で原稿がつまっている。	つまった原稿をADFから取り除 いてください。 (→用紙がつまったときには: P.11-1)
受信データプリント不可 エラー解除後プリント	何らかのエラーが発生したた め、受信データをメモリに一時 的に保存した。 このエラーメッセージは以下の エラーメッセージと交互に表示 される。 ・ <正しい用紙をセット> ・ <手差しトレイに用紙があ ります/用紙を取り除いて 下さい> ・ <登録サイズを変更/->用紙 設定> ・ <トナー少(継続プリント可) /トナー準備して下さい> ・ <トナーがありません/ト ナーをセットして下さい> ・ <用紙がつまりました> ・ <用紙を補給して下さい>	このエラーメッセージは他のエ ラーメッセージと交互に表示さ れます。エラーが解消された後、 受信データはプリントされま す。対処方法については、一緒 に表示されるメッセージの対処 方法を参照してください。

メッセージ	原因	処置
受話器が上がっています 受話器を置いて下さい	通話終了後も、ハンドセットま たは外付け電話の受話器が外れ ている。	受話器を置いてください。
使用できません	 ・受話器を取り上げた状態または [オンフック]を押した状態で、グループダイヤルを指定した。 ・受話器を取り上げた状態または [オンフック]を押した状態で、ファクス番号以外が登録された短縮ダイヤルを指定した。 ・指定した短縮ダイヤルに登録されているグループダイヤルの階層数が上限を超えている。 	 グループダイヤル以外で宛 先を指定してください。 ファクス番号が登録された 短縮ダイヤルを指定してく ださい。 1つのグループダイヤルに登 録できるグループダイヤルの階層は2階層です。 たとえば、ある1つのグルー プダイヤル:「A」には別のグ ループダイヤル:「B」を登録し、この「A」を更に別のグ ループダイヤル:「B」を登録し、この「A」を更に別のグ ループダイヤル:「C」の宛先 として登録できます。この場 合、「C」には「A」を第1階層、 「B」を第2階層とする2つの グループダイヤルが登録されていることになります。 この「C」を更に別のグループ ダイヤル:「D」に登録するな ど、階層が3階層以上になる と、短縮ダイヤル指定時にエ ラーメッセージが表示され ます。グループダイヤルの階 層を2階層以下に登録しなお してください

メッセージ	原因	処置
使用できません	 ・ 受話器を取り上げた状態または [オンフック]を押した状態で、ファクス番号以外が登録されたワンタッチダイヤルを指定した。 ・ 指定したワンタッチダイヤルに登録されているグループダイヤルの階層数が上限を超えている。 	 ファクス番号が登録された ワンタッチダイヤルを指定 してください。 1つのグループダイヤルに登 録できるグループダイヤル の階層は2階層です。 たとえば、ある1つのグルー プダイセル「ヘッには別のグ
		レープダイヤル:「A」には別のグ ループダイヤル:「B」を登録 し、この「A」を更に別のグ ループダイヤル:「C」の宛先 として登録できます。この場 合、「C」には「A」を第1階層、 「B」を第2階層とする2つの グループダイヤルが登録さ れていることになります。 この「C」を更に別のグループ ダイヤル:「D」に登録するな ど、階層が3階層以上になる と、ワンタッチダイヤル指定 時にエラーメッセージが表 示されます。グループダイヤ ルの階層を2階層以下に登録
	 グループダイヤル登録中に、 すでに登録済みのワンタッ チダイヤルまたは短縮ダイ ヤルに登録しようとした。 ワンタッチダイヤルまたは 短縮ダイヤル登録中に、すで に登録済みのグループダイ ヤルに登録しようとした。 	・ 未使用のキーや番号に登録 してください。
	・ 電話回線がイブブックの状 態でグループダイヤルを指 定した。	・ グルーフタイヤル以外の相 手先を指定してください。
上限に達しました	部門別ID管理機能で設定したコ ピー、スキャン、プリント枚数 のいずれかが制限面数の上限値 に達した。	システム管理者に連絡して下さ い。
調整中 スキャナの準備中です	読み込み操作の準備ができてい ない。	メッセージが消えるまでお待ち ください。
ストップキーが押されました OK キーを押して下さい	ADFから原稿を読み込ませてい るときに[ストップ]が押され た。	[OK]を押し、原稿をセットし なおしてください。

メッセージ	原因	処置
正しい用紙をセット	用紙カセットまたは手差しトレ イにある用紙のサイズが<用紙 設定>メニューで指定した用紙 と違う。	用紙をセットしなおすかく用紙 設定>メニューで指定した用紙 サイズを変更してください。(→ く正しい用紙をセット>と表示 された場合:P.11-16)
データがこわれました スタートキーを押して下さい	本体の電源を入れたときに、メ モリに蓄積されていたデータが 失われた。	[スタート] を押すと、エラーは 解除されます。
登録サイズを変更 -> 用紙設定	 レポートまたはリストのプリントに適切な用紙サイズが設定されていない。 受信文書やレポート/リストのプリント中に用紙がなくなった。 	 ・ 用紙サイズを< A4 >、 < OFICIO >、 < BRAZIL - OFICIO >、 < MEXICO - OFICIO >、 < FOLIO >、< FLSP >、 < LTR >または< LGL >に 設定し、設定したサイズの用 紙をセットしてください。 (→用紙のサイズと種類を設定する: P.2-11) ・ 用紙カセットに用紙を補給してください。
トナーがありません トナーをセットして下さい	トナーカートリッジが取り付け られていないか、正しく取り付 けられていない。	トナーカートリッジを正しく装 着してください。 (→トナーカートリッジの交換: P.10-10)
トナー少(継続プリント可) トナー準備して下さい	トナーが残り少なくなってい る。	新しいトナーカートリッジを用 意してください。
トレイがいっぱいです	排紙トレイに出力紙がたまって いる。	排紙トレイから出力紙を取り除 いてください。
左カバーが開いています カバーを閉めてください	左カバーが開いているか完全に 閉じていない。	左カバーが完全に閉じているか 確認してください。
フィーダ内部のガラス汚れ 清掃して下さい	ADF読み取りエリアが汚れてい る。	読み取りエリアを清掃し、[OK] を押してください。
プリンタ エラー	本体に何らかのエラーが発生し ている。	主電源スイッチを切り、10 秒ほ ど待ち、再度主電源スイッチを 入れます。これで問題が解消し ない場合は、主電源スイッチを 切り、電源コードをコンセント から抜いて、キヤノンお客様相 談センターにご連絡ください。

困ったときには

メッセージ	原因	処置
未登録です	 宛先指定時に未登録のス ピードダイヤルを指定した。 「電話帳」を押して宛先を検 索しようとしたが、宛先が未 登録だった。 	スピードダイヤルに、宛先を登 録してください。詳細について は、「ワンタッチダイヤル/短縮 ダイヤルを登録/編集する」(→ P.4-10)を参照してください。
メモリがいっぱいです	 ・ ジョブがいっぱいになった。 ・ メモリに保存できる送受信 ジョブ数が最大件数に達し た。 	 メモリに保存されている原 稿をプリント、送信、または 削除してください。 原稿または画像データを分 割して送信してみてください。 解像を下げて送信してく ださい。 ADFを使用している際にこのエラーメッセージが表示 された場合は、原稿の読み込み操作はきす。 この場合は、[OK]を押して ADFに残った原稿を排出してください。 本製品のメモリに保存できる各当ゴン(1000) 本製品のメモリに保存です。 (相手側のファクスが Canofax L1000で、ITU-T チャート No.1を標準モード で送信した場合のジョブ数) メモリ内の文書が送信される に、メモリに保存されている 原稿をプリント、送信、また は削除してください。
メモリ残量 XX%	利用できるメモリ残量のメッ セージで、送信時に原稿を ADF にセットすると表示される。	メモリ容量が不足する場合は、 メモリ内の文書が送信されるま でお待ちください。メモリに保 存されている原稿をプリント、 送信、または削除してください。
やり直して下さい	通信状況が悪いため通信エラー が発生した。	通信状況を確認してもう一度操 作をやりなおしてみてくださ い。

メッセージ	原因	処置
用紙がつまりました 左カバーを開けて下さい	本体内で紙づまりが起きた。	左カバーを開いてつまった用紙 を取り除いてください。(→用紙 がつまったときには:P.11-1) そのあと、カバーを開閉して現 在のジョブを再開してくださ い。
用紙を補給して下さい	 カセットまたは手差しトレイに用紙がセットされていないか、正しく給紙されていない。 プリントに必要なサイズの用紙がセットされていない。このエラーメッセージはく登録サイズを変更 - >用紙設定>または<受信データプリント不可/エラー解除後プリント>のエラーメッセージと交互に表示される。 プリントに必要な種類の用紙がセットされてない。 	 用紙を正しく補給し、カセットを一番奥まで差し込んでください。 プリントに必要なサイズの用紙をセットし、<用紙設定>で指定した用紙サイズを変更してください。レポートやリストのプリントの場合は、用紙サイズを<ltr>、<lgl>、<a4>、<oficio>、<brazil-oficio>、<brazil-oficio>、<brazil-oficio>、<brazil-oficio>、<eovernment-letter>、<government-letter>、<government-letter>、 または<flsp>に設定し、設定したサイズの用紙をセットしてください。</flsp></government-letter></government-letter></eovernment-letter></brazil-oficio></brazil-oficio></brazil-oficio></brazil-oficio></oficio></a4></lgl></ltr> プリントに必要な種類の用紙をセットし、<用紙設定>メニューで指定した用紙種類を変更してください。
両面不可のサイズです	両面コピーする場合に適切な用 紙サイズが設定されていない。	両面コピーする場合は、<用紙 設定>メニューの<カセット> または<手差しトレイ>を< A4>または <ltr>に設定し、 設定したサイズの用紙をセット してください。(→用紙のサイズ と種類を設定する:P.2-11)</ltr>



エラーコード

エラーコードは、エラーが起きた場合にエラー送信レポートまたはエラー受信レポートに記録 される4桁のコードです。

07 12/31 10:5	0 FAX 123XXXXXX	CANON		2 0001
	*	*****	****	
	*	*** エラー送信レポ		
	*	*****	****	
	次の送信はエラー終了	しました		
	受付番号	0005		
	部 門 ID	0000001		
	相手先アドレス	111XXXXX		
	相手先略称			
	開始時刻	12/31 10	:50	
	通信時間	00'00		
	枚数	0		
	通信結果	NG	# 0018 話し中でした	

詳細については、「レポートを自動でプリントする」(→ P.12-38)を参照してください。

エラーコードについては、以下の表を参照してください。

エラーコード	原因	処置
#0001	原稿がつまっている可能性があります。	つまっている原稿を取り除いてくださ い。
#0003	 長さが630mm以上の原稿をADFから送ろうとした。 データ量が大きすぎるため、原稿を送信するのに時間がかかっている。 原稿を受信するのに時間がかかっている。 	 読み取り時の解像度を下げて送信してください。 読み取り時の解像度を下げるか、原稿を分割して送信するよう、相手先に連絡してください。

エラーコード	原因	処置
#0005	 相手先が35秒以内に応答しませんでした。 相手先のファクスがG3ファクスでない可能性があります。 	 もう一度はじめからやりなおしてください。また、相手先にファクス機を確認してもらうよう連絡してください。海外へ送信する場合は、ファクス番号にポーズを入れてください。 相手先に確認し、G3ファクスに送信してください。相手先がG3ファクスを持っていない場合は、相手先のファクスが対応している通信モードを使って送信しなおしてください。
#0009	用紙がないか、用紙カセットが正しく セットされていません。	用紙を補給するか、用紙カセットを正し くセットしなおしてください。
#0012	相手機の記録紙がなくなったため送信 できませんでした。	相手先に用紙を補給してもらうよう連 絡してください。
#0018	リダイヤルしても応答がありませんで した。相手先が通話中などで応答がな かったため送信できませんでした。	しばらく待ってからもう一度やりなお してみてください。それでも送信できな い場合は、相手先のファクスの電源が 入っているかどうか確認してもらって ください。相手先が通話中の場合は、時 間をおいてから送信しなおしてみてく ださい。
#0037	メモリがいっぱいです。	メモリに保存されている原稿をプリン ト、送信、または削除してください。
#0703	メモリの画像領域がいっぱいになり、書 き込みできません。	 他の送信ジョブが終了するまでしば らく待ち、もう一度送信してみてくだ さい。 メモリに保存されている文書を削除 してください。それでも正常に動作し ない場合は、本製品の主電源を入れな おしてください。
#0705	<システム管理設定>の<通信管理設 定>にある<電子メール/ ファクス> の<データサイズ上限値>で設定した 画像データサイズが送信データサイズ 上限値よりも大きいため、送信処理を中 断しました。	 ・送信データサイズ上限値を設定しなおしてください。 ・低解像度を選択してください。 ・読み取り時に<ページごとに分割>を<する>に設定してください。
#0751	サーバは正常に動作していません。ネッ トワークはダウンしています(サーバは ネットワークに接続できないか、接続が 切断されました。)	 宛先のアドレスを確認してください。 ネットワークが正常に動作している か確認してください。

エラーコード	原因	処置
#0752	 電子メール/IファクスのSMTPサー バ名の設定が間違っているか、サーバ が立ち上がっていません。 	 ・ くシステム管理設定>のくネット ワーク設定>にあるく電子メール/ I ファクス>で SMTP サーバ名、ドメ イン名、電子メールアドレスの設定を 確認してください。
	 ・ トメイン名、電子メールアトレスの設定がされていません。 ・ ネットワークが切れています。 	 SMTP サーハか正常に動作している か確認してください。 ネットワークの状態を確認してくだ さい。
	・ 原稿をカラーで電子メール送信する ときに、何らかのエラーが発生した。	 ネットワークの状態や設定を確認する前に、何度か送信をやりなおしてください。
#0753	電子メールの送信時に TCP/IP でのエ ラーが発生しました。(Socket、Select エラー等)	ネットワークケーブルとコネクタの状 態を確認してください。それでも正常に 動作しない場合は、本製品の主電源を入 れなおしてください。
#0755	・ TCP/IPが正しく動作していないため 送信できません。	・ くシステム管理設定>の<ネット ワーク設定>にある <tcp ip設定=""> を確認こてください。</tcp>
	 ・ IP アドレスか設定されていません。 ・ 本製品立ち上げ時、DHCP、RARP、 	 ・ くシステム管理設定 > のくネット ワーク設定>にある<tcp ip設定=""> を確認してください。</tcp> ・ くシステム管理設定 > のくネット
	BOOTP のいずれかで IP アドレス割 り当てが行われていません。	ワーク設定>にある <tcp ip設定=""> を確認してください。または、しばら く待ってからもう一度送信してみて ください。</tcp>
#0801	 ・電子メールの送信のため SMTP サー バとの通信をしている際に、メール サーバ側の要因でタイムアウトエ ラーが発生しました。 	 SMTP が正常に動作しているか確認 してください。ネットワークの状態を 確認してください。
	 SMTP 接続中に SMTP サーバからエ ラーが返ってきました。宛先の設定が 正しくありません。ファイルサーバへ 送信しているときに、サーバ側の要因 でエラーが発生しました。 	 SMTP が正常に動作しているか確認 してください。ネットワークの状態を 確認してください。宛先の設定を確認 してください。ファイルサーバの状態 や設定内容を確認してください。
#0802	 ・ くシステム管理設定>のくネット ワーク設定>にあるく電子メール/I ファクス>で SMTP サーバ名の設定 が間違っています。 	・ SMTP サーバ名の設定を確認してく ださい。
	 ・ くシステム管理設定>の<ネット ワーク設定>にある<tcp ip設定=""> の< DNS 設定>で DNS サーバ名の 設定が間違っています。</tcp> 	・ DNS サーバ名の設定を確認してくだ さい。
	・ DNS サーバとの接続ができませんで した。	 DNS サーバが正常に動作しているか 確認してください。

エラーコード	原因	処置
#0804	フォルダへのアクセス権がありません。	サーバ側でフォルダへのアクセスを許 可するように設定してください。
#0806	 ファイルサーバ送信時に指定された ユーザ名あるいはパスワードが間 違っています。 ・ 電子メール送信時に指定した宛先が 	 宛先のユーザ名あるいはパスワード を変更してください。 電子メールの宛先を確認してくださ
#0808	間違っています。 ・ 本製品が FTP サーバと通信している ときにタイムアウトエラーが発生し ました。 ・ 接続時に FTP サーバからエラーが発 生しました。宛先が正しくありませ ん。通信しているときにサーバ側でエ ラーが発生しました。	 い。 FTP サーバが正常に動作しているか 確認してください。ネットワーク状態 を確認してください。。 FTP サーバが正常に動作しているか 確認してください。ネットワーク状態 を確認してください。宛先の設定を確 認してください。ファイルサーバの状 態や設定を確認してください。。
#0810	 POPサーバとの接続中にPOPサーバ からエラーが返ってきました。 POP サーバとの接続中にサーバ側の 要因でタイムアウトエラーが発生し ました。 	<システム管理設定>の<ネットワー ク設定>にある<電子メール/Iファク ス>で POP サーバ名の設定を確認して ください。POP サーバの動作確認をし てください。ネットワークの状態を確認 してください。
#0812	POP パスワードの設定が間違っていま す。	<システム管理設定>の<ネットワー ク設定>にある<電子メール/ ファク ス>で POP パスワードの設定を確認し てください。
#0813	POP サーバ名の設定が間違っています。	<システム管理設定>の<ネットワー ク設定>にある<電子メール/ ファク ス>で POP サーバ名の設定を確認して ください。
#0819	扱えないデータを受信しました。(MIME 情報が不正です。)	設定を確認して、送信しなおしてもらっ てください。
#0820	扱 え な い デ ー タ を 受 信 し ま し た。 (BASE64 または uuencode が不正で す。)	設定を確認して、送信しなおしてもらっ てください。
#0821	扱えないデータを受信しました。(TIFF 解析エラーが発生しました。)	設定を確認して、送信しなおしてもらっ てください。
#0827	扱えないデータを受信しました。(サ ポート外の MIME 情報があります。)	設定を確認して、送信しなおしてもらっ てください。
#0828	HTML のデータを受信しました。	HTML 以外の形式で送信しなおしても らってください。

困ったときには

エラーコード	原因	処置
#0829	メモリの許容量を超えるデータを受信 しました。	メモリに受信した原稿をプリントし、も うー度未受信のデータを送信しなおし てもらうよう相手先に連絡してくださ い。
#0839	SMTP 認証で使用するユーザ名とパス ワード設定が間違っています。	< SMTP 認証>で設定されているユー ザ名とパスワードを確認してください。 (→システム管理設定:P.12-23)

く正しい用紙をセット>と表示された場合

<用紙設定>メニューの<カセット1>または<手差しトレイ>に設定されている用紙サイズ と、用紙カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙サイズが異なる場合に表示され るメッセージです。このメッセージが表示された場合は、<用紙設定>メニューに設定されて いるサイズの用紙をセットするか、<用紙設定>メニューに設定されているサイズをセットさ れている用紙サイズに合わせて変更してください。

🥒 🗶

プリントジョブの場合は、本製品ではなくコンピュータ側で用紙サイズを指定してください。

用紙をセットしなおす

1 ディスプレイに表示されている用紙サイズをセットしなおします。

用紙をセットしなおすと、自動的にプリントが再開されます。

用紙サイズ設定を変更する



- 1 [初期設定/登録]を押します。
- **2** [◀–] または [+▶] を押して<用紙設定>を選択し、[OK] を押します。
- **3** [◀—]または [+▶]を押して<カセット>または<手差しトレイ>を選択し、[OK] を押します。
- **4** [◀—] または [+▶] を押して<用紙サイズ>を選択し、[OK] を押します。
 - [◀━] または [**+**▶] を押してセットされている用紙のサイズを選択し、[OK] を押 します。
- 6 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。 ファクスジョブの場合は、手順7に進んでください。 コピージョブまたはレポート/リストジョブの場合は、手順8に進んでください。
- 7 [OK] を押してジョブを再開します。

これで操作は完了です。

8 [システムモニタ] を押してジョブを中止します。

コピージョブの場合は、[ストップ]を押してジョブを中止することもできます。 コピージョブ中止操作の詳細については、「コピー状況を確認/削除する」(→ P.3-16)を参照してください。 レポート/リストジョブ中止操作の詳細については、操作ガイド(本体編)「第 11 章 付録」「レポート状況 を確認/削除する」を参照してください。 これでジョブ再開の準備は完了です。

5

·般的なトラブル

電源が入らない



エラーランプが点滅する

Q

本製品に用紙が正しくセットされていますか?用紙カセットまたは手差しトレ イに用紙がありますか?

- A 紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。(→用紙がつまったときには:P.11-1)用紙カセットまたは手差しトレイに用紙がない場合は、用紙を補給してください。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」)
- A 紙づまりが起きていない場合や用紙が用紙カセットまたは手差しトレイにセッ トされている場合は、本製品の主電源スイッチをオフにし、10秒以上待ってか らスイッチをオンにしてください。問題が解決するとエラーランプが消え、ディ スプレイは待受画面に戻ります。エラーランプが点滅したままの場合は、電源 コードを抜き、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターに ご連絡ください。

ディスプレイに何も表示されない

 Q
 電源コードは確実に差し込まれていますか?

 A
 電源コードが、本製品とコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。本製品が電源タップに接続されている場合は、電源タップがコンセントに接続され、スイッチが入っているか確認してください。

困ったときには



給紙のトラブル

正常に給紙されない



用紙が重なって送られる

Q	用紙は正しくセットされていますか?
А	用紙が正しくセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド 「本製品のセットアップ」「用紙をセットする」)
Q	用紙を入れすぎていませんか?
А	用紙の枚数が適切か確認してください。(→使用可能な用紙:P.2-5)
Q	セットされた用紙は1種類だけですか?
Q A	セットされた用紙は 1 種類だけですか? 1 種類の用紙のみをセットしてください。
Q A A	セットされた用紙は 1 種類だけですか? 1 種類の用紙のみをセットしてください。 本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用 紙:P.2-5)

紙づまりが繰り返し起こる

Q	正しい用紙がセットされていますか?
А	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用 紙:P.2-5)

送信時のトラブル

電子メール/|ファクス/ファイルサーバ送信ができない



ファクスが送信できない	
Q	主電源スイッチを入れたばかりですか?
А	原稿の読み込みができる状態になるまで、しばらくお待ちください。
Q	電話回線の種類(ダイヤル/プッシュ)は正しく設定されていますか?
A	電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。(→スタートアッ プガイド「ファクス送信の設定」「電話回線の種類を手動で設定する場合」)
Q	ファクスモードになっていますか?
A	[ファクス/送信]を繰り返し押して<ファクス>を選択し、[OK]を押してく ださい。
Q	原稿は正しくセットされていますか?
А	原稿が正しくセットされているか確認してください。(→原稿をセットする: P.2-3)
А	操作パネル部と後ろカバーが確実に閉じられていることを確認してください。 (→本体内部につまった用紙を取り除く:P.11-3)
Q	入力したワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号は正しく登録されて いますか?
A	ワンタッチダイヤルキーまたは短縮ダイヤル番号が正しく登録されているか確 認してください。(→宛先を指定する:P.4-30)
Q	正しい番号にダイヤルしましたか?
Α	番号が正しいか確認してください。
Q	スリープモードになっていませんか?
A	スリープモードでは原稿は読み込まれません。スリープモードを解除するには、 操作パネルの[節電]を押してください。
Q	相手機の記録紙がなくなっていませんか?
А	記録紙がなくなっていないか、相手先に確認してください。



Α

Q

Α

Q

Α

Q

Α

Q

Α

Q

Α

メモリから別の原稿を送信中ではありませんか?

送信が終わるまでお待ちください。

通信中にエラーが発生しませんでしたか?

操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認して ください。(→ディスプレイの表示:P.11-5)

通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してくださ い。(→通信管理レポート:P.12-43)

電話線は正しく接続されていますか?

電話線が正しく接続されているか確認してください。(→スタートアップガイド 「本製品のセットアップ」「電話回線を接続する」)

電話回線は正常ですか?

[オンフック]を押したとき、または本製品に接続されている外付け電話機の受 話器を取ったときに、発信音が聞こえるか確認してください。発信音がない場 合は、お近くの電話会社にお問い合わせください。

相手機は G3 機ですか?

相手機が本製品と互換性があるか確認してください。

エラー送信レポートに「話し中でした」と表示されていますか?

相手機が通話中です。しばらくしてからもう一度送信してみてください。

相手機が 35 秒以内に応答しましたか?

相手先に連絡して、ファクスを確認してもらってください。海外へ送信する場合は、登録した番号にポーズを挿入してください。(→海外にファクスを送る (ポーズの挿入): P.4-62)



Α

実行/メモリランプが点滅していますか?

外付け電話機が使用中です。外付け電話機の通話が終了するまでお待ちください。



送信しようとするとメモリがすぐにいっぱいになる

Q	<スーパーファイン>または<ウルトラファイン>で送信していませんか?
A	画質(解像度)を高く保ちたい場合は、原稿を分割して、各部分を別べつに送 信してください。
А	細かい文字や写真のある原稿の場合は、メモリ送信を使わずに手動で送信して ください。
А	細かい文字や写真のない原稿の場合は、画質(解像度)を<標準>に設定して 送信してください。
Q	メモリ残量が少なくなっていませんか?
А	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。

送信したファクスに汚れがある



送信したファクスが相手側で縮小して受信される



相手の受信原稿が薄い
 Q 濃度が<薄く>側に設定されていますか?
 A 濃度を<濃く>側に設定します。(→濃度を調節する: P.4-5)
 Q 読み取りエリアはきれいですか?
 A 読み取りエリアがきれいか確認してください。(→日常のお手入れ: P.10-1)

送信速度が遅い





困ったときには

受信時のトラブル



電話とファクスが自動的に切り替わらない

Q	電話とファクスが自動的に切り替わるよう設定されていますか?
A	自動的に切り替えるには、受信モードを< FAX/TEL >または<留守 TEL >に 設定する必要があります。<留守 TEL >に設定してある場合は、留守番電話機 が本製品に接続され、応答メッセージが適切に録音された状態で電源が入って いるか確認してください。(→受信する:P.5-1)
Q	メモリ残量が少なくなっていませんか?
А	メモリ内に蓄積されているジョブをプリント、送信、または削除してください。
Q	受信中にエラーが発生しましたか?
А	操作パネルのディスプレイにエラーメッセージが表示されていないか確認して ください。(→ディスプレイの表示:P.11-5)
А	通信管理レポートをプリントして、エラーが発生していないか確認してくださ い。(→通信管理レポート:P.12-43)
Q	用紙はセットしてありますか?
Α	用紙がセットされているか確認してください。(→スタートアップガイド「本製 品のセットアップ」「用紙をセットする」)
Q	相手機は、受信信号がファクスであることを本製品に知らせる切替信号を送信 できますか?
А	この機能に対応していないファクス機もあります。 対応していない場合は、 ファ クスは手動で受信してください。
手動受信できない	
Q	手動受信に設定されていますか?
А	受信モードを<手動>に設定してください。(→受信する:P.5-1)
А	受信モードが<手動>に設定していても、<自動受信切替>を< ON >に設定

しているとファクスを自動で受信します。(→送信/受信仕様設定:P.12-7)



困ったときには





きれいにプリントできない



プリントできない	
Q	トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか?
А	トナーカートリッジのシーリングテープが外されているか確認してください。 (→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセッ トする」)
Q	カートリッジは正しくセットされていますか?
A	トナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。(→スター トアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットする」)
Q	トナーが少なくなっていませんか?
A	受信した原稿をトナーカートリッジの交換をせずにプリントする場合は、<送信 /受信仕様設定>→<共通設定>→<受信機能設定>で<印字継続>を<継続 する>に設定してください。トナーが少なくなってもプリントし続けます。この 場合、トナーが完全になくなっても、原稿はメモリに蓄積されません。新しいト ナーカートリッジをセットし、<印字継続>を<継続しない>に設定し直してく ださい。
Q	カートリッジにトナーは残っていますか?
Α	トナーカートリッジを交換してください。(→トナーカートリッジの交換: P.10-10)
Q	正しい用紙がセットされていますか?
A	本製品に適した用紙がセットされているか確認してください。(→使用可能な用 紙:P.2-5)
Α	<用紙設定>メニューの設定内容を変更してください。(→用紙のサイズと種類 を設定する:P.2-11)
画像に汚点またはムラがある	
Q	< ECM 受信>を< ON >に設定していますか?

ECM(エラー訂正モード)を使えばこのような問題は解消されます。ただし、 電話回線の状態が悪い場合は、再度受信しなければならないこともあります。相 手先に連絡して、再送信してもらってください。

Α



困ったときには



受信した原稿の一部が欠けている



A 送信側のファクスが ECM に対応していない場合は、エラー訂正をしない通常 モードで原稿が受信されます。



情報サービスからファクスを受信できない



受信中にエラーが頻発する

Q	電話回線の状態は良好ですか?確実に接続されていますか?
А	電子レンジなど、電磁波を発生する機器が近くにないか確認してください。
А	受信速度を下げてください。(→システム管理設定:P.12-23)
Q	相手機は正常に動作していますか?
А	相手機が正常に動作しているか、確認してもらってください。



受信したファクスを用紙の両面にプリントできない



コピーのトラブル

白紙が排出される

Q	トナーカートリッジにトナーは残っていますか?
A	ディスプレイにくトナー少(継続プリント可)/トナー準備して下さい>とい うメッセージが表示されている場合は、カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっ くりと振り、トナーを均一にならしてください。それでもメッセージが引き続 き表示されている場合は、トナーカートリッジを新しいトナーカートリッジに 交換してください。(→トナーカートリッジの交換:P.10-10)
Q	トナーカートリッジは正しくセットされていますか?
A	トナーカートリッジが正しくセットされていることを確認してください。(→ス タートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジをセットす る」)
Q	トナーカートリッジのシーリングテープは外しましたか?
A	トナーカートリッジのシーリングテープが外されていることを確認してくださ い。(→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「トナーカートリッジ をセットする」)
印字が薄い、印字ムラが出る	
Q	トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていませんか?
А	トナーが少なくなっていたり、片寄ったりしていると、薄くなったりムラにな ることがあります。 カートリッジを取りぬして5~6回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてく

カートリッジを取り外して 5、6 回ゆっくりと振り、トナーを均一にならしてく ださい。問題が解決しない場合は、カートリッジを交換してください。(→ト ナーカートリッジの交換:P.10-10)




コピーの質が良くない



А	横原稿で両面コピーした場合、<左右開き>のときは上下開き、<上下開き>
	のときは、左右開きでコピーされます。(→両面コピー:P.3-7)

コピー中にアラームが鳴る、またはディスプレイに<メモリがいっぱいです>と表示される

Q メモリがいっぱいになっていませんか?	
----------------------	--

A メモリ残量を確認してください。(→メモリ残量を確認する:P.12-51)

電話のトラブル

ダイヤルできない



電話回線の種類が正しく設定されているか確認してください。(→スタートアッ プガイド「ファクス送信の設定」「電話回線の種類を手動で設定する場合」)

通話中に電話が切れる



電話が通じない、または間違った番号にかかる



電力供給が止まったら

突然停電が起きたり、電源コードが抜けた場合でも、内蔵バッテリによりユーザデータ設定内 容やスピードダイヤルの登録内容は記憶されています。メモリ内に蓄積されたジョブは、約3 時間保存されます。

電力供給が止まっている間の機能は、以下のように制限されます。

- ・ 送受信、コピー、スキャン、プリントはできません。
- 外付け電話機を使っての電話はかけられないことがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。
- 外付け電話機を使って電話を受けられることがあります。ただし、お使いの電話機の種類によって異なります。

🥭 🗡 🖉

内蔵バッテリを完全に充電するには主電源を入れてから約 14 時間かかります。充電が不十分だとメモリ内にデータが きちんと保存されない場合があります。

トラブルが解決しない場合

本章の説明を参照してもトラブルが解決しない場合は、お近くのキヤノン販売店またはキヤノ ンお客様相談センター(巻末参照)にご連絡ください。

ご連絡の際には、以下をお手元にご用意ください。

- ・ 製品名(Canofax L1000)
- ・ シリアル番号(本体裏面のラベルに記載されています)
- ・購入先
- ・トラブルの内容
- トラブルにどのような対処をされたか、およびその結果

1 注意

本製品から変な音がしたり、煙が出たり変なにおいがする場合は、すぐに主電源スイッチを切り、電源コードをコン セントから抜いて、お近くのキヤノン販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解し たり、修理したりしないでください。

🧭 🗡 🖉

ご自分で分解修理した場合、保証の対象外になることがあります。



各種機能を登録/設定する

設定メニューから機能内容を設定/変更することができます。現在の設定内容を確認するに は、ユーザデータリストをプリントしてください。

ユーザデータリストをプリントする



[初期設定/登録]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<レポート出力>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<リストプリント>を選択し、[OK]を押します。
 [◄-]または [+▶]を押して<ユーザデータリスト>を選択し、[OK]を押します。



5 <プリントしますか?>のメッセージが表示されたら、[◀—]を押して<はい>を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。 プリントを中止する場合は、[**+**▶]を押してくいいえ>を選択します。



[初期設定/登録]を押します。
 [◄-]または[+▶]を押してメニューを選択し、[OK]を押します。
 < (日紙設定)</p>
 < < 音量調整>
 < < 共通仕様設定>
 < < □ピー仕様設定>
 < < 20 ピー仕様設定>
 < < 20 ピー仕様設定>
 < > < 20 ピー仕様設定>
 < < 20 ピー仕様設定>
 < < 20 ピー仕様設定>
 < < 20 ピーせ様設定>
 < < 20 ピーせ様設定>
 < < 20 ピービャー・</p>
 < < 20 ピービャー・</p>

 <p

- <プリンタ仕様設定> <タイマー設定> <調整/クリーニング>
- く調金/クリーニング くレポート出力>
- くシステム管理設定>

【**◀**━】または【**+**▶】を押してサブメニューを選択し、[OK] を押します。

🖉 🗶

サブメニューの詳細は「メニューの設定内容」(→ P.12-4)を参照してください。

設定内容を登録するか、サブメニュー項目に進む場合は、[OK]を押します。

終了したら、[ストップ]を押して待受画面に戻ります。

🥭 🗡

- ・ [OK] の前に [ストップ] を押した場合は、設定内容は保存されません。
- ・ [初期設定/登録]を押して直前の画面に戻ります。

3

4

メニューの設定内容

以下の項目を設定できます。

🧭 🗶

以下、表中の太字は工場出荷時の設定です。

用紙設定	
設定項目	設定内容
1 カセット 1 カセット 2*	用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 (→用紙のサイズと種類を設定する:P.2-11)
1. 用紙サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 (A4 、LTR、LGL)
2. 用紙種類の登録	
2 手差しトレイ	手差しトレイにセットした用紙のサイズと種類を選択します。 (→用紙のサイズと種類を設定する:P.2-11)
1. 用紙サイズ	用紙カセットにセットした用紙のサイズを選択します。 (A4 、B5、A5R 、EXEC、洋形 4 号、洋形 2 号、ハガキ、往復 ハガキ、4 面ハガキ、OFICIO、BRAZIL- OFICIO 、MEXICO- OFICIO 、FOLIO、G-LTR、G-LGL、FLSP、LTR、LGL、ユーザ 設定(カスタム))
2. 用紙種類の登録	用紙カセットで使用する用紙の種類を選択します。 (普通紙 、色紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィル ム、ラベル用紙、ハガキ、4面ハガキ、封筒)

*オプションのカセットをお使いの場合のみ

音量調整		
設定項目	設定内容	
1 通信音	ファクス送信中の通信音を設定します。 ・ 鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない	
2 入力音	操作パネルキーの入力音を設定します。 ・ 鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない	
3 警告音	送信失敗などのエラーが起きたときの警告音を設定します。 ・ 鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない	

各種機能の登録/設定

音量調整

4 送信終了音	送信終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない ・ 鳴らす(1 ~ 3)
5 受信終了音	受信終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない ・ 鳴らす(1 ~ 3)
6 読取終了音	読み取り終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない ・ 鳴らす(1 ~ 3)
7 プリント終了音	プリント終了音を設定します。 ・ エラー時のみ鳴らす (1 ~ 3(1)) ・ 鳴らさない ・ 鳴らす(1 ~ 3)

共通仕様設定	
設定項目	設定内容
1 トナーセーブモード	トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON [*] この機能は、プリントジョブについては無効になります。プリン トジョブの設定については、「プリンタ仕様設定 **」(→ P.12-19) を参照してください。
2 プリンタ濃度の選択	原稿とプリントの間で濃度が異なる場合、濃度レベルを調整します。(1~9(5)) *この機能は、プリントジョブについては無効になります。プリン トジョブの設定については、「プリンタ仕様設定 **」(→ P.12-19) を参照してください。
3 カセットオート選択	ジョブの処理中に用紙が切れた場合、同じサイズの用紙がセット されている別の給紙元から給紙するかどうかを設定します。
1.コピー	コピージョブに対して、カセットオート選択機能を有効にするか どうかを設定します。 ・ 1 . カセット 1 (ON / OFF) ・ 2 . カセット 2 (ON / OFF) * ・ 3 . 手差しトレイ (OFF ∕ ON)
2. プリンタ **	プリントジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にする かどうかを設定します。 ・ 1 . カセット 1 (ON / OFF) ・ 2 . カセット 2 (ON / OFF) *

共通仕様設定	
3. ファクス(受信)	ファクスジョブに対して、カセットオート選択機能を有効にする かどうかを設定します。 ・ 1 . カセット 1 (ON / OFF) ・ 2 . カセット 2 (ON / OFF) * ・ 3 . 手差しトレイ (OFF / ON)
4. その他	レポートまたはリストのジョブに対して、カセットオート選択機 能を有効にするかどうかを設定します。 ・ 1 . カセット 1 (ON / OFF) ・ 2 . カセット 2 (ON / OFF) * ・ 3 . 手差しトレイ (OFF / ON)
4 スリープ時の消費電力	スリープモード時の消費電力を 2 つのレベルから選択します。 ・ 低 (<受信モード選択>が<自動>に設定されていない場合の み有効) ・ 高
5 フィーダ汚れエラー表示	ADF が汚れている場合にメッセージを表示するかどうかを設定し ます。 ・ 表示する ・ 表示しない
6 共通設定の初期化	<共通仕様設定>をすべて初期値に戻します。 [◀–]を押してくはい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、[+►]を押してくいいえ>を選択しま す。

* オプションのカセットをお使いの場合のみ

** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ

コピー仕様設定	
設定項目	設定内容
1 自動変倍	原稿を自動的に拡大/縮小してコピーするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2 コピー濃度選択	コピー濃度を設定します。(1 ~ 9(5))
3 ソート	コピーを自動でソートするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
4 標準モードの変更	コピーの初期値を設定します。
1. 画質	コピーする原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真

各種機能の登録/設定

コピー仕様設定	
2. 濃度	コピー濃度を設定します。 ・ 標準 ・ 濃く ・ 薄く
3. 部数	コピーの部数を設定します。(1 ~ 99(1))
4. 両面	自動的に両面コピーするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ 片面 > 両面 ・ 両面 > 両面 ・ 両面 > 片面
5. 用紙選択	コピー時の給紙方法を設定します。 ・ カセット1 ・ カセット 2*
5 シャープネス	コピーした画像のシャープネス(鮮明度)を調整します。(1 ~ 9 (5))
6 サイズ系列	用紙サイズグループを選択します。 [*] ・ AB ・ インチ ・ A
7 コピー設定の初期化	<コピー仕様設定>をすべて初期値に戻します。 [◀–] を押してくはい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、[+►] を押してくいいえ>を選択しま す。

*オプションのカセットをお使いの場合のみ

送信/受信仕様設定		
設定項目	設定内容	
1 共通設定	送信および受信機能全般の設定をします。	
1.送信機能設定	送信機能を設定します。	
1. ユーザ略称の登録	発信元のユーザ名/会社名を登録します。(→スタートアップガイ ド「ファクス送信の設定」「発信元の情報を登録する」)	
2. データ圧縮率 ***	カラーで読み込んだ画像を送信する際の圧縮率を設定します。圧 縮率を高くすると文書のメモリ使用量は少なくなりますが低画質 になります。圧縮率を低くすると文書のメモリ使用量は多くなり ますが高画質になります。 ・ 普通 ・ 高圧縮 ・ 低圧縮	

送信/受信仕様設定	
3. リトライ回数 ***	電子メール、Iファクスまたはファイルサーバにジョブを送信する のに、何回リトライするかを設定します。(0 回~ 5 回(3 回)) (→操作ガイド(総合編)> 送受信する > 送信機能をお好みに応 じて調整する)
4. 読取濃度	送信する原稿の読み取り濃度を設定します。(1 ~ 9(5))
5. 標準モードの変更	送信の初期値を設定します。
1. 読取濃度	送信する画像の濃度を設定します。 ・ 標準 ・ 濃 ・ 薄
2. 解像度	送信する画像の解像度を設定します。 (200 × 200dpi 、200 × 400dpi、300 × 300dpi、 400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、 150 × 150dpi、200 × 100dpi)
3. ファイル形式 ***	送信する画像のファイル形式を設定します。 • PDF • TIFF • PDF(高圧縮) • JPEG
4. 原稿の種類 ***	送信する原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真
5. ページごとに分割 ***	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
6. ダイレクト送信	<ダイレクト送信>を初期設定にするかどうかを選択します。 ・ OFF ・ ON
7. 済スタンプ	<済スタンプ>を初期設定にするかどうかを選択します。 ・ OFF ・ ON
6. 送信設定 ***	電子メール/Iファクス/ファイルサーバに送信する画像の詳細を 設定します。
1. 送信ファイル名	電子メール/I ファクス/ファイルサーバに送信する画像の名前 (スペースを含め最大 24 文字)を設定します。
2. 件名	電子メール/I ファクスの件名(スペースを含め最大 40 文字)を 設定します。
3. 本文	電子メール/I ファクス/ファイルサーバの本文(スペースを含 め最大 140 文字)を設定します。

各種機能の登録/設定

送信/受信仕様設定		
4. 返信先	電子メール/I ファクスの返信先 (スペースを含め最大 120 文字) を設定します。	
5. 電子メールの重要度	電子メールの重要度を設定します。 ・ 普通 ・ 低 ・ 高	
7. 発信元記録	発信元の情報を設定します。 ・ つける ・ つけない	
1. 印字位置	発信元情報を原稿内のどこに印刷するかを設定します。 ・ 画像の外につける ・ 画像の中につける	
2. 電話番号マーク	発信元情報内の番号の前に付ける文字を選択します。 ・ FAX ・ TEL	
8. カラー送信のガンマ値 ***	カラーで読み込んだ画像を送信する際のガンマ値を設定します。 受信側に合わせたガンマ値で送信すると、受信側は適切な濃度で プリントすることができます。 (ア1.8 、ア2.2、ア1.0、ア1.4)	
9. シャープネス ***	スキャンした画像のコントラストを設定します。(1 ~7(4))	
10.回転送信	画像を回転するかどうかを設定します(この設定はファクス送信 の場合のみ有効です)。 ・ ON ・ OFF	
11.標準モードの初期化	<送信機能設定>の<標準モードの変更>をすべて初期値に戻し ます。 [◀–]を押して<はい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、[+►]を押して<いいえ>を選択しま す。	
2. 受信機能設定	受信機能を設定します。	
1. カセット選択	受信した文書に対応する用紙サイズがない場合の印刷方法を設定 できます。	
1. スイッチ A	受信した文書を用紙 2 枚に分けてプリントします。用紙 2 枚を合わせると受信した文書と同じサイズになります。 ・ ON ・ OFF	
2. スイッチ B	受信した文書と同じ幅の用紙にプリントします。余白が空きます。 ・ ON ・ OFF	

送信/受信仕様設定	
2. 両面記録	受信画像を用紙の両面にプリントするかどうかを設定します。(→ 操作ガイド(総合編)> 送受信する > 両面印刷) ・ OFF ・ ON
3. 画像縮小	受信画像を縮小してプリントするかどうかを設定します。(→操作 ガイド(総合編)> 送受信する > 受信画像の縮小) ・ ON ・ OFF
1. 縮小モード	縮小モードを選択します。 ・ 自動 ・ 固定(90%、95%、97%、75%)
2. 縮小方向	縮小方向を選択します。 ・ 縦のみ ・ 縦横
4. 受信情報記録	ファクス番号など送信者の情報を、受信した文書に印字するかど うかを設定します。 ・ OFF ・ ON
5. 印字継続	<トナー少 (継続プリント可) /トナーを準備して下さい>のメッ セージが表示された場合に印字を継続するかどうかの設定をしま す。 ・ 継続しない:すべての原稿はメモリに保存されます。 ・継続する:トナー切れでも、原稿はメモリに保存されません。 トナーカートリッジを交換したあと、<継続しない>に設定し なおしてください。
2 ファクス設定	ファクス機能を設定します。
1.受信モード	受信モードを選択します。(→スタートアップガイド「ファクス受 信の設定」「受信モードを設定する」) ・ 自動 ・ FAX/TEL ・ 留守 TEL ・ 手動
2. 基本登録	ファクスの基本機能を設定します。
1. ユーザ電話番号登録	お使いのファクス番号 (スペースを含め最大 20 文字) を登録しま す。(→スタートアップガイド「ファクス送信の設定」「発信元の 情報を登録する」)
2. 回線種類の選択	電話回線の種類を選択します。
自動	電話回線の種類を自動で設定します。

送信/受信仕様設定	
手動	電話回線の種類を手動で選択します。(→スタートアップガイド 「本製品のセットアップ」「電話回線の種類を手動で設定する場 合」) ・ プッシュ回線 ・ ダイヤル回線(20PPS、10PPS)
3. オフフックアラーム	外付け電話機の受話器が外れている場合に警告音を鳴らすかどう かを設定します。 ・ 鳴らす ・ 鳴らさない
3. 送信機能設定	送信機能を設定します。
1. ECM 送信	ECM(エラー訂正モード)送信をするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. ポーズ時間セット	ダイヤルに挿入するポーズの長さを設定します。(1 秒~ 15 秒(2 秒))
3. 自動リダイヤル	相手先が話し中、または送信エラーが起きた場合、自動的にリダ イヤルするかどうかを設定します。(→操作ガイド(総合編)>送 受信する > 自動リダイヤルを設定する(ファクス送信)) ・ ON ・ OFF
1. リダイヤル回数	何回リダイヤルするかを設定します。(1 回~ 10 回(2 回))
2. リダイヤル間隔	リダイヤルまでの時間を設定します。(2 分~ 99 分(2 分))
3. 送信エラー時リダイ ヤル	送信エラーが起きた場合、自動的にリダイヤルするかどうかを設 定します。 • ON • OFF
4. ダイヤルタイムアウト	ファクス番号を入力したあと、自動的に原稿を読み込むかどうか を設定します。 テンキーでダイヤルした場合は、この機能は使用できません。 • OFF • ON
5. 済スタンプ	済スタンプを押すタイミングを設定します(オプションのセンド キットを装着している場合、この設定はファクス、Iファクス、電 子メール、ファイルサーバ送信の際に有効になります)。 ・ 読込終了時 ・ 通信終了時

送信/受信仕様設定	
6. ダイヤル時回線確認	ダイヤル時に回線確認するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
4.受信機能設定	受信機能を設定します。
1. ECM 受信	ECM(エラー訂正モード)受信をするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. ファクス /TEL 詳細設 定	<ファクス/ TEL >モードの詳細項目を設定します。(→操作ガ イド(総合編)> 送受信する > ファクス/ TEL 詳細設定)
1. 呼出開始時間	着信に応答してから呼出音を鳴らすまでの時間を設定します。(0 秒〜 30 秒(6 秒))
2. 呼出時間	音声通話の場合に、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。(15 秒 ~ 300 秒(15 秒))
3. 呼出後の動作	呼び出し時間が経過したら受信モードに切り替えるか、通話を終 了するかを設定します。 ・ 受信 ・ 終了
3. 着信呼出	<受信モード>が<自動>または< FAX/TEL >に設定されてい る場合、ファクス受信時に外付け電話機の呼出音を鳴らして電話 に応答できるようにするかどうかを設定します。 ・ OFF:ファクスを受信しても呼び出し音は鳴りません。(スリー プモードに入っているときに、外付け電話機が鳴る場合があり ます。) ・ ON:外付け電話機が接続されている場合は、ファクス受信時に 呼出音を鳴らします。
1. 呼出回数	本製品が応答するまでの着信呼び出し音の回数を設定します。(1 回~ 99 回(2 回))
4. リモート受信	リモート受信するかどうかを設定します。(→操作ガイド (総合編) > 送受信する > リモート受信 ID を登録する) ・ ON ・ OFF
1. リモート受信 ID	外付け電話機から ID 番号をダイヤルして受信を開始することがで きます。 0~ 9、*、# を使用した 2 桁の ID が設定できます。(25)
5. 自動受信切替	手動受信で、外付け電話機が指定された時間呼び出し音を鳴らし たあとに、自動受信に切り替えるかどうかを設定します。 ・ OFF:外付け電話機は、受話器を取るまで鳴り続けます。 ・ ON:指定時間呼出音が鳴ったあと、受信モードに切り替わりま す。
1. 呼出時間	受信モードに切り替わるまでの時間を設定します。(1 秒〜 99 秒 (15 秒))

送信/受信仕様設定	
6. DM 制限	送信者情報にファクス・電話番号が入っていない送信元からの ファクスを拒否できます。 ・ OFF:すべてのファクスを受信します。 ・ ON:送信端末識別の信号がある送信元からのファクスのみ受信 します。

*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

宛先表仕様設定	
設定項目	設定内容
1 定型業務ボタン ***	定型業務ボタンの情報を登録します。4 件まで登録できます。(→ 定型業務ボタンを登録する:P.4-21)
1.ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号(スペースを含め最大 120 桁)を登録しま す。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. 画質	画質を設定します。 ・ 標準 ・ ファイン ・ 写真 ・ スーパーファイン ・ ウルトラファイン
4. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ OFF ・ ON
1. ECM 通信	ECM(エラー訂正モード)通信をするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (33600bps , 14400bps, 9600bps, 4800bps)
3. 国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ 国内送信 ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 (→ファクス番号を登録する: P.4-21)

宛先表仕様設定	
2. 電子メール	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ PDF ・ TIFF ・ PDF(高圧縮) ・ JPEG
4. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
5. 画質	送信する画像の画質を設定します。 200 × 200dpi 、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
6. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真
3. IFAX	丨ファクスアドレスを登録します。
1.1ファクスアドレス	相手先の丨ファクスアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
4. 画質	送信する画像の画質を設定します。 200 × 200dpi 、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
5. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真
4. FTP	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前 (スペースを含め最大 16 文字) を登録します。

各種機能の登録〜設定

宛先表仕様設定	
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名(最大 24 文字)を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号(最大 24 文字)を登録し ます。
6. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ PDF ・ TIFF ・ PDF(高圧縮) ・ JPEG
7. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
8. 画質	送信する画像の画質を設定します。 200 × 200dpi 、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
9. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真
5. SMB	SMB サーバアドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前 (スペースを含め最大 16 文字) を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名(最大 24 文字)を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号(最大 14 文字)を登録し ます。
6. ファイル形式	送信する画像のファイル形式を設定します。 ・ PDF ・ TIFF ・ PDF(高圧縮) ・ JPEG
7. ページごとに分割	画像のファイルを分割して送信するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON

宛先表仕様設定	
8. 画質	送信する画像の画質を設定します。 200 × 200dpi 、200 × 400dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、600 × 600dpi、100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi
9. 原稿の種類	送信する原稿の種類を設定します。 ・ 文字/写真 ・ 文字 ・ 写真
2 ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルの情報を登録します。80 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する:P.4-10)
1.ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号(スペースを含め最大 120 桁)を登録しま す。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ OFF ・ ON
1. ECM 通信	ECM(エラー訂正モード)を使用するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (33600bps 、14400bps、9600bps、4800bps)
3. 国内/国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ 国内送信 ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 (→ファクス番号を登録する: P.4-10)
2. 電子メール ***	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. IFAX***	丨ファクスアドレスを登録します。
1. ファクスアドレス	相手先の I ファクスアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
4. FTP***	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。

宛先表仕様設定	
2. 名前	相手先に任意の名前 (スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名 (最大 24 文字) を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号 (最大 24 文字) を登録し ます。
5. SMB***	SMB アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前(スペースを含め最大16文字)を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名 (最大 24 文字) を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号 (最大 14 文字) を登録し ます。
3 短縮ダイヤル	短縮ダイヤルの情報を登録します。420 件まで登録できます。 (→ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集する:P.4-10)
1.ファクス	ファクス番号を登録します。
1. 電話番号	相手先のファクス番号(スペースを含め最大 120 桁)を登録しま す。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. 詳細設定	詳細設定をするかどうかの設定をします。 ・ OFF ・ ON
1. ECM 通信	ECM(エラー訂正モード)を使用するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. 送信スピード	送信速度を選択します。 (33600bps 、14400bps、9600bps、4800bps)
3. 国内/国際送信	送信する原稿のモードを選択します。 ・ 国内送信 ・ 国際送信 1 ・ 国際送信 2 ・ 国際送信 3 (→ファクス番号を登録する:P.4-10)
2. 電子メール ***	電子メールアドレスを登録します。
1. 電子メールアドレス	相手先の電子メールアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。

宛先表仕様設定	
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. IFAX***	「ファクスアドレスを登録します。
1.1ファクスアドレス	相手先の I ファクスアドレス(スペースを含め最大 120 桁)を登 録します。
2. 名前	相手先の名前(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
4. FTP***	FTP アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前 (スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名(最大 24 文字)を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号 (最大 24 文字) を登録し ます。
5. SMB***	SMB アドレスを登録します。
1. ホスト名	ファイルサーバのホスト名(最大 120 文字)を登録します。
2. 名前	相手先に任意の名前 (スペースを含め最大 16 文字)を登録します。
3. フォルダへのパス	ファイルサーバのパス(最大 120 文字)を登録します。
4. ユーザ名	ファイルサーバにアクセスするユーザ名(最大 24 文字)を登録し ます。
5. 暗証番号	ファイルサーバにアクセスする暗証番号 (最大 14 文字) を登録し ます。
4 グループダイヤル	グループダイヤルの情報を登録します。 499 件まで登録できます。 (→グループダイヤルを登録/編集する:P.4-24)
1.登録済み宛先選択	登録済みのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの中から、グループダイヤルとして登録する宛先を指定します。
2.名前	 グループ名(スペースを含め最大 16 文字)を登録します。

*** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

プリンタ仕様設定 **	
設定項目	設定内容
1 デフォルト用紙サイズ	給紙元が指定されていない場合の用紙サイズの初期値を設定しま す。 (A4 、B5、A5、LGL、LTR、EXEC、ハガキ、往復ハガキ、洋形 4 号、洋形 2 号、4 面ハガキ)
2 デフォルト用紙タイプ	プリントジョブの用紙種類の初期値を設定します。本製品には、指 定した用紙の種類に対して最適なプリントモードが設定できま す。 (普通紙、色紙、再生紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィル ム、ラベル用紙、ハガキ、4 面ハガキ、封筒)
3 コピー部数	プリントする部数を設定します。(1 ~ 999(1))
4 両面	両面プリントをするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
5 印字調整	プリントの画質、濃度、トナーセーブモードを設定します。
1.スーパースムーズ	輪郭が粗い画像や文字をスムーズにしてプリントするかどうかを 設定します。 ・ ON ・ OFF
2.トナー濃度	プリント濃度を調整します。(1 ~ 9(5))
3. トナー節約	プリント時にトナーを節約するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
6 ページレイアウト	プリントレイアウトを設定します。
1. とじ位置	両面印刷でのとじ位置を設定します。 ・ 長辺とじ ・ 短辺とじ
2.とじしろ	ページの余白をミリまたはインチで設定します。 ・ ミリ (-50.0 ミリ ~ 50.0 ミリ (0.0 ミリ)) ・ インチ(-01.90 インチ~ 01.90 インチ)
7 自動エラースキップ	エラーをスキップして自動的にプリントを継続するか設定できま す。 ・ OFF:エラーが発生したとき、メッセージを表示し、ジョブが キャンセルされるまでプリント機能を停止します。 ・ ON:エラーが発生したとき、スキップ可能なエラーの場合は自 動的にプリントを継続します。
8 7 - 2	

プリンタ仕様設定 **	
9 エラータイムアウト	コンピュータからデータが受信されない場合、エラーになるまで の時間を設定します。 ・ ON:(5 秒〜 300 秒(15 秒)) ・ OFF
10プリンタ設定の初期化	<プリンタ仕様設定>をすべて初期値に戻します。 [◀–] を押してくはい>を選択します。 初期値に戻さない場合は、[+►] を押してくいいえ>を選択しま す。
11プリンタリセット	処理中のプリントジョブをすべて取り消し、プリンタ機能をリ セットします。 [◀━]を押してくはい>を選択します。 リセットしない場合は、[+►]を押してくいいえ>を選択します。

** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ

タイマー設定	
設定項目	設定内容
1 日付/時刻設定	現在の日付と時刻を設定します。 (→スタートアップガイド「本製品のセットアップ」「日付/時刻 を設定する」)
2 タイムゾーン	本製品の設定場所のタイムゾーンを設定します。(GMT – 12:00 ~ GMT + 12:00(GMT + 9:00))
3 日付/時刻タイプ	日付/時刻タイプ日付の表示形式を設定します。 ・ YYYY MM/DD ・ MM/DD/YYYY ・ DD/MM YYYY
4 オートスリープタイム	本製品が一定時間(3 分~ 30 分)使用されない場合に、自動的に スリープモードに入るかどうかを設定します。 (→スリープモードを設定する:P.1-12) ・ ON: (3 分~ 30 分 (5 分)) ・ OFF
5 オートクリアタイム	オートクリア機能を設定します。本製品が一定時間(1分~9分) 使用されない場合に、自動的にディスプレイが待受画面に戻りま す。(→オートクリアタイムを設定する:P.1-14) ・ ON:(1分~9分(2分)) ・ OFF

各種機能の登録/設定

調整/クリーニング	
設定項目	設定内容
1 転写ローラのクリーニング	転写ローラをクリーニングします。(→転写ローラ:P.10-9)
2 定着器のクリーニング	定着器ローラをクリーニングします。(→定着器のお手入れ: P.10-4)
3 フィーダのクリーニング	ADF をクリーニングします。(→ ADF を自動的にクリーニングす る:P.10-8)
4 特殊モード M	印字の質を向上し、印字濃度のムラをなくします。印字の質の低 下や印字ムラがある場合は、転写出力が正しく機能していない可 能性があります。 ・ 標準:通常はこの設定を選択します。 ・ 低:高温多湿の場所で長期間保存していた用紙を使用すると起 きる印字の質の低下を補正します。 ・ 高: 厚紙を使うときに起きる質の低下を補正します。
5 特殊モード N	両面印刷の際に、用紙がカールしたり、つまったりするのを防ぎ ます。 • OFF • ON
6 特殊モード P	 薄紙や定着のノリが悪い紙、ムラが出やすい紙を使用する場合に 有効にします。 • OFF • ON
7 特殊モード Q	プリントした用紙に、白や黒の点が現れるのを防ぐかどうかを設 定します。 • OFF • ON
8 特殊モード R	しばらく本製品を使用しなかったあとにハーフトーン画像や写真 をプリントすると、プリントした最初のページに白いスジが現れ る場合があります。白いスジが現れるのを防ぐかどうかを設定し ます。 ・ OFF ・ ON
9 特殊モード S	 連続プリントした直後に用紙サイズを変更すると、変更後の用紙でのプリント開始まで、少し時間がかかる場合があります。次のプリントまでの待ち時間を短くするかどうかを設定します。 OFF スピード優先:待ち時間を短くし、スピードを優先してプリントします。ただし、前の画像が次のプリント面に写ってしまう場合があります。
10連続印刷特殊処理	写真やハーフトーンに設定して連続印刷中に、直前にプリントした用紙の後端跡が次の出力紙に現れることがあります。用紙の後端跡を防ぐかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON

各種機能の登録/設定

調整/クリーニング	
11用紙後端特殊処理	プリントした用紙が、出力されるときに跳ね上がり、用紙の後端 が汚れることがあります。用紙の後端が汚れるのを防ぐかどうか を設定します。 ・ OFF ・ ON
12大サイズ紙特殊処理	大型用紙へのトナーの定着を向上させるかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
13フィーダ汚れ自動補正	プリント中の汚れ(チリやホコリによる)低減を有効にするかど うかを設定します。 ADF が汚れていると、コピーに点やスジが入ることがあります。 ・ ON ・ OFF
14保守コード	本製品ではこの機能は無効です。

レポート出力	
設定項目	設定内容
1 仕様設定	レポート設定を設定します。(→レポート/リストの概要: P.12-37)
1. 送信結果レポート	送信結果レポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ エラー時のみプリント:送信エラーが発生したときだけレポー トをプリントします。 ・ プリントする:原稿を送信するたびにレポートをプリントしま す。 ・ プリントしない:レポートをプリントしません。
1. 送信原稿の表示	送信原稿の1ページ目の画像をつけてプリントするかどうかを設 定します。 ・ つけない ・ つける
2. 受信結果レポート	ファクス受信結果レポートをプリントするかどうかを設定しま す。 ・ プリントしない ・ エラー時のみプリント ・ プリントする
3. 通信管理レポート	通信管理レポートを自動的にプリントするかどうか、送信と受信 を分けてプリントするかどうか、指定時刻にプリントするかどう かを設定します。

レポート出力	
1. 定期的に自動プリント	40 回通信(送信と受信)するたびに、通信管理レポートの自動プ リントをするかどうかを設定します。送信文書アーカイブをく ON >に設定している場合は、40 通信ごとに通信管理レポートがプリ ントされる設定が自動的になされ、この設定項目は表示されません。 ・プリントする ・プリントしない
2. 送信/受信分離	送信と受信を分けて通信管理レポートをプリントするかどうかを 設定します。 ・ OFF ・ ON
3. 指定時刻プリント	指定時刻にプリントするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON(指定時刻)
2 リストプリント	各種レポート/リストをプリントします。
1.通信管理レポート	通信管理レポート(最大最新の 40 件)を手動でプリントします。
2. 宛先表リスト	スピードダイヤルに登録されているファクス番号の一覧をプリン トします。 ・ 1. ワンタッチダイヤルリスト ・ 2. 短縮ダイヤルリスト ・ 3. グループダイヤルリスト
3. 宛先表詳細リスト	スピードダイヤルの詳細をプリントします。 ・ 1. ワンタッチ詳細リスト ・ 2. 短縮詳細リスト
4. ユーザデータリスト	メニューで登録した設定一覧をプリントします。(→ユーザデータ リストをプリントする:P.12-1)
5. 転送条件リスト	 登録した転送条件一覧をプリントします。(→ユーザデータリスト をプリントする:P.12-1)

システム管理設定	
設定項目	設定内容
1 システム管理者設定	<システム管理設定>の内容を保護するため、システム管理者に ついての情報を設定します。システム管理部門 ID と暗証番号を設 定すると、<システム管理設定>に接続するたびにシステム管理 部門 ID と暗証番号を入力する必要があります。
1. システム管理部門 ID	本製品のシステム管理者 ID7 桁を登録します。
2.システム管理暗証番号	システムパスワード7桁を登録します。

システム管理設定	
3. システム管理者名	システム管理者の名前 (スペースを含め最大 32 文字) を登録しま す。
2 デバイス情報設定	デバイスの情報を設定します。
1.デバイス名	本製品の名前(スペースを含め最大 32 文字)を登録します。
2. 設置場所	本製品の設置場所(スペースを含め最大 32 文字)を登録します。
3 部門別 ID 管理	部門別 ID 管理を使用するかどうかを選択します。
OFF	部門別 ID 管理を無効にします。
ON	部門別 ID 管理を有効にします。
1. 部門 ID 登録	7 桁の数字で部門 ID を登録します。(最大 100 件(オプションの センドキットを装着している場合は最大 1000 件))
1. 暗証番号	部門 ID の暗証番号を登録します。
2. 制限の設定	コピー、スキャン、プリント、およびコピーとプリントの合計枚 数を部門 ID ごとに制限するかどうかを設定します。
1. トータルプリント 制限	プリントの合計ページ数の上限を有効にするかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON(000000~999999)
2. コピー制限	コピーできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON(000000~999999)
3. 白黒スキャン制限	スキャンできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON(000000~999999)
4. カラースキャン制 限	スキャンできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON(000000~999999)
5. プリント制限	プリントできるページ数の上限を有効にするかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON(000000~999999)
3. 消去	選択した部門 ID と設定内容を消去します。 [◀–] を押してくはい>を選択します。 設定内容を消去しない場合は、[+►] を押してくいいえ>を選択 します。
2. カウント管理	カウント情報を確認、削除、プリントします。

システム管理設定	
1. カウント表示	部門ごとにどれだけの枚数が使われたかを確認します。 ・ 1. トータルプリント ・ 2. コピー ・ 3. スキャン ・ 4. カラースキャン ・ 5. プリント
2. オールクリア	カウント情報を削除します。 [◀━]を押して<はい>を選択します。 削除しない場合は、[+►]を押して<いいえ>を選択します。
3. カウントプリント	カウント情報を印刷します。 [◀━]を押して<はい>を選択します。 印刷しない場合は、[+►]を押して<いいえ>を選択します。
3. ID 不定ジョブプリント	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブ を許可するかどうかを設定します。
ON	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブ を許可します。
OFF	登録部門 ID と一致しないプリンタドライバからのプリントジョブ を許可しません。
4 ユーザ ID 管理	ユーザ ID 管理を許可するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
5 ネットワーク設定 **	ネットワーク設定を行います。(→操作ガイド(総合編)> ネット ワーク設定)
1.TCP/IP 設定	TCP/IP ネットワークを設定します。
1. IPv4 設定	TCP/IPv4 ネットワークを設定します。
1. IP アドレス	IPv4 アドレスを設定します。 ・ 1. IP アドレス自動取得 ・ 2. IP アドレス ・ 3. サブネット マスク ・ 4. ゲートウェイアドレス
1. IP アドレス自動 取得	IP アドレスを自動的に取得するかどうかを設定します。(→操作ガ イド (総合編) > 最初の設定 > IP アドレス取得設定 (ネットワー ク設定)) ・ ON:IP アドレスが自動的に割り当てられます。 ・ OFF:IP アドレスを手動で割り当てます。
2. IP アドレス	固定 IP アドレスを登録します。(→スタートアップガイド「ネット ワーク設定」「IP アドレス取得設定」)
3. サブネット マス ク	固定サブネットマスクを登録します。
4. ゲートウェイアド レス	固定ゲートウェイアドレスを登録します。

システム管理設定	
2. PING コマンド	ネットワーク上の機器の IP アドレスを入力して [OK] を押すと、そ の機器と接続可能か調べることができます。
3. IP アドレス範囲設定	IP アドレス範囲を制限するかどうかを設定します。
OFF	コンピュータの IP アドレス範囲を制限しません。
ON	 指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ本製品にデータ(プリント/ファクスジョブ)を送信できるようにします。各設定に、<開始アドレス>と<終了アドレス>を入力する必要があります。 1. IP アドレス 1 2. IP アドレス 2 3. IP アドレス 3 4. IP アドレス 5 6. IP アドレス 6 7. IP アドレス 7 8. IP アドレス 8 9. IP アドレス 9 10. IP アドレス 10
4. DNS 設定	DNS サーバを設定します。
1. DNS サーバ設定	DNS サーバアドレスを登録します。
1. プライマリ DNS サーバ	プライマリサーバの IP アドレスを登録します。
2. セカンダリ DNS サーバ	セカンダリサーバの IP アドレスを登録します。
2. ホスト名/ドメイ ン名設定	DNS サーバのホスト名とドメイン名を登録します。
1. ホスト名	DNS サーバのホスト名を登録します。
2. ドメイン名	DNS サーバのドメイン名を登録します。
3. DNS の動的更新 設定	DNS の動的更新機能を設定します。
1. DNS の動的更 新	DNS の動的更新機能を使うかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
2. IPv6 設定	TCP/IPv6 ネットワークを使用するかどうかを設定します。
1. IPv6 を使用	 IPv6 ネットワークを使用するかどうかを設定します。 OFF: IPv4 の機能だけが動作します。 ON: IPv4 と IPv6 の機能が両方とも動作します。また、リンクローカルアドレスが自動的に設定されます。

システム管理設定	
2. ステートレスアドレ ス設定	起動時にステートレスアドレスを自動的に設定するかどうかを設 定します。 ・ ON ・ OFF
3. 手動アドレス設定	IPv6 アドレスを手動で設定するかどうかを設定します。
1. 手動アドレスを使 用	本体側で固定 IPv6 アドレスを設定するかどうかを設定します。
OFF	固定 IPv6 アドレスを設定しません。
ON	本体側で固定 IPv6 アドレスを設定します。
2. 手動アドレス	本体側で固定 IPv6 アドレスを登録します。
3. プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を設定します (1-128)。
4. デフォルトルータ アドレス	デフォルトルータアドレスを設定します。
4. DHCPv6 を使用	DHCPv6 を使用して DHCP サーバからステートフルアドレスを 取得するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
5. PING コマンド	本製品をネットワーク上の機器に接続可能かどうかを調べること ができます。
1. PING コマンド	ネットワーク上の機器のIPv6アドレスを入力して[OK]を押すと、 その機器と接続可能か調べることができます。
2. ホスト名	ネットワーク上の機器のホスト名を入力して [OK] を押すと、その 機器と接続可能か調べることができます。
6. IP アドレス範囲設定	IP アドレス範囲を制限するかどうかを設定します。
OFF	コンピュータの IP アドレス範囲を制限しません。
ON	指定された IP アドレスを持つコンピュータからのみ本製品にデー タ (プリント/ファクスジョブ)を送信できるようにします。各 設定に、<開始アドレス>と<終了アドレス>を入力する必要が あります。 • 1. IP アドレス 1 • 2. IP アドレス 2 • 3. IP アドレス 3 • 4. IP アドレス 3 • 4. IP アドレス 5 • 6. IP アドレス 6 • 7. IP アドレス 7 • 8. IP アドレス 8 • 9. IP アドレス 9 • 10. IP アドレス 10
7. DNS 設定	DNS サーバを設定します。

システム管理設定	
1. DNS サーバ設定	DNS サーバアドレスを登録します。
1. プライマリ DNS サーバ	プライマリサーバの IP アドレスを登録します。
2. セカンダリ DNS サーバ	セカンダリサーバの IP アドレスを登録します。
2. ホスト名/ドメイ ン名設定	DNS サーバのホスト名とドメイン名を登録します。
1. IPv4 ホスト/ ドメイン使用	• ON • OFF
2. ホスト名	DNS サーバのホスト名を登録します。
3. ドメイン名	DNS サーバのドメイン名を登録します。
3. DNS の動的更新 設定	ダイナミック DNS サーバ設定を使用するかどうかを設定します。
1. DNS 動的更新	DNS の動的更新機能を使うかどうかを設定します。
OFF	ダイナミック DNS サーバ機能を無効にします。
ON	ダイナミック DNS サーバを使用するかどうかを設定します。
1.手動アドレ スの登録	手動アドレスを登録します。 ・ OFF ・ ON
2.ステートフ ルアドレス の登録	ステートレスアドレスを登録します。 ・ OFF ・ ON
3. WINS 設定 ***	WINS による名前解決を設定します。
1. WINS 名前解決	WINS による名前解決をするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. WINS サーバ設定	WINS サーバの IP アドレスを設定します。
4. LPD 印刷	プリント用アプリケーションに LPD を使うかどうかを設定しま す。 • ON • OFF
5. RAW 印刷	プリント用アプリケーションに RAW を使うかどうかを設定しま す。
ON	RAW を使用します。
双方向を使用	双方向通信を使用するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF

12-28

システム管理設定	
OFF	RAW を使用しません。
6. PASV モードを使用 ***	PASV モードを設定します。 ・ OFF ・ ON
7. 拡張 FTP***	拡張 FTP を設定します。 ・ OFF ・ ON
8. HTTP を使用	リモート UI に対して HTTP (HyperText Transfer Protocol) を 有効にするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
9. ポート番号	ポート番号を設定します。
1. LPD	0~65535(初期值: 515)
2. RAW	0~65535(初期値: 9100)
3. HTTP	0~65535(初期値: 80)
4. SMTP 受信 ***	0~65535(初期值: 25)
5. POP3 受信 ***	0~65535(初期値: 110)
6. FTP 送信 ***	0~65535(初期値: 21)
7. SMTP 送信 ***	0~65535(初期値: 25)
8. SNMP	0~65535(初期値:161)
10.受信許可 MAC アドレ ス	MAC アドレスフィルタを有効にするかどうかを設定します。
OFF	MAC アドレスフィルタを無効にします。
ON	本製品へのアクセスを許可するコンピュータの MAC アドレス(最 大5個)を指定します。 ・1.許可アドレス1 ・2.許可アドレス2 ・3.許可アドレス3 ・4.許可アドレス4 ・5.許可アドレス5
2. SMB サーバ設定 ***	NetBIOS ネットワークで本製品を使うための SMB の設定をしま す。
SMB クライアントを使用	SMB クライアントを使用するかどうかを設定します。
ON	SMB クライアントを使用します。
1. サーバ名	本製品の NetBIOS 名を入力します。
2. ワークグループ名	本製品が属するワークグループ名を入力します。

システム管理設定	
3. コメント	プリンタに関するコメントを入力します。
4. LM アナウンスを 使用	本製品の存在をLAN Managerに通知するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
OFF	SMB クライアントを使用しません。
3. SNMP 設定	SNMPの詳細を設定します。
1. SNMP を使用	SNMP を有効にするかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
2. コミュニティ名 1	SNMP コミュニティ名 1(初期値: public)を設定します。
3. コミュニティ名2	SNMP コミュニティ名 2 を設定します。
4. SNMP 書込み可能 1	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定 を変更できるようにします。 ・ ON ・ OFF
5. SNMP 書込み可能 2	ネットワーク上のコンピュータから本製品にアクセスでき、設定 を変更できるようにします。 ・ OFF ・ ON
6. 管理情報を取得	Windows Vista をお使いの場合でポートに [標準 TCP/IP ポート] を設定したとき、SNMP によるポートモニタリング機能を自動的に有効にするかどうかを設定します。プリントアプリケーションやプリンタポートなどのプリンタ管理情報を取得できます。 ・ OFF ・ ON
4. 専用ポート設定	キヤノンプリンタドライバまたはユーティリティを使って、本製 品の詳細情報を設定したり、参照します。 ・ ON ・ OFF
5. ETHERNET ドライバ	ネットワークの接続タイプを指定します。
1. 自動検出	Ethernet ドライバの検出方法を選択します。
自動	通信モード(半二重/全二重) および Ethernet の種類(10Base- T/100Base-TX)を自動的に検出するよう設定します。
手動	通信モードと Ethernet の種類を手動で設定します。
1. 通信方式	通信モードを選択します。 ・ 半二重 ・ 全二重

システム管理設定	
2. ETHERNET の種 類	Ethernet の種類を選択します。 ・ 10 BASE-T ・ 100 BASE-TX
6. ネットワーク情報	現在のネットワーク設定を確認します。
1. IPv4	IPv4 設定を確認します。
1. IP アドレス	IP アドレスを確認します。
2. サブネット マスク	サブネットマスクを確認します。
3. ゲートウェイアドレ ス	ゲートウェイアドレスを確認します。
4. ドメイン名	ドメイン名を確認します。
5. ホスト名	ホスト名を確認します。
2. IPv6	IPv6 設定を確認します。
1. リンクローカルアド レス	リンクローカルアドレスを確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
2. ステートレスアドレ ス 1	ステートレスアドレス 1 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
3. ステートレスアドレ ス 2	ステートレスアドレス 2 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
4. ステートレスアドレ ス 3	ステートレスアドレス 3 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
5. ステートレスアドレ ス 4	ステートレスアドレス 4 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
6. ステートレスアドレ ス 5	ステートレスアドレス 5 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
7. ステートレスアドレ ス 6	ステートレスアドレス 6 を確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
8. ステートフルアドレ ス	ステートフルアドレスを確認します。 ・ 1. IP アドレス ・ 2. プレフィックス長
9. デフォルトルータア ドレス	デフォルトのルータアドレスを確認します。
システム管理設定	
------------------------	--
10.ドメイン名	ドメイン名を確認します。
11.ホスト名	ホスト名を確認します。
7.電子メール/I ファクス ****	電子メール/Iファクスを設定します。
1. SMTP 受信	本製品の SMTP 受信機能を利用して直接電子メールを受信するか どうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
2. SMTP サーバ	SMTP サーバの IP アドレスまたは名称を入力します。
3. POP	POP サーバを使って電子メールを受信するかどうかを設定しま す。 ・ OFF ・ ON
4. 認証/暗号化設定	電子メールを送信する前の認証方式を指定します。
1. 送信前の POP 認証	POP サーバにログインしてからメールを送信する方式(電子メー ルを送信する前に、POP サーバにログインしているユーザを認証 する方式)の SMTP サーバかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
2. SMTP 認証	SMTP サーバにログインしてからメールを送信する方式(電子 メールを送信する前に、SMTP サーバにログインしているユーザ を認証する方式)の SMTP サーバかどうかを設定します。
ON	SMTP 認証を有効にします。 ・ 1. ユーザ名 ・ 2. パスワード
OFF	SMTP 認証を無効にします。
5. 電子メールアドレス	本製品の電子メールアドレス(最大 64 文字)を入力します。
6. POP サーバ	POPサーバのIPアドレスまたは名称(最大48文字)を入力します。
7. POP アドレス	POP サーバにアクセスするときのログイン名(最大 32 文字)を 入力します。
8. POP パスワード	POP サーバにアクセスするときのパスワード(最大 32 文字)を 入力します。
9. POP 発行間隔	POPサーバに対して受信メールを確認する間隔を設定します。「0」 に設定した場合、POP の自動発行は行いません。(0 分〜 99 分 (0 分))
8. 起動時間の設定	本製品がネットワーク通信を開始するのを遅らせる時間を設定し ます。(0 秒〜 300 秒(60 秒))
6 通信管理設定	通信機能を設定します。

各種機能の登録/設定

システム管理設定				
1.電子メール/I ファクス ***	電子メールの通信設定をします。			
1. データサイズ上限値	電子メールを送信することができる最大データサイズを設定しま す。送信するデータサイズが上限値を超えた場合、複数に分割し て送信します。(OMB ~ 99MB(OMB))			
2. サイズオーバー時の分 割	データサイズが設定値を超えた場合、送信するデータを別のファ イルに分割するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON			
2. ファクス設定	ファクスの通信設定をします。			
1. 送信スタートスピード	すべての原稿に対して送信速度を設定します。(33600bps 、 2400bps、4800bps、7200bps、9600bps、14400bps)			
2. 受信スタートスピード	すべての原稿に対して受信速度を設定します。(33600bps 、 2400bps、4800bps、7200bps、9600bps、14400bps)			
3. 送信文書アーカイブ	送信文書アーカイブを使用するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON			
3. メモリ受信設定	受信原稿はすべてメモリで受信し、自動的にプリントしないよう にするかどうかを設定します。(→操作ガイド(総合編)> 送受信 する > メモリ受信)			
OFF	メモリ受信を無効にします。			
ON	メモリ受信を有効にします。			
1. 暗証番号	メモリを不正なアクセスから保護するための暗証番号を登録しま す。			
2. レポートプリント	メモリ受信のレポートをプリントするかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON			
3. メモリ受信時刻設定	メモリ受信の時間を指定するかどうかを設定します。			
OFF	メモリ受信の時間を設定しません。			
ON	メモリ受信の時間を設定します。 ・ 1.メモリ受信開始時刻 ・ 2.メモリ受信終了時刻			
7 条件なし転送設定	転送条件に一致しない場合の転送先を登録します。			
1.ファクス	受信したファクスを転送するかどうかを設定します。			
OFF	転送条件に一致しない場合、転送しません。			
ON	転送条件に一致しない場合、下記の設定で転送します。			
1. 転送	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先を指定 します。			

システム管理設定	
2. ファイル形式	転送する時のファイル形式を設定します。 ・ TIFF ・ PDF
3. ページごとに分割	複数の画像を各ファイルで送信するかまたは複数の画像を一つの ファイルに纏めて送信するかを設定します。 ・ OFF ・ ON
2. IFAX***	受信した丨ファクスを転送するかどうかを設定します。
OFF	転送条件に一致しない場合、転送しません。
ON	転送条件に一致しない場合、下記の設定で転送します。
1. 転送	ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録されている宛先を指定 します。
2. ファイル形式	転送する時のファイル形式を設定します。 ・ TIFF ・ PDF
3. ページごとに分割	複数の画像を各ファイルで送信するかまたは複数の画像を一つの ファイルに纏めて送信するかを設定します。 ・ OFF ・ ON
8 転送時 保存 / プリント	転送時、または転送エラーが発生した場合、受信した文書をプリ ントするかどうかと、メモリに保存するかどうかを設定します。
1.受信画像をプリント	転送する文書を、転送結果にかかわらず必ずプリントするかどう かを設定します。 ・ OFF ・ ON
2. エラー時に画像をプリン ト	転送エラーが発生した場合、受信した文書をプリントするかどう かを設定します。 ・ ON ・ OFF
3. エラー時に画像を保存	転送エラーが発生した場合、受信した文書をメモリに保存するか どうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
9 リモート UIの ON/OFF	本製品の操作と設定の変更をする際に、リモート UI 機能を有効に するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
10 送信機能の制限	宛先に関する操作や送信時に使える機能を制限します。
1.宛先表の暗証番号	宛先表に暗証番号(最大 7 桁)を設定します。 ・ OFF ・ ON

システム管理設定	
2. 新規宛先の制限	ワンタッチダイヤルおよび短縮ダイヤルの登録や変更を制限する かどうかを設定します。スピードダイヤルに登録されていない宛 先への通信を制限するかどうかを設定します。 ・ OFF ・ ON*1 ^{*1} 以下の条件をすべて満たしている場合は、外付け電話機からの 通信が可能になります: ・スリープモードに入っている場合 ・<受信モード>が<自動>に設定されている場合
3. FAX ドライバ送信許可	ファクスドライバを使ってのコンピュータからのファクス送信を 制限するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF
4. リダイヤル/コールの制 限 ***	[リダイヤル]を押してリダイヤルする機能を無効にするかどうか を設定します。 オプションのセンドキットを装着していない場合は<リダイヤル の制限>と表示されます。 ・ OFF ・ ON
5. ファクス番号確認入力	ファクスを送信するときに、入力したファクス番号を確認するか どうかを設定します。 ・ OFF ・ ON
6. 同報送信の制限	同報送信機能を設定します。
OFF	同報送信の制限を設定しません。
同報送信の確認	送信先が複数あることを送信時にメッセージ表示で通知します。
同報送信不可	同報送信を無効にします。
11ジョブ履歴表示	ジョブ履歴の表示を許可するかどうかを設定します。
ON	ジョブ履歴を確認できます。
OFF	ジョブ履歴を確認できません。通信管理レポートは自動的にプリ ントされません。
12USB デバイスを使用	USB 接続を使ったジョブを制限するかどうかを設定します。 ・ ON ・ OFF

システム管理設定	
13PDL 選択(PnP)	プリンタドライバを USB 接続でパソコンにインストールする際 に、インストールを許可するドライバを本体側で切り替えること ができます。たとえば、ファクスドライバをインストールしたあ と追加で CARPS2 プリンタドライバをインストールする場合に は、本設定を <ufr ii="" lt=""> にすると、CARPS2 プリンタドライバ を USB 接続でインストールすることができます。 ・ FAX ・ CARPS2 [◄-] または [+►] を押してインストールするプリンタドライバ を選択し、[OK] を押します。</ufr>
14ファームウェア更新	│ │本製品のファームウェアをバージョンアップする必要がある場合 │に実行します。

** オプションのネットワークプリンタキットを装着した場合のみ *** オプションのセンドキットをお使いの場合のみ使用することができます。

レポート/リストの概要

本製品で、以下のレポートとリストをプリントできます。

レポート/リスト	説明
ワンタッチ宛先リスト 1	ワンタッチダイヤルに登録された宛先の一覧です。
ワンタッチ宛先リスト 2	ワンタッチダイヤルリストの詳細一覧です。
短縮宛先リスト 1	短縮ダイヤルに登録された宛先の一覧です。
短縮宛先リスト 2	短縮ダイヤルリストの詳細一覧です。
グループ宛先リスト	グループダイヤルに登録された宛先の一覧です。
ユーザデータリスト	現在の設定の一覧および登録された発信元情報です。
部門別管理リスト	部門別 ID、各部門のスキャン、プリント、コピーの合計数、および各 部門のスキャン、プリント、コピーの上限の一覧です。
通信管理レポート	最新 40 件の送受信履歴です。
送信結果レポート	送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
マルチ通信結果レポート ^{*1}	同報送信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
受信結果レポート	受信結果です。自動的にプリントするよう設定できます。
転送条件リスト	転送条件の一覧です。

*1 マルチ通信管理レポートは、同報送信した場合の送信結果レポートです。自動でプリントする設定は、送信結果レポートと共通の手順で行います。

レポートを自動でプリントする

送信結果レポート、マルチ通信結果レポート、受信結果レポート、通信管理レポートを自動で プリントするよう設定することができます。

送信結果レポート/マルチ通信結果レポート

🥢 🗡 🖉

マルチ通信結果レポートは、同報送信した場合の送信結果レポートです。自動でプリントする設定は送信結果レポートと共通の、以下の手順で行います。



1 [初期設定/登録]を押します。 2 【**◀**—】または【**+**▶】を押して<レポート出力>を選択し、【OK】を押します。 3 [<-] または [+ ▶] を押して<仕様設定>を選択し、[OK] を押します。 4 【
【
【
【
→
】を押して<送信結果レポート>を選択し、「OK」を押します。 5 [◀—] または [+▶] を押して設定項目を選択し、[OK] を押します。 <エラー時のみプリント>:送信エラーが起きた場合のみレポートをプリントします。 <プリントする>:原稿を送信するたびにレポートをプリントします。 <プリントしない>:レポートをプリントしません。手順7に進んでください。



6 [◄-] または [+▶] を押して<送信原稿の表示>を選択し、レポートの下に送信原稿の最初のページをプリントするため、[◄-] または [+▶] を押して<つけない>または<つける>を選択して、[OK] を押します。

<つけない>:最初のページをプリントしません。 <つける>:最初のページをプリントします。

7 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

レポート項目

送信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- 受付番号:受付番号
- 部門 ID:部門別 ID 管理を設定している場合は、部門 ID がプリントされます。
- 相手先アドレス:相手先のファクス/電話番号または電子メールアドレス
- 相手先略称:宛先に登録されている相手先の名前
- 開始時刻:通信した日付と時刻
- 通信時間:通信にかかった時間
- 枚数:送信ページ数
- 通信結果:通信結果
- OK:通信は正常に終了しました。
- ・ ---:サーバへのメールの送信が終了しました。
- ・ NG:通信できませんでした。
- ・ STOP:終了前に通信が手動でキャンセルされました。
- 話し中でした:話し中か、相手先が応答しませんでした。
- ・ エラー番号:エラー番号の詳細については、「エラーコード」(→ P.11-11)を参照してく ださい。
- マルチ通信結果レポートには、以下の項目が表示されます。
- 受付番号:受付番号
- 枚数:送信ページ数
- 部門 ID:部門別 ID 管理を設定している場合は、部門 ID がプリントされます。
- 未通信相手先:送信が終了していない相手先アドレスと名称がプリントされます。
- 終了相手先:送信が終了した相手先アドレスと名称がプリントされます。
- エラー相手先:送信エラーとなった相手先アドレスと名称がプリントされます。





<プリントする>:原稿を受信するたびにレポートをプリントします。

[ストップ] を押して待受画面に戻ります。

6

レポート項目

受信結果レポートには、以下の項目が表示されます。

- 受付番号:受付番号
- 相手先アドレス:送信側のファクス/電話番号または電子メールアドレス
- 相手先略称:宛先に登録されている相手先の名前
- 開始時刻:通信した日付と時刻
- 通信時間:通信にかかった時間
- 枚数:受信ページ数
- 通信結果:通信結果
- OK:受信は正常に終了しました。
- NG:受信できませんでした。
- ・ STOP:終了前に受信が手動でキャンセルされました。
- ・エラー番号:エラー番号の詳細については、
 「エラーコード」(→ P.11-11)を参照してください。



1	[初期設定/登録] を押します。
2	[◀ ━]または[+ ▶]を押して<レポート出力>を選択し、[OK]を押します。
3	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<仕様設定>を選択し、[OK]を押します。
4	[◀ ━]または[+ ▶]を押して<通信管理レポート>を選択し、[OK]を押します。
5	【 ◀ ー】または [+ ▶] を押してく定期的に自動プリント>を選択し、[OK] を押します。 送信文書アーカイブを <on> に設定している場合は、40 通信ごとに通信管理レポートがプリントされる設定 が自動的になされ、<定期的に自動プリント>以下の設定項目は表示されません。手順 7 に進んでください。</on>
6	【 ◀ ―】または【+ ▶】を押して希望の設定を選択し、[OK]を押します。 <プリントする>:40 通信ごとにレポートをプリントします。 <プリントしない>:レポートをプリントしません。
7	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<送信/受信分離>を選択し、[OK]を押します。
8	【 ◀ ―】または【+ ▶】を押して希望の設定を選択し、【OK】を押します。 < OFF > : 時間順に送受信結果のレポートをブリントします。 < ON > : 送信、受信別に送受信結果のレポートをプリントします。
9	【 ◀ ―]または【 + ▶]を押して<指定時刻プリント>を選択し、[OK] を押します。



10 [◀━]または [+►]を押して< ON >または< OFF >を選択し、[OK]を押します。

< ON >:指定時刻にレポートをプリントします。テンキーを使って時刻(24時間制)を入力してください。< OFF >:指定時刻にレポートをプリントしません。

🖉 🗶

< 指定時刻プリント > が <ON> の場合、最新 40 通信分のレポートをプリントします。指定時刻までに 41 通信以上が行わ れた場合は、新しいものから 40 番目までのレポートをプリントします。

例: 指定時刻までに 45 通信行われた場合 最新の 40 通信分→プリントする 最初の 5 通信分→プリントしない

11 [ストップ] を押して待受画面に戻ります。

レポート項目

通信管理レポートには、以下の項目が表示されます。

- 部門 ID:部門別 ID 管理を設定している場合は、部門 ID がプリントされます。
- 開始時刻:通信した時刻
- 相手先:相手先の名前とファクス/電話番号または電子メールアドレス
- 番号:受付番号
- 通信モード:通信種別と通信サービス名
- 枚数:送信/受信ページ数
- 通信結果:通信結果と通信時間
- ・OK:受信は正常に終了しました。
- ・ ---:サーバへのメールの送信が終了しました。
- NG:受信できませんでした。
- ・ STOP:終了前に通信が手動でキャンセルされました。

レポート/リストを手動でプリントする

以下のレポートとリストを手動でプリントできます。

- ・ 通信管理レポート
- ・ ワンタッチ宛先リスト 1
- 短縮宛先リスト1
- ・グループ宛先リスト
- ・ ワンタッチ宛先リスト 2
- 短縮宛先リスト2
- ユーザデータリスト
- ・ 部門別管理リスト
- ・ 転送条件リスト

🧭 🗶

- ・ユーザデータリストをプリントするには、「ユーザデータリストをプリントする」(→ P.12-1)を参照してください。
- ・ 各レポートとリストの情報は、「レポート/リストの概要」 (\rightarrow P.12-37) を参照してください。
- ・ 部門別管理リストをプリントするには、「カウント情報をプリントする(部門別管理リスト)」(→ P.9-13)を参照 してください。
- ・ 転送条件リストをプリントするには、「ユーザデータリストをプリントする」(→ P.12-1)を参照してください。
- ・ A4、OFICIO、BRAZIL-OFICIO、MEXICO-OFICIO、FOLIO、FLSP、LTR または LGL(普通紙または再生紙)が 給紙されているときにだけ、レポートをプリントできます。

通信管理レポートをプリントする



1	[初期設定/登録] を押します。
2	[◀ —]または[+ ▶]を押して<レポート出力>を選択し、[OK]を押します。
3	【 ◀ ━】または【 + ▶】を押して<リストプリント>を選択し、[OK] を押します。
4	【 ◀ ━】または【 + ▶】を押して<通信管理レポート>を選択し、【OK】を押します。
5	[◀━]を押して<はい>を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。 レポートを印刷しない場合は、[**+**▶]を押して<いいえ>を選択します。 ワンタッチ宛先リスト1/短縮宛先リスト1/グループ宛先リストをプ リントする



-	
	[初期設定/登録]を押します。
2	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<レポート出力>を選択し、[OK]を押します。
3	[◀-]または[+ ▶]を押して<リストプリント>を選択し、[OK]を押します。
4	[◀ ―]または[+ ▶]を押して<宛先表リスト>を選択し、[OK]を押します。
5	【 ◀ —】または【 + ▶】を押してプリントしたいリストを選択し、[OK] を押します。
	<ワンタッチダイヤルリスト>:ワンタッチ宛先リスト 1 をプリントします。 <短縮ダイヤルリスト>:短縮宛先リスト 1 をプリントします。 <グループ ダイヤルリスト>:グループ宛先リストをプリントします。
6	[◀-]を押して<はい>を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。 レポートを印刷しない場合は、[**+**▶] を押してくいいえ>を選択します。

ワンタッチ宛先リスト 2 /短縮宛先リスト 2 をプリントする





[◀—]を押して<はい>を選択します。

プリントが始まり、自動的に待受画面に戻ります。 レポートを印刷しない場合は、[+▶]を押して<イイエ>を選択します。 ジョブの確認と削除

システムモニタを使って、処理中のレポートジョブを確認できます。

レポート状況を確認/削除する





メモリ残量を確認する

本製品の状態に応じたメモリ残量を確認できます。



1 [システムモニタ]を繰り返し押して<メモリ残量>を選択し、[OK] を押します。

例)

X	ŧ	IJ	残	量			
	7	5	0 0				

2 [ストップ]を押して待受画面に戻ります。

主な仕様

全体的な仕様					
● 形式	パーソナルデスクトップ				
● 電源	100V 50/60Hz				
● 消費電力	最大消費:760W 待機時消費:18W スリープモード時消費:3W 以下				
● 重量	約 25.5kg(トナーカートリッジを含む)				
● 外形寸法(幅×奥行×高 さ)	520mm × 481mm × 452mm 520mm × 481mm × 580mm (オプションの用紙カセット取り付け時)				
● 設置スペース(幅×奥行)	1097mm × 984mm (オプションのハンドセット取り付 け時)				
● 動作環境	温度:15 ℃~ 30 ℃ 湿度:10%~ 80%相対湿度				
● 使用可能な原稿	→ P.2-1.				
● 使用可能な用紙	→ P.2-5.				
● プリント範囲	→ P.2-7.				
● 読み取り範囲	→ P.2-2.				

ファクスの仕様	
● 適用回線	公衆交換電話網(PSTN) ^{*1}
● 互換性	G3
● データ圧縮方式	MH、MR、MMR、JBIG
● モデム速度	33.6Kbps 自動フォールバック
● 伝送速度	ページ当り約 3 秒 ^{*2} ECM-JBIG、33.6Kbps でメモリか ら送信
● 送信/受信メモリ	最大約 1500 ページ ^{*2} (送受信の総ページ数) (最大メモリ送信件数: 70 件/最大メモリ受信件数: 90 件)
● ファクス解像度	<標準>:8 画素/mm × 3.85 ライン/mm <ファイン>:8 画素/mm × 7.7 ライン/mm <写真>:8 画素/mm × 7.7 ライン/mm <スーパーファイン>:8 画素/mm × 15.4 ライン/mm <ウルトラファイン>:16 画素/mm × 15.4 ライン/mm

ファクスの仕様

● ダイヤル方式	 スピードダイヤル ワンタッチダイヤル(80件) 短縮ダイヤル(420件) グループダイヤル(499件) 宛先表ダイヤル(宛先表キーによる) 通常ダイヤル(テンキーによる) 自動リダイヤル ・手動リダイヤル(コール/ポーズキーによる) ・同報送信(510件)
● 受信方式	・ 自動受信 ・ 電話機によるリモート受信(初期設定 ID: 25)

*1 公衆交換電話網は、現在 28.8Kbps までのモデム速度に対応しています。ただし、電話回線の状態により異なります。

*² ITU-T(国際電気通信連合の通信規格などを制定する部門)標準チャート No.1、JBIG 標準 モードによる。

電話の仕様

● 接続可能な電話	ハンドセット(オプション)/外付け電話機/留守番録音機
	/データモデム

送信の仕様 *1	
ファイルサーバ送信の仕様	
● 通信プロトコル	FTP (TCP/IP)、SMB (TCP/IP)
● データフォーマット	TIFF(白黒)、PDF(白黒)、JPEG(カラー)、 PDF(高圧縮)(カラー)
● 解像度	100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi、 200 × 200dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、 600 × 600dpi

送信の仕様 ^{*1}	
● システム環境	Windows 98/Me、Windows XP Professional/Home Edition、Windows 2000 Server/Professional (SP1 以 降)、Windows Server 2003、Windows Server Vista、 Windows Server 2008、Windows 7、Solaris Version 2.6 以降、Mac OS X、Red Hat Linux 7.2
● インタフェース	100BASE-TX、10BASE-T
● カラーモード	カラー、白黒
● 入力画像	文字、文字/写真、写真
電子メール/丨ファクスの仕様	
● 通信プロトコル	SMTP、POP3、I ファクス(シンプルモード)
● 解像度	100 × 100dpi、150 × 150dpi、200 × 100dpi、 200 × 200dpi、300 × 300dpi、400 × 400dpi、 600 × 600dpi
● データフォーマット	TIFF(白黒)、PDF(白黒)、JPEG(カラー)、 PDF(高圧縮)(カラー)
● 原稿サイズ	電子メール:A3、B4、A4、A4R、A5、A5R、B5、B5R、 LDR、LGL、LTR、LTRR Iファクス:A3 ^{*2} 、B4 ^{*2} 、A4、A4R、A5 ^{*2} 、A5R ^{*2} 、B5 ^{*2} 、 B5R ^{*2} 、LDR ^{*2} 、LGL ^{*2} 、LTR ^{*2} 、LTRR ^{*2} ^{*2} A4 として送信
● 対応サーバソフトウェア	Microsoft Exchange Server 5.5(SP2)、 Sendmail 8.11.2、Lotus Domino R4.5/R5

*1 送信機能(ファイルサーバ送信、電子メール/Iファクス送信)はオプションのセンドキットを装着した場合のみ使用することができます。

コピーの仕様	
● 読取解像度	<文字>、<写真>、<文字/写真>: 600dpi × 600dpi
● 出力解像度	1200dpi 相当× 600dpi
● コピー倍率	自動倍率 1:1.45、1:1.41、1:0.70、1:0.50
● コピー速度	等倍:A4 22 枚/分
● コピー部数	最大 99 部

プリンタの仕様 ● 印刷方式 間接静電気方式(オンデマンド定着) ・ 用紙カセット:500枚(80 g/m²) ● 用紙積載可能枚数 (オプションのカセットも同様) ・手差しトレイ:100枚(80 g/m²) 100枚(64~80g/m²) ● 排紙枚数 ● プリント速度 「コピー速度」(→ P.13-4)を参照してください。 ● 出力解像度 1200dpi 相当× 600dpi 256 階調 ● 階調 ● トナーカートリッジ \rightarrow P.1-10.

🖉 🗶

仕様は予告なく変更されることがあります。

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありま すので、ご了承ください。 本製品に関する情報はこちらでもご確認いただけます。 キヤノンキヤノフアクスホームページ ■ http://canon.jp/canofax/

索引

英数字

<正しい用紙をセット>と表示された場合 11-16 ADF 10-5 ADF(自動原稿給紙装置)1-1 ADF にセットする 2-3 ADF につまった原稿を取り除く 11-1 ADF 読み取りエリア 1-2 ADF を自動的にクリーニングする 10-8 DM 制限 5-12 ID 管理モード 1-6 ID 不定のプリントジョブを受け付けるかどうか設 定する 9-14 IPv6 Ready Logo について -xx OK キー 1-4 PC ファクス機能 -vi USB ポート 1-2

あ

宛先操作/送信機能を制限する 9-18
宛先表キー 1-5
宛先表仕様設定 12-13
宛先表に暗証番号を設定する 9-18
宛先表を使用する 4-36
宛先を指定する 4-30
宛先を消去する 4-27
宛先を追加する 4-26
宛先を登録/編集/削除する 4-9
暗証番号と制限面数を変更する 9-8
安全にお使いいただくために -xiv

付録

イーサーネットポート 1-2 一般的なトラブル 11-18 一時的にトーン発信へ切り替える 4-60 イラストについて -xviii

え

い

エラーコード 11-11 エラーランプ 1-4

お

オートクリアタイムを設定する 1-14 お使いになる前に 1-1 主な仕様 13-1 コピーの仕様 13-4 全体的な仕様 13-1 送信の仕様 13-3 電話の仕様 13-3 ファクスの仕様 13-2 プリンタの仕様 13-5 音量調整 12-4

か

海外にファクスを送る(ポーズの挿入)4-62 カウント情報を確認する 9-11 カウント情報を消去する 9-12 カウント情報をプリントする(部門別管理リス F) 9-13 各種機能の登録/設定 12-1 各種機能を登録/設定する 12-1 各部の名称とはたらき 1-1 面質 画質を調節する 3-3 画質を調節する(ファクス送信)4-3 画質キー 1-4 画質ランプ 1-3 画質を調節する 3-3 画質を調節する(ファクス送信)4-3 カスタマーサポート -xvii 画像/原稿の設定を調節する(電子メール/| ファクス/ファイルサーバ送信) 4-6 片面から両面にコピーする 3-7 カラーランプ 1-4

き

記号キー 1-4 規制について -xx 給紙のトラブル 11-20 共通仕様設定 12-5

<

クリアキー 1-4 グループダイヤル グループダイヤルを消去する 4-29 グループダイヤルを使用する 4-34 グループダイヤルを登録する 4-24 グループダイヤルを登録/編集する 4-24 グループ名を変更する 4-28 グループダイヤルを消去する 4-29 グループダイヤルを登録する 4-24 グループダイヤルを登録する 4-24 グループダイヤルを登録/編集する 4-24 グループダイヤルを登録/編集する 4-24

け

原稿 原稿と用紙の取り扱い 2-1 原稿などを読み込む際の注意事項 -xxi 原稿をセットする 2-3 原稿ガイド 1-1 原稿給紙トレイ 1-1 原稿と用紙の取り扱い 2-1 原稿などを読み込む際の注意事項 -xxi 原稿排紙トレイ 1-1 原稿をセットする 2-3

г

高調波の抑制について -xx 国際エネルギースタープログラムについて -xx ご使用後に必要な作業 1-9 ご使用の前に必要な作業 1-8 コピーキー 1-3 コピー機能 -ii コピー状況を確認/削除する 3-16 コピー仕様設定 12-6 コピージョブの中止 3-15 コピーする 3-1 コピーの仕様 13-4 コピーの設定をする 3-3 コピーのトラブル 11-34 コピーモード 1-6 困ったときには 11-1 <正しい用紙をセット>と表示された場合 11-16 一般的なトラブル 11-18

エラーコード 11-11 給紙のトラブル 11-20 コピーのトラブル 11-34 送信時のトラブル 11-21 ディスプレイの表示 11-5 電力供給が止まったら 11-39 電話のトラブル 11-37 トラブルが解決しない場合 11-39 用紙がつまったときには 11-1 コンピュータからのファクス送信を制限する 9-21 コンピュータからファクス送信する 7-1 コンピュータからプリントする 6-1

さ

索引 13-7

し

資源再利用について -xvii システム管理機能-vi システム管理者情報を設定する 9-1 システム管理設定 9-1. 12-23 システムモニタキー 1-4 実行/メモリランプ 1-4 指定できる宛先を制限する 9-20 自動倍率 3-5 自動リダイヤルを設定する(ファクス送信)4-58 受信画像の縮小 5-23 受信結果レポート 12-41 レポートを自動でプリントする 12-38 受信した文書を転送する 5-13 受信時のトラブル 11-27 受信ジョブを中止する 5-25 受信する 5-1 受信中のジョブを確認/削除する 5-27 受信履歴を確認する 5-26 主電源スイッチ 1-2 手動で受信する 5-5 手動で送信する(ファクス送信)4-40 使用可能な原稿 2-1 使用可能な用紙 2-5 商標について -xxi 消耗品のご購入相談窓口 1-11 初期設定/登録キー 1-3 ジョブの確認と削除 3-16, 6-3, 12-50

す

スタートキー 1-4 スタックサポート 1-1 スタンプカートリッジを交換する 10-16 スタンプキー 1-5 ストップキー 1-4 済みスタンプ機能を設定・使用する 4-54 済みスタンプ機能を設定する 4-55 済みスタンプを設定する 4-54 スリープモードを設定する 1-12

せ

設置について -xvi 設定確認キー 1-3 設定メニューを使う 12-3 節電キー 1-4 セットする ADF にセットする 2-3 原稿をセットする 2-3 用紙をセットする 2-8 全体的な仕様 13-1

そ

ソートコピー 3-6 操作パネル 1-1. 1-3 操作パネル左部分 1-5 操作パネル右部分 1-3 送受信機能 - iii 送受信のトラブル 11-21 送受信履歴の表示設定をする 9-25 送信/受信仕様設定 12-7 送信機能の制限 9-18 送信結果レポート 12-38 送信時のトラブル 11-21 送信ジョブを中止する 4-64 送信する 4-1 送信中または送信待機中のジョブを確認/削除す る 4-66 送信の仕様 13-3 送信文書アーカイブを使用する 4-57 送信文書アーカイブを使用する前に 4-56 送信文書を別の宛先にも送る設定にしておく(送 信文書アーカイブ) 4-56

送信前にファクス番号を再度確認する 9-22 送信履歴を確認する 4-65 外付け電話機用端子 1-2

た

代行受信 5-6 タイマー設定 1-12. 12-20 タイマー送信 4-50 タイマー送信キー 1-5 タイムゾーンを設定する 1-15 ダイヤル時回線確認 4-61 ダイレクト送信キー 1-5 ダイレクト送信する 4-44 短縮キー 1-5 短縮ダイヤル 短縮ダイヤルを使用する 4-32 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを削除す る 4-20 ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを編集す る 4-18 短縮ダイヤルを使用する 4-32

ち

調整/クリーニング 12-21 著作権について -xxii

っ

通信管理レポート 12-43

 自動でプリントする 12-43
 レポート/リストを手動でプリントする 12-46
 レポートを自動でプリントする 12-38
 通信管理レポートをプリントする 12-47
 つまり
 ADF につまった原稿を取り除く 11-1
 本体内部につまった用紙を取り除く 11-3
 用紙がつまったときには 11-1

τ

定型業務ボタンを使用する 4-38 定型業務ボタンを登録する 4-21 ディスプレイ 1-4 ディスプレイ (待受画面) 1-6 ディスプレイの表示 11-5 定着器のお手入れ 10-4 手差しトレイ 1-2 手差しトレイにセットする (例 封筒) 2-8 手差しトレイ用紙ガイド 1-2 テンキー 1-4 テンキーで複数のファクス番号を指定する 4-48 電源ソケット/アース端子 1-2 電源について -xvii 電子メールアドレス/1ファクスアドレスを登録 する 4-13 転写ローラ 10-9 転送時の文書の取り扱いを設定する 9-16 転送条件に一致しない場合の転送先を登録する 5-13 転送に失敗した文書を再送信する 5-17 転送に失敗した文書をプリント/削除する 5-18 電波障害規制について -xx 電力供給が止まったら 11-39 電話回線端子 1-2 電話の仕様 13-3 電話のトラブル 11-37

と

トーンキー 1-4 同報送信 4-46 同報送信を制限する 9-24 特殊なファクス出力 5-22 トナーカートリッジ 1-10 トナーカートリッジの交換 10-10 トナーカートリッジの取り扱い 1-11 トナーカートリッジを交換する 10-13 トナーカートリッジの取り扱い 1-11 トナーカートリッジを交換する 10-13 トナーカートリッジを交換する 10-13 トナーを均一にならす 10-10 トラブルが解決しない場合 11-39 取り扱いと保守/点検について -xiv

な

内部のお手入れ 10-2

に

日常のお手入れ 10-1 日常のメンテナンス 10-1 認証キー 1-3

の

濃度 濃度を調節する 3-4, 4-5 濃度キー 1-3 濃度ランプ 1-3 濃度を調節する 3-4, 4-5

は

排紙ストッパー 1-1 排紙トレイ 1-1 はじめに -xiv ハンドセット(オプション)1-7 ハンドセット端子 1-2 ハンドセット取扱上の注意 1-7

ひ

左カバー 1-2

ふ

ファイルサーバ送信先を登録する 4-15 ファクス/ TEL 詳細設定 5-3 ファクス/送信キー 1-4 ファクス/送信モード 1-6 ファクスの仕様 13-2 ファクス番号を登録する 4-10, 4-21 ファクスをリモート受信する 5-21 複数の宛先を指定する 4-46 物質エミッションの放散に関する認定基準につい て -xxi フックキー 1-5 部門 ID /暗証番号/制限面数を登録する 9-6 部門別/ユーザ ID 管理を設定している場合 1-8 部門別 ID 管理の場合 1-6 部門別 ID 管理を設定する 9-5 部門を消去する 9-10 プリンタ機能 -v プリンタ仕様設定 12-19 プリンタの仕様 13-5 プリント状況を確認/削除する 6-3 プリント範囲 2-7

ほ

付録 13-1

ポーズキー 1-5

補助トレイ 1-2
本書の読みかた -xix
本製品の名前と設置場所を登録する 9-4
本製品を移動するとき 10-18
本体内部につまった用紙を取り除く 11-3
本体のお手入れ 10-1
本体のクリーニング
定着器のお手入れ 10-4
内部のお手入れ 10-2
本体のお手入れ 10-1
読み取りエリアのお手入れ 10-5

ま

マークについて -xix マルチ通信結果レポート 12-38

め

メニュー 設定メニューを使う 12-3 メニューの設定内容 12-4 メニューの設定内容 12-4 メモリ残量を確認する 12-51 メモリ受信 5-6 メモリ受信した文書をプリントする 5-11 メモリ受信した文書を別の宛先へ転送する 5-16 メモリ内の受信ジョブを確認/操作する 5-26 メモリ内の送信ジョブを確認/操作する 4-65 免責事項 -xxii

も

目次 0-vii 戻るキー 1-4

ゆ

ユーザ ID 管理の場合 1-6 ユーザ ID 管理を設定する 9-15 ユーザデータリストをプリントする 12-1

よ

用紙

原稿と用紙の取り扱い 2-1 使用可能な用紙 2-5 プリント範囲 2-7 用紙がつまったときには 11-1 用紙のサイズと種類を設定する 2-11

用紙をセットしなおす 11-16 用紙をセットする 2-8 用紙力セット 1-1 用紙がつまったときには 11-1 用紙サイズ設定を変更する 11-17 用紙設定 12-4 用紙選択キー 1-3 用紙のサイズと種類を設定する 2-11 用紙をセットしなおす 11-16 用紙をセットする 2-8 読み込み設定 4-3 コピーする 3-1 送信する 4-1 読み取りエリアのお手入れ 10-5 読み取り範囲 2-2 予約コピー 3-14

ŋ

リセットキー 1-4 リダイヤルキー 1-5 リダイヤル機能/コール機能 4-52 リダイヤル機能/コール機能を制限する 9-23 リモート UI 8-1 リモート UI 機能 -vi リモート受信 5-19 リモート受信 ID で登録する 5-19 略称について -xix 両面印刷 5-22 両面から片面にコピーする 3-12 両面から両面にコピーする 3-10 両面キー 1-3 両面原稿を送信する 4-42 両面コピー 3-7

れ

レポート/リストの概要 12-37 レポート/リストを手動でプリントする 12-46 レポート項目 12-42, 12-45 レポート出力 12-22 レポート状況を確認/削除する 12-50 レポートを自動でプリントする 12-38

わ

ワンタッチ宛先リスト1/短縮宛先リスト1/グ

ループ宛先リストをプリントする 12-48 ワンタッチ宛先リスト2/短縮宛先リスト2をプ

- リントする 12-49
- ワンタッチキー 1-5
- ワンタッチキーパネル 1-5
- ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを削除す る 4-20

ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/ 編集する 4-10

ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを編集す る 4-18

- ワンタッチダイヤルを使用する 4-30
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを削除する 4-20
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを登録/編集 する 4-10
- ワンタッチダイヤル/短縮ダイヤルを編集する 4-18

ワンタッチダイヤルを使用する 4-30

消耗品のご注文先
販売先
電話番号
担当部門
担当者
サービス担当者 連絡先
販 売 店
電話番号
担当者



お客様相談センター (全国共通番号)

050-555-90055

 [受付時間] 〈平日〉9:00~20:00 〈土日祝祭日〉10:00~17:00 (1/1~3は休ませていただきます)
 ※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9331 をご利用ください。
 ※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



XXXXXXXXX © CANON INC. 2013